

【 資 料 編 】

（１）評価方法の詳細

（２）第二次レッドリスト（平成２０年３月公表）からの変更点

（３）「レッドデータブックあいち２００９動物編」に関するＱ＆Ａ

（４）文献一覧

(1) 評価方法の詳細

【昆虫類(トンボ類)の評価方法】

環境省は1997年のレッドデータブック新カテゴリー採用にあたり「数値基準による客観的な評価はこれまでの定性的な評価よりも好ましいこと、この新カテゴリーが今後世界的に用いられていくと考えられることから、基本的にこのカテゴリーに従うこと」としている。

愛知県のトンボ目は過去のデータの蓄積が比較的豊富であり、数値的な評価が可能と判断したので、選定者の主観の影響を受けやすい定性的な要素を極力取り除く方向で選定を進めた。

ただし環境省の示す選定基準は、①脊椎動物を主対象としたものである、②「生息地が過度に分断」「個体数に極度の減少」といった定性的な基準が含まれている、などの曖昧な点があり、そのまま愛知県のトンボ目に適用することは困難と思われたので、下記のように若干改訂した基準を策定した。

【愛知県のトンボ目のレッドリストカテゴリー定義】

ア. 分布の単位を、平成の大合併前の旧市町村^{*1}とする。その上で、各種の市町村単位での現存数^{*2}と絶滅率^{*3}を、環境省が示す数値基準にほぼ沿った形で、カテゴリーに当てはめ、これを選定の基本とする。

絶滅 : 過去50年間信頼できる生息情報が得られていない

絶滅危惧ⅠA類 : 絶滅率80%以上、かつ現存数1以下

絶滅危惧ⅠB類 : 絶滅率50%以上、かつ現存数1.5～5

絶滅危惧Ⅱ類 : 絶滅率20%以上、かつ現存数5.5～10

準絶滅危惧 : 絶滅率20%以上、かつ現存数10.5～15

イ. 現存数や絶滅率では表せない、各種の生態要素等を考慮し、上記カテゴリーの補正を行う。

ex. 発生地以外へ飛来しやすい移動力の高い種や移入の可能性のある種については、ランク下げを検討する。

ウ. 将来の生存可能性を考えるため、生息地の環境破壊のされやすさを考慮し、補正を行う。

ex. 環境破壊をされやすい、平野部とその周辺部に生息する種については、ランク上げを、逆に山間部に生息する種については、ランク下げを検討する(山間部を主たる生息地とし、かつ県内10市町村以上で記録のある種は、選定対象から除外した)。

※1 分布単位を「市町村」とした理由

愛知県に定着しているトンボには東海地方特産といった分布の狭い種はおらず、ほとんどが本州に広く分布する。よって、その分布をマクロ的にみるには、ある面積毎の分布状況をみれば良い。その場合、面積の単位を小さく(=区画を多く)するほど精度は上がるが、現地調査にかけられる時間等を考慮して、前回に引き続き、県内の「旧市町村」を分布の単位として採用する。市町村毎の面積差といった問題はありますが、分布概況を把握するには88の区画があれば十分と考えた。

なお、平成の大合併により、特にトンボが多く現存する丘陵地から山間部の市町村ほど合併した。すなわちトンボの現存しない平野部の市町村ほど合併していないので、現在の市町村体制で絶滅危惧を判定すると、仮にトンボの減少が全く無い場合でも絶滅率は高くなってしまふ。絶滅危惧の判定精度を上げるためにも、旧市町村単位での判定を継続するのが適当と判断した。

※2 「現存」の定義

A. 現存 : 約10年以内に現存を確認し、かつ生息環境も残されている。

B. 現存可能性有 : 約10年以内に確認されたが、発生地が不明で、現存を確認できない。または、約10年以内に現存を確認していないが、生息環境は残されていると推測される。

C. 絶滅 : 生息環境が破壊されており、生存の可能性はない、または極めて低い。

※3 「絶滅率」の定義

(絶滅率) = ((記録のある市町村数) - (現存する市町村数)) ÷ (記録のある市町村数)

現存する市町村数 : (A. 現存) = 1、(B. 現存可能性有) = 0.5、(C. 絶滅) = 0 と数える。

(2) 第二次レッドリスト (平成 2 0 年 3 月公表) からの変更点

本書に掲載されたレッドリストは、平成 20 年 3 月に公表した第二次レッドリストから、平成 20 年 8 月末日までの生育情報の追加などに伴い一部変更されている。これらの変更点のうち、種の追加、種の削除、評価区分の変更について以下に示した。

哺乳類

【 変更なし 】

鳥 類

【 評価区分を変更した種 】

フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク	評価区分の変更 : DD→NT
-------	-------	---------	-----------------

爬虫類

【 変更なし 】

両生類

【 変更なし 】

淡水魚類

【 変更なし 】

昆虫類

【 評価区分を変更した種 】

トンボ目	エゾトンボ科	トラフトンボ	評価区分の変更 : VU→NT
------	--------	--------	-----------------

クモ類

【 追加した種 】

クモ目	コガネグモ科	ワクドツキジグモ	評価区分 : EN
-----	--------	----------	-----------

貝 類

【 削除した種 】

マイマイ目 (柄眼目)	オナジマイマイ科	キイオオベソマイマイ	評価区分 : DD
---------------	----------	------------	-----------

(3)「レッドデータブックあいち2009動物編」に関するQ & A

平成13年度版レッドリスト（平成13年9月に公表）、および第二次レッドリスト（案）（平成19年11月に公表）に対して寄せられた主な質問、意見等について、分類群ごとに回答（補足説明）を以下に掲載した。

哺乳類

【Q1】ニホンジカとカモシカをリストに入れてはどうか。

【A1】ニホンジカとカモシカは近年において生息域と生息数の増加が認められています。また、ニホンジカとカモシカの両種とも愛知県特定鳥獣保護管理計画によって計画的に保護・管理されていることなどからリスト対象外としました。

【Q2】ツキノワグマをリストに入れたのはなぜか。

【A2】ツキノワグマはかつては県内に定住個体がいまいましたが、長らく生息確認がありませんでした。近年になり、隣接した県からの「わたり」と考えられる個体が発見されているほか、平成20年10月には新城市で2頭の子グマも発見されています。これらの個体が継続して生息できるかは不明です。ツキノワグマが継続して生息できるためには生物多様性に富む「豊かな」森林環境が必要で、ツキノワグマが生息していることは自然環境の「豊かさ」を表しています。ツキノワグマが生息し続けられるような豊かな環境を回復することが必要だと思われます。

【Q3】堀川をさかのぼってきたシャチがリストに入っていないのはなぜか。

【A3】2000年（平成12年）2月21日に名古屋港でみつかったシャチは翌22日に堀川を3kmほどさかのぼり、熱田区の白鳥橋付近では100人前後の市民が観察に訪れました。愛知県の海域では、シャチを含めて6科16種のクジラ目（イルカとクジラの仲間）、海牛目のジュゴン、海生の食肉目ではアザラシ科3種、アシカ科2種としてオットセイのほか県内で絶滅したアシカが記録されています。これらのうち、スナメリとアシカ以外は「定住している（いた）」とは言いがたいのでリストには入れませんでした。愛知県で記録されたことのある海獣類は哺乳類の県内目録（19頁）に載せてあります。本書「愛知県における哺乳類の概況」（16頁）の項目についてもあわせてご覧下さい。

鳥類

【Q1】近年、愛知県内の低山地域でもノスリの繁殖が確認されるようになりましたが、オオタカ他よりは繁殖個体数は少ないようです。猛禽類他種と比較して考えますと、レッドリストに掲載されるべきではないでしょうか。

【A1】ノスリは、比較的通過・越冬個体が多いことと、愛知県内での繁殖が以前は標高1,000メートル程度以上の場所に限られていたものが、近年は標高に関係なく繁殖期の記録が認められるようになったことから、絶滅のおそれがある状況ではないと判断しました。

【Q2】魚を養殖していますが、最近ではミサゴがたくさん飛来してきて魚をもっていってしまい、大変困っています。特に冬になり水温が下ると、養殖魚は水温の高い浅い所に来ますのでミサゴにとって捕りやすくなります。ミサゴがレッドリストに掲載されると、生活上困ります。また、最近

の野鳥保護について見てみると、保護はするけどその管理をしないように感じます。

【A2】ミサゴは、主として伊勢湾・三河湾沿岸を中心に冬期にみられますが、愛知県内での記録はわずかであり絶滅危惧種に移行する可能性があるため、前回のレッドデータブック同様、NTとしました。

なお、野生生物による被害防止を含めた鳥獣対策は重要であると考えています。養魚場でのミサゴの採餌は、上空から水面に飛び込んで捕まえる方法に限られます。このため、養魚場でのミサゴの食害を防ぐ有効な方法として、養魚場の上面全体、あるいは魚が浮上して集合し易い箇所の水面上 1m 以上の場所に、太い糸や綱で作られた網目約 20cm 以下の網を水平方向に架けることなどが考えられますので、ご検討下さい。

爬虫類

【Q1】シロマダラとタカチホヘビは非常に珍しい希少種ですが、なぜ絶滅危惧ではなく、情報不足なのか。

【A1】稀少種すべてが絶滅危惧の状態であるとは限りません。これらの種は、かなり広く分布すると考えられますが、夜行性のため、評価するだけの情報が十分ではありません。このため、情報不足と判断しました。

【Q2】ニホンスッポンはなぜ亜種名が必要なのか。

【A2】大陸種と在来種との関係が不明確であること、環境省のレッドリストで亜種名が記載されており、混乱を避けるため亜種名を記入しました。

【Q3】ニホンイシガメは環境省のレッドリストに掲載されていますが、愛知県では掲載されないのか。

【A3】国の場合は全国を対象としています。本県の場合は、県内での生息情報を検討した結果、まだレッドリストに掲載する評価段階ではないと判断しました。

【Q4】ニホンヤモリは奥三河にいないということですが、リストに掲載してはどうか。

【A4】ニホンヤモリは本来住宅地周辺に生息しており、市街地でもよく見られます。また繁殖力も旺盛であり、減少の傾向もみられないためリストの対象外と判断しました。

両生類

【Q1】サンショウウオの一種は、まだ和名が見つからないのか。

【A1】和名については特別の取り決めはありませんが、新種であっても、種を記載し学名が決定するまでは大変時間がかかります。種の記載をする前に研究者が和名をつけることはありますが、現在はまだ和名がついていません。

【Q2】アカハライモリはどうして情報不足なのか。

【A2】アカハライモリはサンショウウオと同じで産卵から変態まで水環境が必要です。現在、水環境が悪化し、アカハライモリが見られなくなった地域が増加しています。減少していることは明らかですが、適正な評価をする十分な情報がありません。このため、情報不足と判断しました。

淡水魚類

【Q1】環境省版レッドリストに記載されている魚種については、少なからずリストに掲載すべきだと考えます。特に、アオギス、シロヒレタビラ、デメモロコならびにイトモロコ、サツキマス・アマゴ、ウナギは危機的な状況にあることから、リストに掲載すべきだといえます。

【A1】本レッドリストの作成においては、ご指摘の種のみならず全ての種について、環境省のレッドリスト等も参考にしながら愛知県における絶滅のおそれを評価しました。ご指摘のありましたアオギスなど個々の種については、以下の見解のとおりです。

本レッドリストは、淡水魚類を評価対象としております。このため、アオギス等、海域や汽水域に生息する魚類は評価対象としておりません。

シロヒレタビラ、デメモロコは、現在のところ確実な標本を伴う愛知県内での確認記録が存在しませんので、本レッドリストの評価対象としませんでした。

イトモロコは、ダム湖では一般的に群れて確認されており、愛知県においては絶滅のおそれがある状況ではないと判断しました。

サツキマスは河川で生まれ海に下ったものが再び河川に遡上したもので、アマゴは河川に残留したものです。このように生活環境の違いはあるものの、同種のものであるため、本レッドリストでも同種として評価しており、本種の愛知県における生息状況は、絶滅のおそれがある状況ではないと判断しました。

ウナギは、環境省のレッドリストに掲載されておりますが、本種の愛知県における生息状況は、シラスウナギの遡上が見られ、絶滅のおそれがある状況ではないと判断しました。

【Q2】環境省のレッドリストではツチフキは絶滅危惧Ⅱ類となっているが、愛知県レッドリストには掲載されていない。愛知県での生息状況は良好なのか、それとも本種は愛知県においては移入種であるということか。

【A2】ツチフキについては、環境省のレッドリストに掲載されておりますが、本種の愛知県における生息状況は、絶滅のおそれがある状況ではないと判断しました。

昆虫類

【Q1】ナベブタムシは EN から NT、オオゴキブリは NT から DD にランクが下がっているが、共に県内でも広汎に分布しており、差し迫って絶滅の危険性がある種とは考えにくい。ランク外にしてもいいと思う。

【A1】ナベブタムシは、生息地での個体数は多いのですが、生息環境の悪化がみられることや、近縁種の事例なども考慮し、絶滅危惧種に移行する可能性があるかと判断しました。

オオゴキブリは、新たな生息地が確認されていますが、生息環境に対する圧力が依然として存在すること、個体数の増減に関する情報が得られていないことから、リストからの除外を判定するに足る情報が得られていないと判断しました。

【Q2】ルリクワガタ、オニクワガタについて、現在のところブナ原生林にそれなりに見られる種類ですが、愛知の原生林の規模は異常に狭い上、直通で車道までも貫いており、県内から多くの朽木割りによる採集者が集中している現状です。原生林内でしかともに繁殖の出来ない種ですので、配慮すべきと考えます。

【A2】ルリクワガタ、オニクワガタは、愛知県内での生息域は限られていますが、前回のレッドリスト作成時に比較して個体数の激変、生息環境の極端な悪化が見られないため、絶滅のおそれがある状況ではないと判断しました。

【Q3】本県のカツラネクイハムシは岐阜県と共に東限個体群として重要であるが、県内に3地点ある既知産地の全てで、10年以上にわたり確認記録が途絶えている。また、生息環境の湿地は常に開発の脅威にさらされており、既に名古屋市天白区平針の生息地は消失してしまったと思われる。今後再確認の可能性は残されて入るものの、以上のような現状を踏まえるとCRと判定するのが妥当だと思う。

【A3】カツラネクイハムシは、前回のレッドリスト作成時以降、新たな生息確認を得ることはできませんでしたが、一定の保全対策がなされている生息地が存在すること、その生息環境に大きな変化はないことから、前回のレッドリスト同様、VUとしました。

【Q4】ツマグロキチョウ、ミドリシジミ、ゴイシシジミ、サカハチチョウがリストから除外されたが、これらはリストに残すべきではないか。

DDからチョウ類が全て省かれているが、ヘリグロチャバネセセリとシータテハは除外する根拠が見当たらない。同様に県内での生息実態がよく分かっていないウラミスジシジミを含め、DDと評価するべきであると思う。

【A4】チョウ類については、同好者も多く関心が深いこともあって多くの意見をいただきました。これらの意見のうち、本書の記述に反映できなかったものについて整理してみると、上記（Q4）のようになります。

ツマグロキチョウは、一部の地区では生息環境の悪化により産地が減少しましたが、各所で新産地が確認されており、愛知県全体としては一頃に比べて個体数の増加が確認されていることから、リスト外としました。

ミドリシジミは、低地部では生息環境の悪化により個体数が減少した場所もありますが、山間部ではヤマハンノキに依存して継続的に発生するなど、愛知県全体としては各地に分布し、新たな産地も増えたことから、リスト外としました。

ゴイシシジミは、調査が進み採集記録が増えたこと、幼虫の食餌がタケ・ササ類の葉裏に寄生するタケノアブラムシなどであり、愛知県内の至る所で確認できることから、リスト外としました。

サカハチチョウは、個体数が一時的に減少した時期もありましたが、最近は回復基調にあり、三河山間部では採集記録も多くあることから、リスト外としました。

ヘリグロチャバネセセリは、一例のみの記録で標本が現存せず、誤同定の懸念もあることから、評価対象としませんでした。

シータテハは、直近の記録としての6年前の旭町での採集記録も含めて多くが秋型の偶産チョウと判断したこと、愛知県内では確実な食餌植物が判明していないことなどから、評価対象としませんでした。

ウラミスジシジミは、瀬戸市や春日井市から豊田市の低地部に限っても各地で成虫が確認されていることから、前回のレッドリスト同様、リスト外としました。

クモ類

【Q1】最近、都市公園等でジグモが少なくなったように思う。準絶滅危惧種くらいに取りあげてはどうか。

【A1】確かにジグモは身近なクモですから、生息地の開発や農薬・除草剤の散布などの影響のある場所では減少傾向にあると思います。しかし、これらの影響のない場所も多く、今でも庭・校庭・公園などに多数生息している地域が各地に見受けられますので、今回はレッドリストに掲載しませんでした。

貝 類

【Q1】環境省のレッドデータブックでは対象になっていない海産貝類（内湾産貝類）について、愛知県のレッドデータブックではなぜ取り上げているのか。

【A1】愛知県では「レッドデータブックあいち 2002 動物編」発刊時から海産貝類を取り上げて来ました。その時点では確かに環境省のレッドデータブックには、海洋生物が全く含まれていませんでしたが、その後環境省もレッドデータブックを改訂し、補遺としてようやく汽水域の貝類までが取り上げられました（環境省,2007）。しかし、依然として愛知県では 2002 年にすでに取り上げていた干潟や浅海域の貝類は含まれていません。その理由として、専門家の不足と海洋生物の同定や現状把握の難しさなどが考えられます。しかし、和田ほか（1996）によって干潟域の底生生物を対象とした現状が報告され、海産貝類の腹足綱、二枚貝綱が網羅的にリストアップされ 340 種もの絶滅種、絶滅危惧種がリストアップされました。また、同書によって初めて日本の内湾を中心とした浅海域に生息する貝類の危機的状況が広く認識されました。その後、海産貝類を対象として扱っている地方版のレッドデータブックも増加し、代表的な物として熊本県野生動物植物検討委員会（1998:1999）、沖縄県（2005）では多くの海産貝類が扱われています。

ご存じのように、愛知県は日本有数の広大な内湾域である伊勢湾、三河湾を擁しています。しかもこれらの海域は、水質汚濁により、生物多様性が著しく損なわれており、早急な現状把握が望まれます。従って本書では陸産貝類、淡水産貝類に加えて伊勢湾、三河湾に生息する内湾産貝類（海産貝類）についても調査対象とし、今回見直し作業も行いました。

【Q2】貝類で絶滅種が淡水産貝類で 5 種、内湾産貝類で 4 種もあるが、何を根拠に絶滅と判断したのか。

【A2】確かに、生息していることを確認するのに比べて、生息していないことを証明することは、非常に難しいのですが、以下の理由から淡水産貝類 5 種、内湾産貝類 4 種が絶滅（EX）と判断されました。

○ カワネジガイ・ヒダリマキモノアラガイ（淡水産貝類）

- ・愛知県の河川下流域の環境がまだ健全な時代から生息場所の限られた珍しい種と認識されており、1970 年代よりこの 2 種の記録された場所を再調査した例があるが、30 年以上本県からの生息記録が無い。
- ・豊橋市蒲池のように生息地自体が埋め立てで消失した場合も多い。
- ・小型種で元々個体数が少ないので、見落とされている可能性が全くないわけではないが、現在の河川下流域の現状を考えると絶滅したと判断するのが妥当である。

○ ヨコハマシジラガイ・オバエボシ・カタハガイ（淡水産貝類）

- ・全てイシガイ科貝類で河川下流域の支流や水路などの水質のよい流れの緩やかな砂底を好む。東海地方全域を見てもこのような場所は非常に少なくなり、愛知県内にはこのような生息環境自体が残されていない。

- ・1970年代以降、愛知県内での採集記録が全くなく、1985年から東海地方4県のイシガイ科貝類の生息状況を詳しく調べた調査でも愛知県内から上述の3種の死殻さえ記録されなかった（木村,1994：木村・中西,1997）。

- タケノコカワニナ・ハイガイ・イチョウシラトリ・アゲマキガイ（内湾産貝類）

- ・内湾の環境が保全されていた1960年代からすでに狭い範囲でのみ生息が確認され、生息場所も内湾奥の水深の浅い場所に限定されていた。

- ・比較的大型の種で見落としている可能性が低い。

- ・以上のように海産種（内湾産貝類）としては生息状況が把握しやすい種であるにもかかわらず、近年全く生息が確認されていない。

詳細については本文の各種の選定理由を参考にして下さい。これらの種は「レッドデータブックあいち2002 動物編」で絶滅にランクしましたが、今回の見直し作業における調査でも生息を確認することができませんでした。

【Q3】ミカワマイマイ（陸産貝類）のランクが環境省のランクより高いのはなぜか。

【A3】ミカワマイマイは愛知県豊橋市嵩山（模式産地）から東に県境を越えて静岡県浜名湖北側の石灰岩地にかけて分布し、元々の生息範囲も静岡県側が広い種です。また浜松市（旧三ヶ日町）などの静岡県側では現在でも生貝がしばしば採集されますが、愛知県側では模式産地を含めて近年ほとんど生貝が採集されていません。これらの理由から愛知県のランクは環境省ランクより高いと判断されました。

【Q4】水産資源保護協会で減少傾向が指摘されているイシマキガイとアカニシがランクされていないのはなぜか。

【A4】イシマキガイは純淡水域から汽水域の河口域まで広い範囲に分布しています。確かに著しく汚染が進行した河川ではほとんど生息が確認できません。しかし、それ以外の河川では人工的な護岸工事を完全に施されたような場所でも多産します。現在数少ない県内河川下流域から汽水域の優占種の1種で、本種を絶滅危惧種と判断すれば、愛知県産の在来種の全てを絶滅危惧種と判断されなければならないとなってしまいます。

同様にアカニシは、現在数少ない県内潮下帯の優占種の1種で、危機的な生息環境の三河湾奥では唯一多産する大型巻貝です。現在も食用のために大量に採集されていますが、減少する傾向は認められません。これらのことより絶滅危惧種として判断されませんでした。

【Q5】ハマグリはスーパーマーケットなどでたくさん売られているのに、愛知県のレッドデータブックでは絶滅危惧種にランクされているのはなぜか。

【A5】確かにハマグリはアサリと並んで最も普通の食用二枚貝でした。しかし、それは愛知県では1960年代までで、近年市場に出ているハマグリ（この類の総称）は、そのほとんどがハマグリ（総称ではなく標準和名のハマグリ：日本在来の内湾性種）ではなく、多くは中国や朝鮮半島から輸入されたシナハマグリです。また、外洋に主分布域を持つ在来種のチョウセンハマグリも地

ハマグリ（国内産ハマグリの意味）として市場に出ますが、ハマグリとは生物学的に明らかに別種です。最近では韓国で大きな内湾域の埋立が行われシナハマグリの量も少なくなってきたためか、台湾産のタイワンハマグリ、ベトナム産のミスハマグリ（商品名：パンダハマグリ）等も市場で見かけるようになりました。

現在市場に時々本物のハマグリが出るがありますが、そのほとんどは九州産です（熊本県や大分県にはハマグリの健全な個体群が現在も保存されている）。著名な三重県桑名産のハマグリも回復傾向が伝えられ、市場に出ることもあります。ただまだ生産量は少なく、非常に高価に取り引きされています。愛知県では前回のレッドデータブック発刊時（2002）以降の調査や今回の見直し調査の結果、わずかな生貝が採集され、幸いにも絶滅した可能性は否定されました。いずれにしても大量に食用にされていた貝類が絶滅寸前になっていることは、県内内湾域の近年の環境悪化を最も端的に表す1つの例かもしれません。

【Q6】貝類は掲載種の解説に種ごとに標本が図示されているのはなぜか、また少数ではあるが他府県産の標本が図示されているのはなぜか。

【A6】貝類は小型の種が多く、食用種以外はその形態がよく知られていません。市販の図鑑に載っている種も多いのですが、本書の利用者の便宜を図るためにも種ごとに図示しました。また、貝殻の外部形態には地域変異が認められる場合もありますので、なるべく愛知県産の標本を図示しました。また図示した標本には産地、採集年月日、採集者を付記し、生息状況に関するデータとしての価値も持たせました。ただし、近年愛知県ではほとんど採集困難な種については、愛知県産標本を用意できなかった種もあります。これらの種については、なるべく地理的に近い産地の標本を図示しました。また、ウミタケ（図3）の様に愛知県産の標本が手元にあるものの、あまりに不完全で種の特徴が十分に表現されていないものについても他府県産の標本を図示しました。

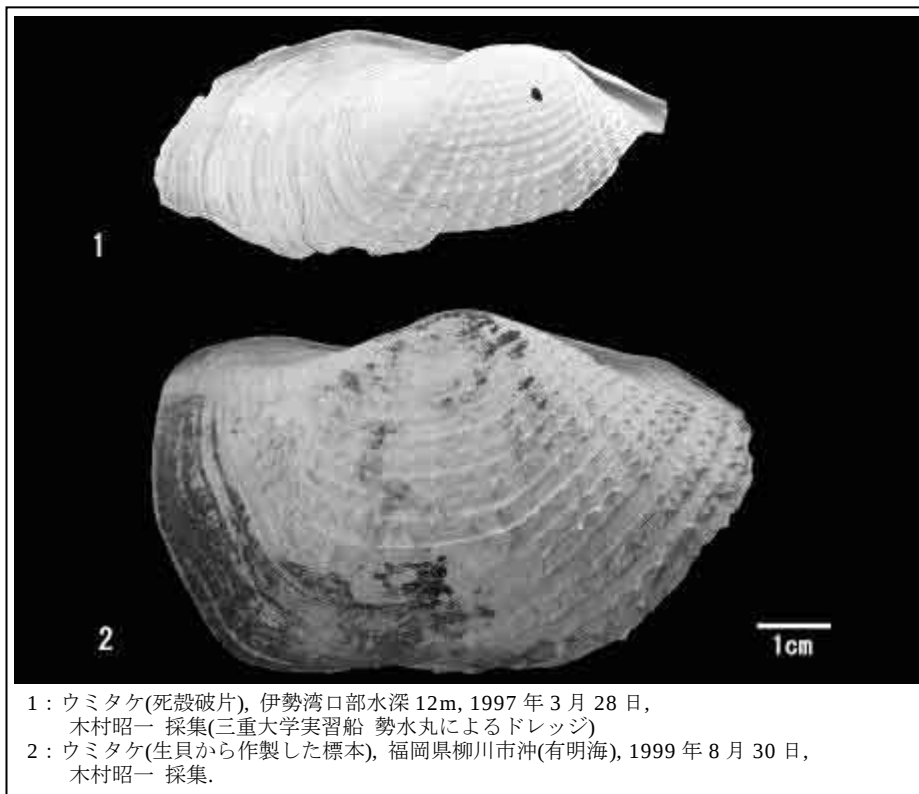


図3 ウミタケの標本

【Q7】内湾産貝類の生息場所のアシ原湿地とは何か。

【A7】本書におけるアシ原湿地とは、内湾奥の河口域の中潮帯付近より上部に発達したアシ群落内の干潟と後背湿地を指し、人為的な改変を受けていないアシ原湿地ではアシ群落周辺の干潟、塩湖、感潮クリークとアシ原群落より上部の陸上植生など複雑な生息場所が存在します（図4：アシ原湿地の模式図：木村・木村,1999より改変）。

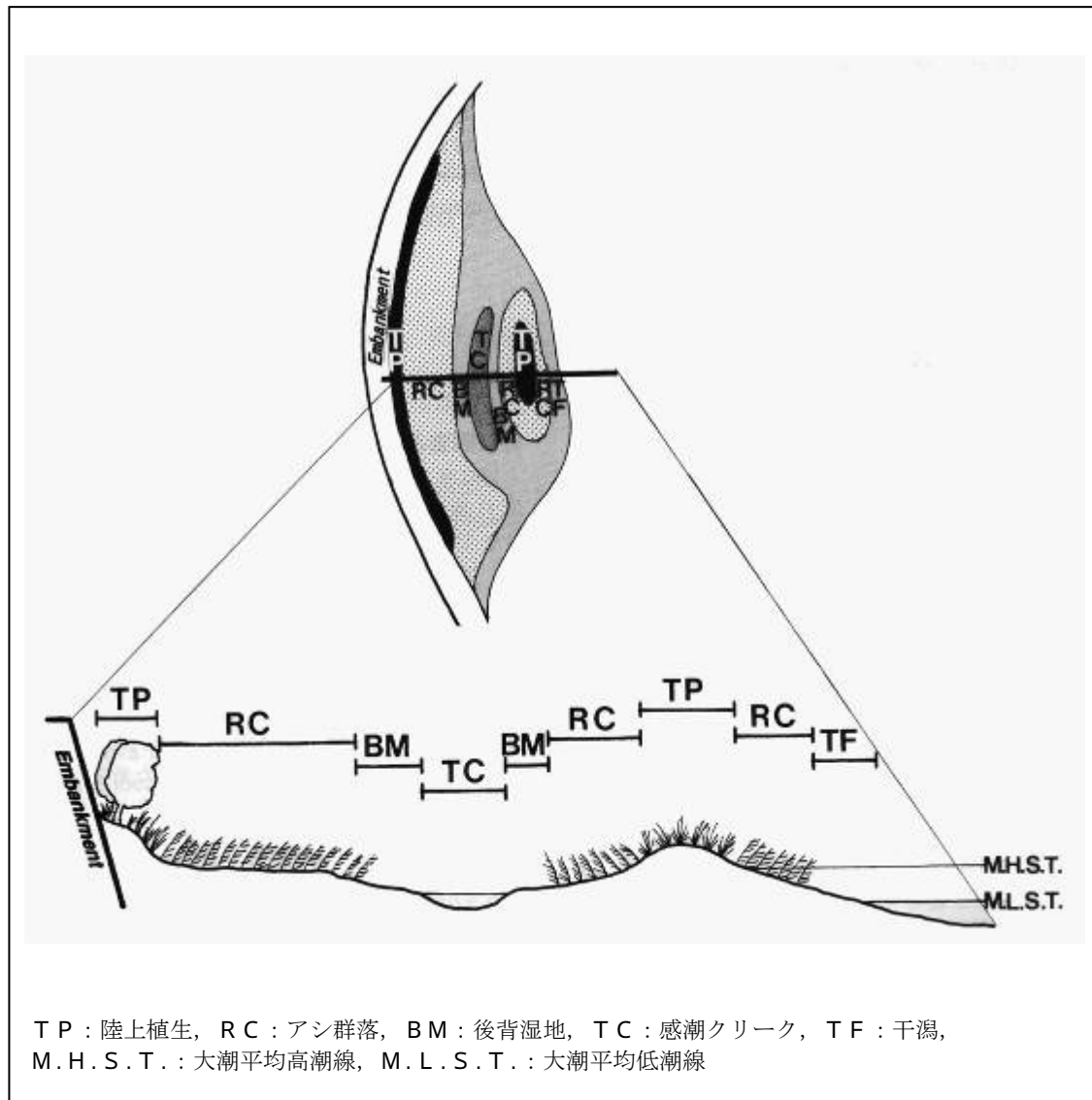


図4 アシ原湿地模式図（木村・木村,1999より改変）

【Q8】内湾産貝類の調査に用いるドレッジとは何か。

【A8】潮下帯より深い海の底質や底生動物を採集する器具の1種です。生物採集用のドレッジでは、通常開口部に硬い金属などが用いられ、後部に生物を採集するための細かい目の網袋がついています。ロープやワイヤーなどの先にこの器具を付け、船で引きずり海底の生物を採集します。今回は三河湾から伊勢湾の潮下帯の貝類調査に使用しました。形式や大きさは様々ですが、漁業調整規則上は底引き網の一種とされ、その使用については、特別採捕許可が必要です。今回の調査では特別採捕許可を得て、開口部の幅が75cmで内側の網地の目合いが5mmのORI型（海洋研究所型）ドレッジを改良した（図5）ものを使用し調査を行いました。

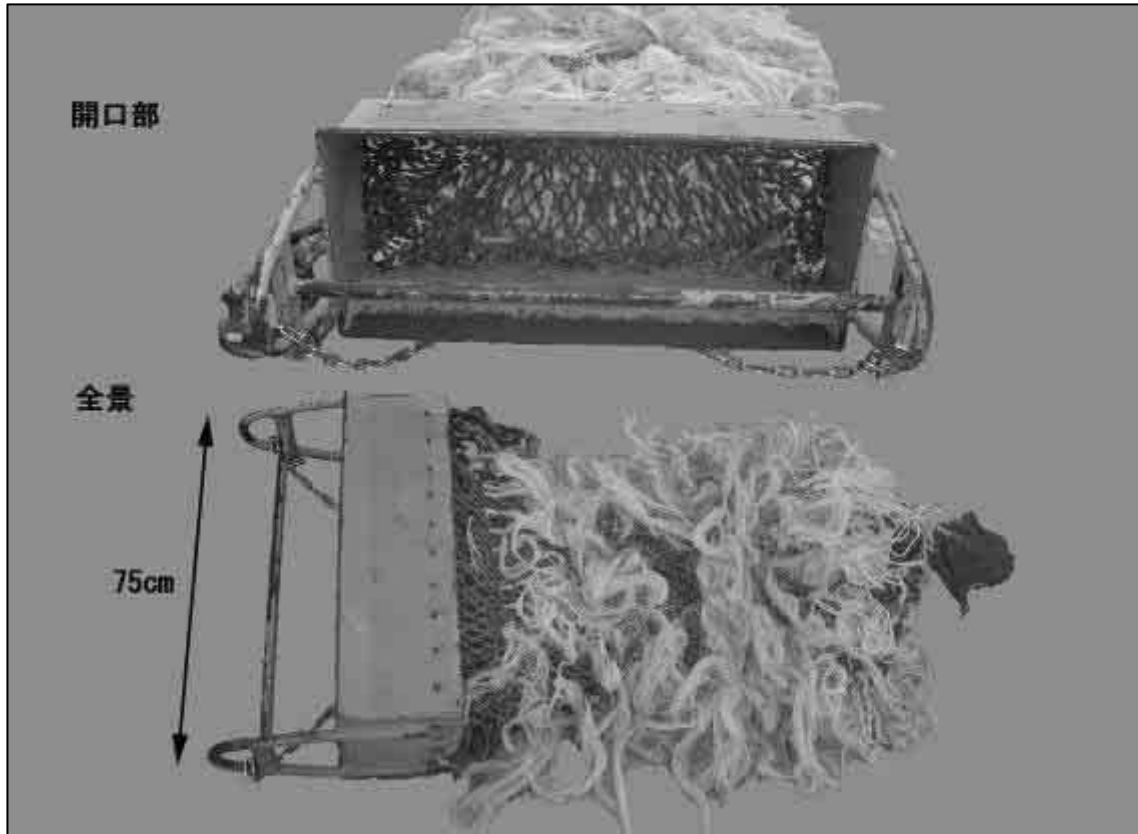


図5 今回の調査で用いたドレッジ

その他

【Q1】レッドリストに新たな掲載種を増やすことはあまり関心がありません。ただ、リストアップするからにはきちんとした売買や採種の禁止などの法整備を進めるのが本来の環境行政の仕事であると思います。法整備無く、単に希少種を列挙することは、マニアや業者のための「珍品リスト」作成であり、現状では悪質な者のために役所は仕事をしていると言われても言い過ぎではないと思います。早急に法整備をお願いしたいと思います。

また、これらの標本を永久的に保存出来る県立の博物館も東海三県の中で愛知だけがありません。現状認識を改め、自然環境の保全や学問レベルについても他県から注目される県になってほしいと一県民として願います。

【A1】レッドデータブックを作成し、自然環境保全に対する啓発を図るとともに、レッドリストの成果を基に希少野生動植物種保護制度の整備を進めてまいります。

【Q2】設楽のダムや某大手自動車メーカーのテストコースなどの建設は、明確に種の絶滅への拍車をかけているわけですが、このような行為に対しては多少の法的規制は出来ないのですか。そのような観点からのレッドデータブックであってほしいと思います。

【A2】大規模開発行為に係る自然環境保全については、環境影響評価の手続きの中で対応してまいります。

【Q3】国の天然記念物になっているナメクジウオはリストに入らないのか。

【A3】ナメクジウオは原索動物門（脊椎動物の先祖と考えられ、ホヤなどもこの仲間）に属する動物です。愛知県では、昭和 16 年に三河大島の東海岸一帯がナメクジウオの生息地として国の天然記念物に指定されましたが、その後、三河湾の富栄養化などの生息環境の悪化に伴い個体数は激減しています。原索動物は調査・研究が他の分類群に比べ進んでいないことなどから、今回の調査対象に加えることができませんでした。仮に、過去の調査記録や最近の確認状況から、他の分類群と同様に愛知県における評価区分を判定するならば、絶滅危惧ⅠA類（CR）に相当する種と考えられます。

なお、参考として次頁に本種の解説を掲載します。 【 執筆者：木村昭一 】

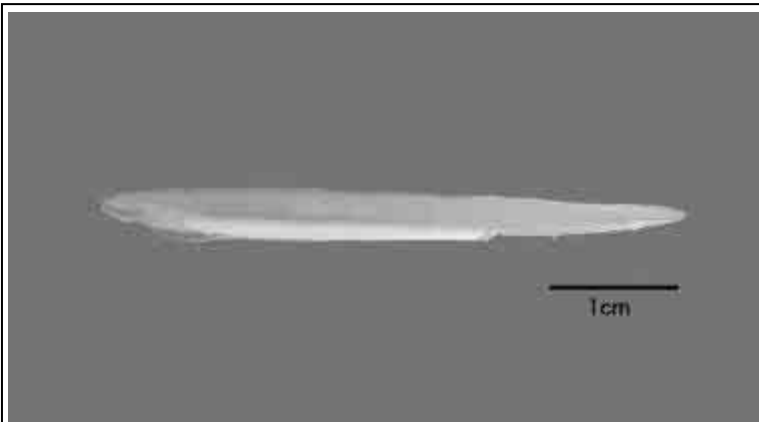
ナメクジウオ *Branchiostoma belcheri* Gray

【選定理由】

本種は、小型の海産生物で、脊椎動物が歴史的に生じるまぎわの状態をうかがわせる進化の生き証人として古くから注目されてきた（西川・水岡, 1990）。しかし、かつて多産することが知られていた生息地でも、水質の富栄養化や底質環境の悪化にともなって、個体数が激減しており、史蹟名勝天然記念物に指定されている広島県三原市有龍島と愛知県蒲郡市三河大島でも、現在その生息が危ぶまれている。

【形態】

体は細長く半透明、両端は尖り、左右に扁平、後端には三角形の膜状に広がる尾鰭がある。全長は約 5cm。



南知多町内海沖(伊勢湾湾口部) 水深 3m(ドレッジ), 2000 年 7 月 27 日, 木村昭一 採集。

【分布の概要】

【県内の分布】

三河湾および伊勢湾湾口部、ただし三河湾内では絶滅に近い状態である。

【国内の分布】

日本では銚子付近以南の本州太平洋沿岸や瀬戸内海及び九州、丹後半島沖（日本海）に分布し、潮下帯では日本各地で低密度ながら今日でも生息している海域があるが、潮間帯（干潟）での生息状況は危機的である（和田ほか, 1996）。

【世界の分布】

インド洋、太平洋の温暖な浅海域に分布する。

【生息地の環境 / 生態的特性】

潮間帯下部から水深 75m までの透水性の高い有機物の少ない粗い砂底を好んで生息する（西川・水岡, 1990；西川, 1995）。砂底に潜り口だけを出し一時的に水中に泳ぎでるが永続的ではなく定在的な生活を送る。

【現在の生息状況 / 減少の要因】

蒲郡市三河大島は 1941 年に当時知られていた分布の北限の地として国の天然記念物に指定された。しかし三河湾内の水質の富栄養化、底質の泥質化にともなって生息数が著しく減少し、1968 年に 2 個体採集されて以来ナメクジウオの採集報告はない（西川・水岡, 1990）。その後、木村・木村（1995）によって三河湾湾口部の日間賀島南沖より 1 個体が採集されたが、底質環境、共に採集された底生動物相から、採集された個体は、伊勢湾湾口部から運ばれた浮遊幼生がたまたま着底したもので、同海域でナメクジウオが再生産している可能性は低いとされた。現状では天然記念物に指定されている三河大島を含めた三河湾内では、水質の富栄養化や底質のヘドロ化などから再生産は無論、浮遊幼生の一時的な着底もほとんど不可能であると考えられる。

1999 年と 2000 年に行われた貝類の現地調査の際、知多半島内海沖の伊勢湾口部でドレッジによって抱卵個体を含む複数のナメクジウオの生息が確認された（木村, 2000）。しかし、今回の見直し調査で 2006 年 10 月、2007 年 8 月に同海域で詳細なドレッジ調査を行ったが、全く生息を確認することはできなかった。ナメクジウオの生息が確認された 1999 年と 2000 年と比較して、生息が確認されなかった 2006 年、2007 年では明らかに底質に有機質が多くなり、広範囲にホトトギスガイが足糸でマットを形成して大量に生息することが確認された。これらの事実は、潮流の滞留や流入有機物の増大等に伴うと考えられる底質の泥質化を示唆している。

【保全上の留意点】

内湾域の富栄養化、底質のヘドロ化の防止。干潟の保全が望まれる。

【特記事項】

和田ほか（1996）では希少／危険にランクされている。

【引用文献】

- 木村昭一・木村妙子, 1995. 27 年ぶりに三河湾で採集されたナメクジウオ. 南紀生物, 37 (2): 129-130.
木村昭一, 2000. 伊勢湾・三河湾でドレッジによって採集された貝類(予報). かきつばた, 26: 18-20. 名古屋貝類談話会.
西川輝昭・水岡繁登, 1990. ナメクジウオ 知られざる天然記念物. 採集と飼育, 52 (4): 152-155.
西川輝昭, 1995. ナメクジウオ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(II), 分冊 II, 海産魚類, pp.135-142. 日本水産資源保護協会.
和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島哲・山西良平・西川輝昭・五島聖治・鈴木孝男・加藤真・島村賢正・福田宏, 1996. 日本の干潟海岸とそこに生息する底生動物の現状. WWF Japan Science Report, 3, 182 pp.

(4) 文献一覧

概論の執筆にあたって引用あるいは参照した文献、掲載種の解説執筆にあたって引用あるいは参照した文献（複数の種にわたる主要なもの）を分類群ごとに以下に掲載した。配列は著者名のアルファベット順とした。なお、一覧には掲載していないが、県内の各市町村史誌も参考とした。

哺乳類

- ・阿部 永, 2000. 日本産哺乳類頭骨図説, 279pp. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- ・揚妻芳美, 2001. 愛知県におけるアライグマ野生化の過程とその現状. マンモ・ス特別号, (3): 1-18.
- ・愛知県農地林務部自然保護課, 1979. 自然環境保全基礎調査, 動物分布. 緑と光, 17: 1-7.
- ・愛知県農地林務部自然保護課, 1994. 愛知県のニホンザルの現状, 204pp. 愛知県, 名古屋.
- ・東 典一, 1987. 日本捕鯨のはじまり. WAVE, (13): 98-104.
- ・Christopher Wozencraft, W. 2005. Order Carnivora. In Wilson, D.E. & Reeder, D.M. eds., Mammal species of the world: A taxonomic and geographic reference, 3rd ed., pp.532-628. Johns Hopkins University Press, Baltimore.
- ・出村 銀, 1921. 篠島史蹟, 170pp. 博信社, 名古屋市. (篠島史蹟復刻実行委員会による復刻版, 1979 による)
- ・長谷川修平, 2008. 伊勢湾におけるスナメリのストランディング. 勇魚, (48): 25-32.
- ・保尊 脩・子安和弘・織田銃一, 2008. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 6. マンモ・ス特別号, (10): 53-58.
- ・石川 創(編), 1994. 日本沿岸のストランディングレコード(1901-1993). 鯨研叢書, (6): 1-94.
- ・伊藤徹魯・中村一恵, 1994. ニホンアシカの復元にむけて(9)ニホンアシカの分布の復元. 海洋と生物, 16 (5): 373-393.
- ・粕谷俊雄・宮崎信之, 1997. 海牛目. 日本哺乳類学会編. レッドデータ日本の哺乳類, pp.186-187. 文一総合出版, 東京.
- ・川田伸一郎・姫田 始, 2001. 愛知県設楽町東納庫名倉カントリークラブ内でのモグラ 2 種の分布調査. マンモ・ス特別号, (3): 49-52.
- ・川田伸一郎・夏目明香・子安和弘, 2003. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 1, (2002 年 10 月～2003 年 4 月). マンモ・ス特別号, (5): 36-41.
- ・川田伸一郎・夏目明香・子安和弘, 2004. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 2, (2003 年 5 月～2004 年 4 月). マンモ・ス特別号, (6): 26-32.
- ・駒場昌幸, 1998. 伊勢湾, 三河湾のクジラについて: スナメリを中心に. 勇魚, (29): 45-47.
- ・子安和弘, 2007. 哺乳類. 海上の森の自然史, pp.115-128. 愛知海上の森センター, 瀬戸.
- ・子安和弘・小林秀司・大竹 勝, 2001. 愛知県の食虫類と翼手類. マンモ・ス特別号, (3): 19-34.
- ・子安和弘・織田銃一, 2002. 哺乳類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 2002: レッドデータブックあいち, pp.47-71. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・栗原 望・川田伸一郎・夏目明香・子安和弘, 2005. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 3, (2004 年 4 月～2005 年 3 月). マンモ・ス特別号, (7): 32-40.
- ・栗原 望・山崎 健・織田銃一, 2006a. 愛知県豊橋市大崎町に漂着したカマイルカ(*Lagenorhynchus obliquidens*). マンモ・ス特別号, (8): 74-78.
- ・栗原 望・山崎 健・子安和弘・織田銃一, 2006b. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 4, (2005 年 4 月～2006 年 3 月). マンモ・ス特別号, (8): 79-86.
- ・栗原 望・子安和弘・織田銃一, 2007. 愛知県三河湾東部におけるスナメリのストランディング記録 5, (2006 年 4 月～2006 年 12 月). マンモ・ス特別号, (9): 48-56.
- ・宮尾嶽雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一, 1984. 哺乳類. 愛知の動物, pp.286-235. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.
- ・名和 明・石黒 茂, 2008. 哺乳類. 新修名古屋市史資料編自然, pp.315-322. 名古屋市, 名古屋.
- ・名和 明・石黒 茂, 2008. 哺乳類. 新修名古屋市史資料編自然目録, pp.77-81. 名古屋市, 名古屋.
- ・日本哺乳類学会(編), 1997. レッドデータ日本の哺乳類, 279pp. 文一総合出版, 東京.
- ・小鹿登美・子安和弘, 2007. 愛知県安城市におけるヒナコウモリの記録. マンモ・ス特別号, (9): 17-22.
- ・酒詰仲男, 1984. 日本縄文石器時代食料総説, 338pp. 土曜会, 京都. 再版.
- ・佐藤顕義・勝田節子・山本輝正, 2008. 愛知県におけるチチブコウモリとヒナコウモリの記録. マンモ・ス特別号, (10): 25-28.
- ・佐藤顕義・勝田節子・山本輝正, 2008. 大井川水系および天竜川水系で確認したノレンコウモリ *Myotis nattereri* の出産哺育と周年動態. コウモリ通信, 16 (1): 2-9.
- ・Shoshani, J. 2005. Order Sirenia. In Wilson, D.E. & Reeder, D.M. eds., Mammal species of the world: A taxonomic and geographic reference, 3rd ed., pp. 92-93. Johns Hopkins University Press, Baltimore.
- ・水産庁(編), 2000. 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック, 437pp. 日本水産資源保護協会, 東京.
- ・高田靖司, 2004. 哺乳類. レッドデータブックなごや 2004, pp.23-42. 名古屋市環境局環境都市推進部環境影響評価室, 名古屋.
- ・豊田市, 1986. 豊田における野生動物の生息分布および変遷調査報告書. 豊田市, 豊田.
- ・豊田市, 2007. 豊田市自然観察の森年次報告書. 豊田市, 豊田.
- ・若林郁夫, 1997. 自分の船で鯨を探す -伊勢湾-. 勇魚, (27): 23-26.
- ・Wilson, D.E. & Reeder, D.M. eds., Mammal species of the world: A taxonomic and geographic reference, 3rd ed. Johns Hopkins University Press, Baltimore.
- ・山崎 健・織田銃一, 2005. 愛知県における遺跡出土の食虫類・齧歯類(縄文時代～弥生時代). マンモ・ス特別号, (7): 10-16.

鳥 類

- ・愛知県, 1977. 愛知県の野鳥. 愛知県農林部治山課.
- ・愛知県, 1983. 愛知の野鳥. 愛知県農地林務部自然保護課.
- ・愛知県, 1996. 愛知の野鳥 1995. 愛知県農地林務部自然保護課.
- ・愛知県, 1970-1998. 野生鳥類生息調査結果報告書.

- ・愛知県野鳥保護連絡協議会, 1998. 平成9年度愛知県コノハヅク生息状況調査結果報告.
- ・愛知県野鳥保護連絡協議会, 1993-1998. 水鳥調査 in Aichi 1993-1999, 名古屋.
- ・Burt L. Monroe, Jr. and Charles G. Sibley, 1993. A WORLD CHECKLIST OF BIRDS. Yale university press, London.
- ・原田進, 1981. 東三河野鳥生息状況調査報告書(1). 東三河野鳥同好会, 豊橋.
- ・原田進, 1987. 東三河南部の冬鳥-1985年1月 野鳥棲息調査報告書. 東三河野鳥同好会, 豊橋.
- ・原田進, 1989. 東三河南部の夏鳥-1987年6-7月 野鳥棲息調査報告書. 東三河野鳥同好会, 豊橋.
- ・Hayman, P., Marchant, J. And Prater, T., 1986. Shorebirds, An Identification Guide to the Waders of the World. Christopher Helm, London.
- ・東三河野鳥同好会, 1991. 東三河探鳥地ガイド. 豊橋.
- ・東三河野鳥同好会, 1972-2000. このはずく, 1-318.
- ・藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三・桑原和之, 1998. シギ・チドリ類全国カウント報告書 1998 年春. 日本湿地ネットワーク シギ・チドリ委員会, 豊橋.
- ・藤岡エリ子・藤岡純治・稲田浩三・桑原和之, 1999. シギ・チドリ類全国カウント報告書 1998 年秋. 日本湿地ネットワーク シギ・チドリ委員会, 豊橋.
- ・稲田浩三・杉山時雄・森井豊久, 2002. 愛知県鳥類目録 2002 及び愛知県鳥類レッドリスト. 愛知県野鳥保護連絡協議会, 岡崎.
- ・稲田浩三・杉山時雄・森井豊久・山形則男, 2002. 鳥類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・五百沢日丸・山形則男・吉野俊幸, 2000. 日本の鳥 550 山野の鳥. 文一総合出版社, 東京.
- ・伊良湖岬の渡り鳥を記録する会, 2000. 伊良湖岬のタカの渡り. タカの渡り 2000. pp.36-46. タカの渡り全国集会 in 信州実行委員会, 長野.
- ・蒲谷鶴彦・松田道生, 1996. 日本野鳥大図鑑 鳴き声 333(上). 小学館, 東京.
- ・蒲谷鶴彦・松田道生, 1996. 日本野鳥大図鑑 鳴き声 333(下). 小学館, 東京.
- ・柿澤亮三・小海途銀次郎, 1999. 日本の野鳥 巣と卵図鑑. 世界文化社, 東京.
- ・環境庁自然保護局野生生物課, 1999. 猛禽類保護の進め方(特に、イヌワシ、クマタカ、オオタカについて). 東京.
- ・環境庁自然保護局野生生物課, 2000. 平成11年度冬期シギ・チドリ類個体数変動モニタリング調査速報. 東京.
- ・桐原政志・山形則男・吉野俊幸, 2000. 日本の鳥 550 水辺の鳥. 文一総合出版社, 東京.
- ・Koning C., Helm Weick, 1999. Owls, A guide to the owls of the world. pp.228-232. Pica press, London.
- ・黒田長久, 1984. 決定版 生物大図鑑 鳥類. 世界文化社, 東京.
- ・森岡照明・叶内拓也・川田隆・山形則男, 1995. 図鑑 日本のワシタカ類. 文一総合出版, 東京.
- ・名古屋市長政緑地局管理部農政課, 名古屋の野鳥 名古屋市野鳥生息状況調査報告 1989.4-1990.3, 1990. 名古屋.
- ・名古屋市長政緑地局管理部農政課, 名古屋の野鳥 名古屋市野鳥生息状況調査報告 1994.4-1995.3, 1990. 名古屋.
- ・夏目五一郎, 1936. 段戸山の鳥(二). 野鳥, 第3巻第7号. pp.20. 日本野鳥の会, 東京.
- ・日本鳥学会, 2000. 日本鳥類目録 改訂第6版. 北海道.
- ・日本鳥類保護連盟・日本野鳥の会, 1976. 干潟に生息する鳥類の全国一斉調査報告書 3.
- ・日本野鳥の会研究部, 1982. シギ・チドリ類全国一斉調査 1981 年報告. strix vol.1. 日本野鳥の会, 東京.
- ・日本野鳥の会研究部, 1983. シギ・チドリ類全国一斉調査 1982 年報告. strix vol.2. 日本野鳥の会, 東京.
- ・日本野鳥の会研究部, 1984. シギ・チドリ類全国一斉調査 1983 年報告. strix vol.3. 日本野鳥の会, 東京.
- ・西三河野鳥の会, 1984. 探鳥地ガイド西三河. 岡崎.
- ・西三河野鳥の会, 1974-2000. 機関誌けり 1-310.
- ・織田重己他, 2001. 岡崎の野鳥, pp.26-29. 岡崎野鳥の会, 岡崎.
- ・緒方清人・清水敏弘編, 1998. 西三河野鳥の会研究年報 Vol.1. 西三河野鳥の会, 豊田市.
- ・緒方清人・清水敏弘編, 2001. 西三河野鳥の会研究年報 Vol.4. 西三河野鳥の会, 豊田市.
- ・緒方清人・杉山時雄・矢沢美智子・柿本浩, 1986. 西三河鳥類目録 1985. 12. 西三河野鳥の会.
- ・Rose, P.M. and Scott, D.A., 1997. Waterfowl Population Estimates, Second Edition. Wetlands International, Wageningen.
- ・The Committee for the Symposium on Raptors of Asia, 2000. ASIAN RAPTOR RESEARCH & CONSERVATION Proceedings of The First Symposium on Raptors of Asia. Shiga.
- ・辻 淳夫, 1990. 伊良湖岬でのタカと小鳥の渡り. 日本の生物 第4巻第6号. pp.22-29. 文一総合出版, 東京.

爬虫類

- ・愛知県両生類・は虫類研究会, 1996. 愛知県の両生類・は虫類. 愛知県農地林務部自然保護課.
- ・環境省, 1982. 日本の重要な両生類・は虫類 東海版.
- ・環境省, 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-3 爬虫類・両生類.
- ・日本水産資源保護協会, 1998. 日本の希少な野生生物に関するデータブック.
- ・新美利, 1974. 渥美の爬虫類・両生類. 伊良湖(4). 伊良湖自然科学博物館.
- ・大竹勝, 2002. は虫類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.

両生類

- ・愛知県両生類・は虫類研究会, 1996. 愛知県の両生類・は虫類. 愛知県農地林務部自然保護課.
- ・環境省, 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-3 爬虫類・両生類.
- ・環境省, 1982. 日本の重要な両生類・は虫類 東海版.
- ・M.Matsui, K.Nishikawa, S.Tanabe, Y.Misawa, 2001. Systematic status of *Hynobius tokyoensis* (Amphibia: Urodela) from Aichi Prefecture, Japan: a biochemical survey., Comparative Biochemistry and Physiology, Part B 130.
- ・前田憲男・松井正文, 1993. 日本カエル図鑑. 文一総合出版.
- ・見澤康充・榊原志志, 1999. 愛知県産ヒダサンショウウオ・腹卵数について. 豊橋自然史博物館研究報告 No.9.
- ・日本水産資源保護協会, 1998. 日本の希少な野生生物に関するデータブック.

- ・大竹勝・榊原圭志, 2002. 両生類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・榊原圭志, 2000. 愛知県産ナガレタゴガエルの初記録. 豊橋市自然史博物館研究報告 No.10.
- ・田辺真吾, 2002. プチサンショウウオ. pp.164-165. 高知県レッドデータブック(動物編). 高知県.
- ・Tominaga, A. and Matsui, M., 2008. Taxonomic status of a salamander species allied to *Hynobius naevius* and a reevaluation of *Hynobius naevius yatsui* Oyama, 1947 (Amphibia, Caudata). Zool. Sci. 25
- ・山上将史・中菌洋行・小野寺慎吾, 2007. 愛知県北西部におけるプチサンショウウオの分布と繁殖に関する記録. 爬虫両棲類学会報, 2007: 137-143. 日本爬虫両棲類学会.

淡水魚類

- ・愛知県, 1984. 愛知県の自然環境.
- ・愛知県, 1980. 第2回自然環境保全基礎調査. 河川調査報告書.
- ・碧南海浜水族館, 1991～2004. 碧南海浜水族館館報.
- ・犬山市, 1989. 犬山の魚たち.
- ・国土交通省, 1999～2004. 平成 11～16 年度 河川水辺の国勢調査 [河川版]. 国土交通省.
- ・国土交通省, 2001～2004. 平成 13～16 年度 河川水辺の国勢調査 [ダム湖版]. 国土交通省.
- ・駒田格知, 2002. 淡水魚類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・名古屋市環境保全局, 1993. 名古屋市及び近隣に生息する動物に関する調査報告.
- ・岡崎市教育委員会, 1978. 岡崎市の淡水魚相 河川編.
- ・岡崎市教育委員会, 1979. 岡崎市の淡水魚相 池編.
- ・音羽町教育委員会, 1996. 音羽にすむ魚.
- ・瀬戸市環境経済部, 1981. 瀬戸の川の水生動物たち.
- ・瀬戸市環境経済部, 1997. 瀬戸の川の魚たち.
- ・淡水魚類研究会, 2002～2005. 淡水魚類研究会報 No.1～11.
- ・豊田市教育委員会, 1980. 豊田の魚 I.
- ・豊田市自然環境基礎調査会, 2005. 豊田市自然環境基礎調査報告書. 豊田市.
- ・梅村鎔二, 1993. 愛知の淡水魚類.
- ・梅村鎔二, 2001. 水とともに生きる.
- ・矢作川水産資源保護調査実行委員会, 1999～2006. 矢作川水産資源保護調査事業報告書.
- ・財団法人 2005 年日本国際博覧会協会, 2002. 2005 年日本国際博覧会に係る環境影響評価書.
- ・財団法人 2005 年日本国際博覧会協会, 2005. 2005 年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査報告書(平成 17 年度).
- ・財団法人 2005 年日本国際博覧会協会, 2006. 2005 年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査報告書(平成 17～18 年度).

昆虫類

○ 概 論

- ・安藤威夫ほか, 1967. 愛知の動物. 222pp. 愛知県.
- ・穂積俊文ほか, 1990. 愛知県の昆虫(上). viii+506pp. 愛知県.
- ・昆虫分布調査委員会, 1983. 昭和 57 年度 自然環境保全基礎調査, 昆虫分布調査報告書. iii+62pp. 愛知県.
- ・倉内一二ほか, 1984. 愛知県の自然環境. 278pp. 愛知県.
- ・松沢 勲ほか(編), 1990. 東海の自然史. i+406pp. (財)東海財団.
- ・中西 正ほか, 1999. 豊橋市自然環境保全基礎調査報告書. i+14pls. +vi+449pp. 豊橋市.
- ・ニューサイエンス社(編), 1982. 昆虫と自然, 愛知県の昆虫特集, 17 (12): 2-25.
- ・岡田正哉ほか, 1991. 愛知県の昆虫(下). iii+416pp. 愛知県.
- ・佐藤正孝ほか, 1983. 東三河地区昆虫実態調査, 159pp. 東海自然環境研究会.
- ・佐藤正孝ほか, 2002. 昆虫類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県.
- ・佐藤正孝・安藤 尚(編), 1984. 愛知の動物, 325pp. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・佐藤正孝・長谷川道明(編), 2001. 穂積俊文博士記念論文集, 東海昆虫誌. 368pp. 穂積俊文博士記念論文集発行事業会, 名古屋昆虫同好会.
- ・東海自然環境調査研究会(編), 1992. 名古屋市及び近隣に生息する動物に関する調査報告. viii+174pp. 名古屋市.

○ トンボ目

- ・安藤 尚, 2005. 愛知と岐阜のトンボ・分布資料(3). 佳香蝶, 57 (221): 1-9.
- ・安藤 尚, 2007. 愛知と岐阜のトンボ・分布資料(8). 佳香蝶, 59 (230): 25-30.
- ・安藤 尚, 2008. 愛知と岐阜のトンボ・分布資料(9). 佳香蝶, 60 (233): 1-10.
- ・安藤 尚, 2008. 愛知と岐阜のトンボ・分布資料(10). 佳香蝶, 60 (233): 23-36.
- ・安藤 尚, 2008. トンボ目. 新修名古屋市史 自然. 名古屋市.
- ・小林広成, 2005. トンボ目. 豊田市自然環境基礎調査報告書 <昆虫編>. 豊田市.
- ・杉村光俊・小坂一章・吉田一夫・大浜祥治, 2008. 中国・四国のトンボ図鑑. ミナミヤンマ・クラブ.
- ・高崎保郎, 2008. 愛知県長久手町の蜻蛉と蝶. 佳香蝶, 60 (233): 133-149.
- ・竹本秀邦, 2005. トンボ類. 音羽町史 自然. 音羽町.
- ・吉田雅澄, 2007. 愛知県市町村別トンボ分布表 2006. Aeschna, (43): 1-8.
- ・吉田雅澄, 2008. 愛知県市町村別トンボ分布表 2006 への追加. Aeschna, (44): 26-28.
- ・吉田雅澄・大野 徹・鶴飼貞行, 2000. 愛知県市町村別トンボ分布表. 佳香蝶, 52 (201): 13-23.
- ・吉田雅澄・成田茂夫, 2001. 愛知県市町村別トンボ分布表への追加 1. 佳香蝶, 52 (206): 23-25.

○ ゴキブリ目、カマキリ目、バッタ目、ナナフシ目

- ・朝比奈正二郎, 1991. 日本産ゴキブリ類. 中山書店, 東京都.
- ・市川顕彦・村井貴史・本田恵里, 2000. 総説・日本のコオロギ. ホシザキグリーン財団研究報告, 4: 257-332.
- ・環境省, 1980. 日本の重要な昆虫類 東海版.
- ・岡田正哉, 1990. 愛知県の直翅目(1). 愛知県の昆虫, (上): 87-93. 愛知県.
- ・岡田正哉, 1991. 愛知県の直翅目(2). 愛知県の昆虫, (下): 5-20. 愛知県.
- ・岡田正哉, 2004. 愛知県のクチキウマ類の分布記録. 佳香蝶, 56 (217): 20-21.
- ・山崎柄根, 1981. 日本産ヒナカマキリについて. Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo, (14): 95-102.

○ カメムシ目

- ・安城市史編集委員会, 2005. カメムシ目. 新編安城市史 11. 資料編自然 別冊 安城市動物目録: 91-99. 安城市.
- ・浅岡孝知, 1996. カメムシ目. 稲武町史—自然—資料編: 162-179. 稲武町.
- ・浅岡孝知, 1999. カメムシ目. 豊橋市自然環境保全基礎調査報告書, (資料編): 65-73. 豊橋市.
- ・浅岡孝知, 2001. 旭町のカメムシ目. 旭町の昆虫: 65-84. 旭町.
- ・浅岡孝知・家城 司, 1990. 愛知県の異翅目. 愛知県の昆虫, (上): 123-162. 愛知県.
- ・堀 義宏, 1982. 愛知県の半翅目. 昆虫と自然, 17 (12): 22-25.
- ・堀 義宏・佐藤正孝, 1984. 半翅類. 愛知の動物: 99-107. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・堀 義宏・浅岡孝知・原田猪津夫, 1990. 愛知県の頸吻亜目. 愛知県の昆虫, (上): 105-122. 愛知県.
- ・刈谷市史編さん編集委員会, 1989. 刈谷市昆虫類目録. 刈谷市史 第5巻 資料 (自然・考古): 415-436. 刈谷市.
- ・矢崎充彦・石田和男, 2008. 東海地方の水生半翅類. 佳香蝶, 60 (234): 165-200.
- ・吉富博之・長谷川道明, 1997. 愛知県のアメンボ. 豊橋市博研報, (7): 35-39.

○ コウチュウ目

- ・浅岡孝知, 2003. 豊橋市金色島の昆虫. 三河の昆虫, (50): 543-546.
- ・江上信雄, 1943. 名古屋市外・定光寺・付近の水棲昆虫. 採集と飼育, 5(3): 78-79.
- ・長谷川道明, 2002. 豊橋市自然史博物館所蔵森部一雄コレクションに含まれる重要な愛知県産甲虫類. 豊橋市自然史博物館研究報告, (12): 49-53.
- ・長谷川道明・蟹江 昇, 1992. 豊橋市表浜海岸の海浜性甲虫類. 豊橋市自然史博研報, (8): 41-48.
- ・長谷川道明・吉富博之, 1998. 愛知県のネクイハムシ類. 豊橋市自然科学博物館研究報告, (8): 41-48.
- ・林 成多, 2004. 総説・日本のネクイハムシ亜科. ホシザキグリーン財団研究報告, (7): 29-126.
- ・広 正義, 1963. 矢作川の水生昆虫. 矢作川の自然, 84-142.
- ・広 正義, 1966. 矢作川水系における水生昆虫の群生生態学的研究. 名古屋女子大学紀要, 12: 77-206.
- ・穂積俊文, 1960. 東海甲虫誌(9). 佳香蝶, 12 (41): 17-23.
- ・穂積俊文, 1997. 愛知県未記録甲虫数種. 佳香蝶, 49 (192): 71.
- ・穂積俊文・佐藤正孝, 1957. 東海甲虫誌(第3報). 佳香蝶, 9 (31): 1-10.
- ・藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録. コガネムシ研究会.
- ・蟹江 昇, 1989. 愛知県面ノ木峠で採集した甲虫. 佳香蝶, 41(157): 7-10.
- ・蟹江 昇ほか, 2001. 旭町の甲虫目. 旭町の昆虫: 89-173. (財)旭高原自然活用村協会.
- ・蟹江 昇・戸田尚希, 2008. 愛知県のタマムシ. 佳香蝶, 60 (234): 207-230.
- ・神谷一男, 1955. 奥三河の昆虫相. 北設楽山岳地帯及鳳来寺山県立公園一帯の自然科学: 33-70.
- ・神谷一男, 1956. 南知多・渥美・蒲郡地方に産する昆虫類. 三河湾自然公園調査報告書: 50-61.
- ・川井信矢ほか, 2005. 日本産コガネムシ上科図説 第1巻 食糞群 1. 昆虫文献六本脚.
- ・木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 東海大学出版会.
- ・北山 昭ほか, 1993. 日本のゲンゴロウ. 文一総合出版.
- ・森田誠司・白井勝巳・蟹江 昇・長谷川道明, 1996. 愛知県におけるキバナガミズギワゴミムシ類の採集記録. 豊橋市自然史博研報, (6): 27-30.
- ・村上哲夫, 1986. 猪高緑地内の池の魚類と底棲生物. ため池の自然, (4): 7-8.
- ・成瀬善一郎, 1960. 渥美半島赤羽産水棲甲虫. 佳香蝶, 12 (44): 152-153.
- ・野尻湖昆虫グループ, 1985. 日本のネクイハムシ. 野尻湖昆虫グループ.
- ・大原昌宏, 1996. 日本産エンマムシ上科解説IV. 甲虫ニュース, (116): 7-10.
- ・大平仁夫, 1973. 採集されなくなった三河の甲虫2種. 三河の昆虫, 4: 15.
- ・大平仁夫, 1985. 岡崎市の甲虫類. 岡崎市史 自然: 1024-1096.
- ・大平仁夫, 1995. 三河地方から採集されるコメツキムシについて(13). 佳香蝶, 47 (184): 57-59.
- ・大平仁夫ほか, 1996. 第7章 昆虫類. 第1節 昆虫綱 コウチュウ目. 稲武町史 -自然- 資料編: 180-266.
- ・大平仁夫ほか, 1996. 第5章 第4節 (8)コウチュウ類. 設楽町誌 -自然編- 資料編: 449-551.
- ・酒井 香・藤岡昌介, 2007. 日本産コガネムシ上科図説 第2巻 食葉群 1. 昆虫文献六本脚.
- ・佐藤正孝, 1965. 海に住む昆虫. 井波一雄編, 名古屋の自然: 166. 六月社, 大阪.
- ・佐藤正孝, 1971. 知多半島の水生甲虫類. 日本昆虫学会東海支部報, (24): 2-3.
- ・佐藤正孝, 1977. 日本産ミズスマシ科概説. 甲虫ニュース, (39): 1-4.
- ・佐藤正孝, 1978. 日本産ホソガムシ科概説. 甲虫ニュース, (40): 1-3.
- ・佐藤正孝, 1984. 日本産水棲甲虫類の分類学的覚え書, I. 甲虫ニュース (65): 1-4.
- ・佐藤正孝ほか, 1990. 愛知県の甲虫. 愛知県の昆虫, (上): 200-477. 愛知県.
- ・佐藤正孝・成瀬善一郎, 1963. 矢作川流域の水生甲虫類. 矢作川の自然: 163-172. 名古屋女子大学.
- ・竹内克豊・原田猪津夫・松野更一, 1980. 愛知県北設楽郡のカミキリムシ. 愛知県豊根村の動物: 231-285.
- ・豊明市史編集委員会, 2003. 豊明市史資料編補 7 自然目録: 326.
- ・豊橋市, 1999. 豊橋市自然環境保全基礎調査報告書.
- ・豊田市, 2005. 豊田市自然環境基礎報告書.
- ・渡辺泰明, 1985. 原色日本甲虫図鑑(II). 保育社, 大阪.
- ・山崎隆弘, 1978. 三河地方で採集した珍しい甲虫. 三河の昆虫, 3: 9-11.
- ・山崎隆弘, 1995. 愛知県富山村のハムシ. 三河の昆虫, (42): 393-396.

- ・吉富博之, 1994. 愛知県産甲虫類分布資料(1). 佳香蝶, 46 (178): 21-22.

○ トビケラ目

- ・Katsuma, N., 2006. 茨城県内で確認されたトビケラ類の記録(第2報)-常陸大宮市(旧御前山村) 相川のトビケラ相-. るりぼし, 33: 33-44.
- ・西本浩之・森田久幸, 2001. 1995～1999年の調査における豊田市都市ブロックの矢作川周辺の昆虫類4、都市ブロック河辺のトビケラ相. 矢作川研究, 5: 71-78.
- ・西本ふたば・西本浩之, 1998. 愛知県のトビケラ相(第2報)-瀬戸市南東部、通称「海上の森」のトビケラについて-. 名古屋女子大学紀要(家政・自然編), 44: 147-154.
- ・野崎隆夫・中村慎吾, 2007. 広島県で採集されたトビケラ成虫の記録(第2報). 比和科学博物館研究報告, 48: 91-101.
- ・高崎一郎, 2002. 香流川(愛知県長久手町)の底生昆虫 1979～2001. 佳香蝶, 54 (210): 21-28.

○ チョウ目チョウ類

- ・愛知県環境部自然環境課, 2007. 湿地・湿地携帯系保全の考え方ー適切な保全活動の推進を目指してー: 1-50.
- ・浜 栄一・栗田貞多男・田下昌司, 1996. 信州の蝶: 73. 信濃毎日新聞社, 長野.
- ・福田晴夫・浜 栄一・葛谷 健ほか, 1984. 原色日本蝶類生態図鑑(IV). 保育社, 大阪.
- ・小岩屋 敏, 2007. 世界のゼフィルス大図鑑解説編: 234-287. むし社, 東京.
- ・名古屋市, 2004. レッドデータブックなごや 2004 動物編. 名古屋市環境影響評価室, 名古屋.
- ・日本環境動物昆虫学会(編), 1998. チョウの調べ方. 文教出版, 大阪.
- ・白水 隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 学習研究社, 東京.
- ・高橋 昭ほか, 1991. 愛知県のチョウ類. 愛知県の昆虫, (下): 21-95. 愛知県.
- ・高橋匡司ほか, 2001. 旭町のチョウ類. 旭町の昆虫: 225-284. (財)旭高原自然活用村協会.
- ・高橋匡司ほか, 2005. チョウ目チョウ類. 豊田市自然環境基礎調査報告書: 238-256, 資料編: 273-288. 豊田市.
- ・吉田正樹, 1986. 黒田貯水池付近におけるセセリチョウ科6種の発生と訪花植物について. 佳香蝶, 38 (147): 41-46.

○ チョウ目ガ類

- ・井上 寛ほか, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社, 東京.
- ・工藤広悦, 1985. 沼沢地の蛾. 月刊むし, (174): 8-15.
- ・間野隆裕, 1989. 木曾川河口の湿地の蛾. 蛾類通信, (143): 283-287.
- ・間野隆裕, 1990. 愛知県海部郡弥富町の蛾. 佳香蝶, 41 (160): 46-56.
- ・間野隆裕, 1990. 豊田市八草町の湿地で得た蛾. 佳香蝶 42 (163): 48.
- ・間野隆裕, 2004. 第5章昆虫第10節チョウ目(ガ類). 上野市史 自然編: 723-747, 995-1030. 上野市.
- ・間野隆裕, 2008. 第5章 昆虫類 第13節 鈴鹿市のガ類. 鈴鹿市の自然ー鈴鹿市自然環境調査報告書ー: 742-792. 鈴鹿市.
- ・間野隆裕・宮崎弘規, 1988. 愛知県鳳来町で採集した蛾. 誘蛾燈, (111): 23-29.
- ・松井直人, 1991. 岡崎市本宿町の蛾. 虫譜, 29 (2): 1-32.
- ・三浦重光, 1985. 岡崎市の蛾類. 新編岡崎市史 14 自然編: 853-972.
- ・中村正直ほか, 1996. 葦毛湿原(豊橋市岩崎町)で獲られた蛾類目録 (葦毛第2湿原(指定外地)の蛾類調査報告4). 蛾類通信, (189): 223-230.
- ・杉 繁郎ほか, 1987. 日本産蛾類生態図鑑. 講談社.
- ・田中 蕃ほか, 1991. 愛知県の蛾類. 愛知県の昆虫, (下): 96-416. 愛知県農地林務部自然保護課.
- ・田中 蕃ほか, 2005. 豊田市自然環境基礎調査報告書. 本編Ⅶ 昆虫類: 181-323. 資料編Ⅴ 昆虫類: 105-385. 豊田市.
- ・Yoshiyasu, Y., 1985. A systematic study of the Nymphulinae and the Musotiminae of Japan (Lepidoptera: Pyralidae). Scient. Rep. Kyoto prefect. Univ. (Agric.) 37: 1-162.

クモ類

- ・Akio Tanikawa, Yung-Hau Chang & I-Min Tso, 2006. Identity of a Japanese spider species recorded as *Pasilodius bufoninus* (Araneae: Araneidae), with a description of the male considering the sequence of mtDNA.
- ・浅野, 1999. 相生山緑地自然観察会報告. 相生山緑地自然観察会報告. 相生山緑地自然観察会.
- ・石井幸子, 1999. とんぼのメガネ No.35. 明徳公園観察会.
- ・石井幸子, 2000. ゲホウグモの観察ー網・フ化、および越冬の様子ー. 蜘蛛(32/33). 中部蜘蛛懇談会.
- ・石井幸子, 2000. ゲホウグモ観察日記. 中部蜘蛛懇談会 1999 年度研究発表会資料. 中部蜘蛛懇談会.
- ・板倉泰弘, 1989. 愛知県足助町および設楽町段戸裏谷のクモ. Kishdaia. 東京蜘蛛談話会.
- ・板倉泰弘, 1995. 1995 年度第一回採集観察会報告. 蜘蛛(28). 中部蜘蛛懇談会.
- ・板倉泰弘, 2000. 1999 年度採集観察会・合宿報告(矢作川河川敷で確認されたクモ類). 蜘蛛(32/33). 中部蜘蛛懇談会.
- ・板倉泰弘, 2003. 2002 年度 第3回採集観察会報告(宝飯郡音羽町宮路山). 蜘蛛(36). 中部蜘蛛懇談会.
- ・久米忠夫, 1965. 東三河(愛知県)の真正クモ類(1). Atypus(38). 東亜蜘蛛学会.
- ・久米忠夫, 1967. 東三河地方の真正クモ類. 虫譜. 三河生物同好会.
- ・益田和昌, 2000. 東海地方のホラヒメグモ. 蜘蛛(32/33). 中部蜘蛛懇談会.
- ・村上 勝, 2002. 2001 年度 第4回採集観察会報告(名古屋守山区小幡緑地). 蜘蛛(35). 中部蜘蛛懇談会.
- ・永井 均, 1983. 興正寺のクモ(1). 蜘蛛(17). 中部蜘蛛懇談会.
- ・永井 均, 1984. 中部蜘蛛懇談会例会メモ. 蜘蛛(19). 中部蜘蛛懇談会.
- ・野沢孝之郎, 1980. くも類. 豊根村の動物. 豊根村教育委員会.
- ・野沢孝之郎, 1985. 岡崎市の動物クモ類. 新編 岡崎市史自然 14. 新編 岡崎市史編纂委員会.
- ・小笠原幸恵, 1993. 1993 年度第一回学習会兼採集観察会報告. 蜘蛛(26). 中部蜘蛛懇談会.
- ・小笠原幸恵, 1994. 1994 年度第二回採集観察会報告. 蜘蛛(27). 中部蜘蛛懇談会.
- ・小笠原幸恵, 1995. 1995 年度第二回採集観察会報告. 蜘蛛(28). 中部蜘蛛懇談会.
- ・小笠原幸恵, 1997. 1996 年度第四回採集観察会報告. 蜘蛛(29). 中部蜘蛛懇談会.
- ・小笠原幸恵, 1998. どこでもくも. まどい(18). 中部蜘蛛懇談会.

- ・緒方清人, 1987. 八事天白溪湿地のクモ, 蜘蛛, 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 1987. 豊田のクモ, 豊田のクモ, 豊田市公園緑地課.
- ・緒方清人, 1989. 渥美半島の真正クモ類, 虫譜 28(1), 三河生物同好会.
- ・緒方清人, 1991. 豊根村下黒川の真正クモ類, 三河の野生動物, 三河野生動物研究会.
- ・緒方清人, 1992. 1992 年度第二回採集会報告, 蜘蛛(25), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 1992. 瀬戸市雲興寺周辺の真正クモ類, 蜘蛛, 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 1992. 知立市の真正クモ類について, しのびぐも, 三重クモ談話会.
- ・緒方清人, 1993. 半田市の真正クモ類について, ほたる, 東海市ほたるの会.
- ・緒方清人, 1993. 鳳来寺山の真正クモ類, 鳳来寺山の自然誌, 鳳来寺山自然科学博物館.
- ・緒方清人, 1996. クモ類, 稲武町史自然資料編, 稲武町.
- ・緒方清人, 1996. 真正クモ類, 設楽町史 自然編 資料編, 設楽町.
- ・緒方清人, 1998. ロクショヤミサラグモの新産地, しのびぐも(26), 三重クモ談話会.
- ・緒方清人, 1998. 愛知県におけるチクニドヨウグモの分布, 蜘蛛, 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 1998. 真正クモ類, 新編豊川市史-10 巻-自然資料 本編, 豊明市.
- ・緒方清人, 1998. 真正クモ類, 新編豊川市史-10 巻-自然資料 目録編, 豊明市.
- ・緒方清人, 1999. 節足動物, 豊橋市自然環境基礎調査報告書, 豊橋市.
- ・緒方清人, 1999. 鳳来寺山の真正クモ類, 鳳来寺山自然科学博物館館報(28), 鳳来寺山自然科学博物館.
- ・緒方清人, 2000. クモ類, 岡崎市史研究(21), 岡崎市教育委員会.
- ・緒方清人, 2000. ジグモ, 広報安城, 安城市.
- ・緒方清人, 2000. 富山村の真正クモ類(Ⅱ), 蜘蛛(32/33), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2001. 愛知県におけるコケオニグモとシノビグモの分布について, 蜘蛛(34), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2001. ジョロウグモ, 広報とよあけ, 豊明市.
- ・緒方清人, 2001. トタテグモ類, 行事と見学の案内(平成 13 年度), 鳳来寺山自然科学博物館.
- ・緒方清人, 2001. 安城市の真正クモ類について, 安城市史研究, 安城市史編さん委員会.
- ・緒方清人, 2001. 岡崎公園内の真正クモ類, 岡崎市史研究(23), 岡崎市教育委員会.
- ・緒方清人, 2001. 津具村白鳥山のクモ, 蜘蛛(34), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2002. 2001 年度 第 1 回採集観察会報告(名古屋市緑区大高緑地一帯), 蜘蛛(35), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2002. アシダカグモ, 広報安城, 安城市.
- ・緒方清人, 2002. 鳥類・クモ類・多足類, 北山湿地保全整備調査報告書, 岡崎市動植物調査会.
- ・緒方清人, 2003. 2002 年度 第 1 回採集観察会報告(豊田市自然観察の森), 蜘蛛(36), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2003. 2002 年度 第 2 回採集観察会報告(瀬戸市定光寺・海上の森一帯), 蜘蛛(36), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2003. 真正クモ類・豊明市史資料編補七自然 資料編, 豊明市史編纂室.
- ・緒方清人, 2003. 真正クモ類・豊明市史資料編補七自然 本編, 豊明市史編纂室.
- ・緒方清人, 2003. 鳥類・クモ類・多足類, 北山湿地保全整備調査報告書, 岡崎市動植物調査会.
- ・緒方清人, 2004. 2003 年度 第 4 回採集観察会報告(豊田市琴平町トヨタの森), 蜘蛛(37), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2004. 2003 年度 第 5 回採集観察会報告(豊田市王滝渓谷), 蜘蛛(37), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2004. クモ類・多足類, おかざき自然体験の森自然環境基礎調査報告書, 岡崎市環境部自然共生課.
- ・緒方清人, 2004. 鳳来寺山を模式とするクモ類とヤスデ類, 鳳来寺山自然科学博物館館報(33), 鳳来寺山自然科学博物館.
- ・緒方清人, 2005. 2004 年度 第 2 回採集観察会報告(豊田市自然観察の森), 蜘蛛(38), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2005. 2004 年度 第 3 回採集観察会報告(豊田市琴平町トヨタの森), 蜘蛛(38), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2005. クモ類, 新編安城市史 11 資料編 自然 本文編, 安城市.
- ・緒方清人, 2005. クモ類・多足類, 音羽町史 自然 資料編, 音羽町教育委員会.
- ・緒方清人, 2005. クモ類・多足類, 音羽町史 自然 本文編, 音羽町教育委員会.
- ・緒方清人, 2005. クモ類多足類, おかざき自然体験の森自然環境基礎調査報告書, 岡崎市環境部自然共生課.
- ・緒方清人, 2005. ナガコガネグモ, 広報とよあけ, 豊明市.
- ・緒方清人, 2005. ムカデ綱・ヤスデ綱・クモ綱, 新編安城市史 11 資料編 自然 目録(動物), 安城市.
- ・緒方清人, 2005. 鳳来寺山で記録されたツシマトリノフンダマシについて, 鳳来寺山自然科学博物館館報(34), 鳳来寺山自然科学博物館.
- ・緒方清人, 2006. 岡崎市自然体験の森のクモ類, 蜘蛛(39), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2006. 2005 年度 第 5 回採集観察会報告(東海市荒尾町しあわせ村), 蜘蛛(39), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2006. クモ類, 豊田市自然環境基礎調査報告書, 豊田市環境部環境政策課.
- ・緒方清人, 2006. クモ類多足類, おかざき自然体験の森自然環境基礎調査報告書, 岡崎市環境部自然共生課.
- ・緒方清人, 2006. コクサグモ, 広報とよあけ, 豊明市.
- ・緒方清人, 2006. セスジアカムネグモ, 広報とよあけ, 豊明市.
- ・緒方清人, 2006. 岡崎市岡崎城公園におけるキシノウエトタテグモの調査報告書, 岡崎市史研究(27), 岡崎市教育委員会.
- ・緒方清人, 2006. 鳥類・クモ類, 北山湿地, 岡崎市環境部自然共生課.
- ・緒方清人, 2007. 愛知県常滑市常滑のクモ, 蜘蛛(40), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2007. 2006 年度 第 1 回採集観察会報告(東海市荒尾町しあわせ村), 蜘蛛(40), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2007. 2006 年度 第 3 回採集観察会報告(名古屋市長種区平和公園南部地域), 蜘蛛(40), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2007. 2006 年度 第 4 回採集観察会報告(岡崎市八ツ木町おかざき市自然観察の森), 蜘蛛(40), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2007. コガネグモ, 追いつめられた生き物たち(51), 矢作新報社.
- ・緒方清人, 2007. シノビグモ, 追いつめられた生き物たち(52), 矢作新報社.
- ・緒方清人, 2007. トタテグモ類, 追いつめられた生き物たち(50), 矢作新報社.
- ・緒方清人, 2008. 閨苅溪谷のクモ, 蜘蛛(34), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2008. 2007 年度 第 1 回採集観察会報告(豊田市猿投町猿投山), 蜘蛛(41), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2008. 2007 年度 第 4 回採集観察会報告(安城市高町矢作川河川敷), 蜘蛛(41), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人, 2008. クモ類, 安城市の絶滅のおそれのある貴重な動物-安城市版レッドデータブック 動物編, 安城市史編集委員会.
- ・緒方清人, 2008. 愛知県産クモ類目録, KISIDAIA, No.94, 東京蜘蛛談話会.
- ・緒方清人・小笠原幸恵, 1994. 名古屋市の真正クモ類について(1), 蜘蛛(27), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人・小笠原幸恵, 1995. 名古屋市の真正クモ類について(2), 蜘蛛(28), 中部蜘蛛懇談会.
- ・緒方清人・小笠原幸恵, 1997. 名古屋市の真正クモ類について(3), 蜘蛛, 中部蜘蛛懇談会.

- ・緒方清人・須賀瑛文, 2001. 名古屋城庭園内のクモ類と多足類. 蜘蛛(34). 中部蜘蛛懇談会.
- ・奥田敏夫, 1997. 都会で出会ったトタテグモ. まどい(15). 中部蜘蛛懇談会.
- ・貞元己良, 2005. 静岡県と愛知県のクモ採集記. 蜘蛛(38). 中部蜘蛛懇談会.
- ・柴田良成, 2001. 名古屋市内千種区内におけるキシノウエトタテグモの分布調査. 蜘蛛(34). 中部蜘蛛懇談会.
- ・柴田良成, 2006. 2005 年度 第 4 回採集観察会報告(名古屋市千種区平和公園南部地域). 蜘蛛(39). 中部蜘蛛懇談会.
- ・柴田良成, 1999. 1998 年度採集観察会報告④. まどい(18). 中部蜘蛛懇談会.
- ・柴田良成, 2001. 2000 年度 第 3 回採集観察会報告(名古屋市昭和区興正寺). 蜘蛛(34). 中部蜘蛛懇談会.
- ・柴田良成, 2001. 千種区内におけるキシノウエトタテグモの分布調査. 中部蜘蛛懇談会 2001 年度研究発表会資料. 中部蜘蛛懇談会.
- ・柴田良成, 2006. 平和公園及び東山公園周辺の蜘蛛類. 蜘蛛(34). 中部蜘蛛懇談会.
- ・清水善夫, 1972. 同好者による蜘蛛採集連絡. 中部蜘蛛懇談会会報(9). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 1983. クモ雑話-その 4-. 蜘蛛. 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 1984. 真正蜘蛛類. 愛知の動物. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・須賀瑛文, 1985. 愛知県のトタテグモ類. 蜘蛛(19). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 1985. 真正蜘蛛類. 愛知の動物. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・須賀瑛文, 1986. 愛知県のトタテグモ類. 東亜蜘蛛学会 第 18 回大会資料.
- ・須賀瑛文, 1987. 愛知県のトタテグモ. *Atypus* (89). 東亜蜘蛛学会.
- ・須賀瑛文, 1989. 三重愛知静岡県下におけるトタテグモ類について. *Atypus* (93). 東亜蜘蛛学会.
- ・須賀瑛文, 1989. 三重愛知静岡県下におけるトタテグモ類について. 蜘蛛(22). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 1991. 1991 年度第二回採集会報告. 蜘蛛(24). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 1997. 都会で出会ったトタテグモ(付記). まどい(15). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 2000. 愛知県瀬戸市でカトウツケオグモ確認. 蜘蛛(32/33). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 2000. 愛知県知多郡武豊町壱町田湿地で採集されたゲホウグモ. 蜘蛛(32/33). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文, 2002. 都心部の公園・城址・神社などで減少したクモ～名古屋市の現状～. くものいと(31). 関西クモ研究会.
- ・須賀瑛文他, 2002. 2001 年度 第 5 回採集観察会報告(瀬戸市定光寺). 蜘蛛(35). 中部蜘蛛懇談会.
- ・須賀瑛文・緒方清人, 2002. クモ類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・須賀瑛文・緒方清人, 2008. クモ類. 新修名古屋市史資料編自然第Ⅱ部第 3 章第 6 節. 名古屋市.
- ・杉山時雄, 2002. 観察会で出会ったクモたち. 蜘蛛(35). 中部蜘蛛懇談会.
- ・杉山時雄・大原満枝, 2003. カトウツケオグモの捕食行動の観察. 蜘蛛(36). 中部蜘蛛懇談会.
- ・鈴木達夫, 1989. 刈谷の動物クモ類. 刈谷市史 第 5 巻 資料(自然考古). 刈谷市.
- ・牛田清彦, 1968. 愛知県の真正蜘蛛類(1). *Atypus*(45). 東亜蜘蛛学会.
- ・牛田清彦, 1971. 定光寺のクモ. 蜘蛛. 中部蜘蛛懇談会.
- ・牛田清彦, 1971. 名古屋市中村区のクモ. 蜘蛛(3). 中部蜘蛛懇談会.
- ・牛田清彦, 1972. 段戸山周辺のクモ. 蜘蛛. 中部蜘蛛懇談会.
- ・牛田清彦, 1972. 鳳来町のクモ. 蜘蛛. 中部蜘蛛懇談会.
- ・牛田清彦, 1973. 猿投のクモ. 蜘蛛(10). 中部蜘蛛懇談会.
- ・八木沼建夫, 1977. 分布資料. *Atypus*(70). 東亜蜘蛛学会.
- ・八木沼建夫, 1979. A Study of the Japanese Species of nesticid Spiders. 追手門学院大学 文学部.
- ・吉見昭一, 1984. 虫をたおすキノコ. 大日本図書.

貝 類

○ 陸産貝類

- ・愛知県科学教育センター, 1967. 愛知の動物.
- ・天野景従, 1966. 愛知県の陸貝相. 東海高校研究紀要 4.
- ・天野景従・中山 清, 1958. 北知多の自然. 中部日本自然科学調査団報告, 中日新聞社.
- ・東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑. 保育社.
- ・東 正雄, 1995. 原色日本陸産貝類図鑑増補改訂版. 保育社.
- ・波部忠重, 1942. ホラアナゴマオカチグサ(新稱)の現棲個体に就いて, *VENUS* 12 (1, 2): 28-32. 日本貝類学会.
- ・原田一夫, 1999. 愛知県版レッドデータブック・リスト(陸産貝類)の原案. かきつばた, 25: 9-11. 名古屋貝類談話会.
- ・原田一夫, 2002. 貝類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・早瀬善正, 2001. 知多半島に生息するヒルゲンドルフマイマイ. かきつばた, 27. 名古屋貝類談話会.
- ・早瀬善正・多田昭, 2005. 愛知県産ピロウドマイマイ属について. かきつばた, 31. 名古屋貝類談話会.
- ・鳳来寺山自然科学博物館, 1973. 鳳来寺山 -自然と文化- 鳳来寺山の陸貝.
- ・鳳来寺山自然科学博物館, 1993. 鳳来寺山の陸貝(2). 鳳来寺山の自然誌.
- ・鳳来寺山自然科学博物館, 1999. 鳳来町の貝類相の再検討. 鳳来寺山自然科学博物館館報 28.
- ・環境省, 2007. レッドリスト 貝類. 報道発表資料 哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて. 12pp. 環境省, 東京.
- ・河辺訓受, 2003. 東海市の非海産貝類. かきつばた, 29. 名古屋貝類談話会.
- ・河辺訓受・大原健司・栗飯原一郎, 2000. ナニワクチミゾガイの新産地. ちりばたん, 30 (4): 87. 日本貝類学会.
- ・木村昭一, 1993. 鳳来町のオクガタギセルガイ. 三河の野生生物 No.2. 三河野生動物研究会.
- ・木村昭一, 2000a. 愛知県より初めて採集されたカタメマイマイ. かきつばた, 26: 11-13. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2002. 熱田神宮の貝類相. かきつばた, 28. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一・中根吉夫, 1996. 稲武町の軟体動物. 稲武町史 -自然- 資料篇. 稲武町.
- ・北王英一, 1968. 天然記念物(動物)緊急調査報告. 天然記念物(動物)緊急調査委員会.
- ・増田 修・波部忠重, 1989. 静岡県陸淡水産貝類相. 東海大学自然史博物館
- ・松村 勲・湊 宏, 1998. 大阪府北部で採集されたナニワクチミゾガイ(新亜種), *VENUS* 57 (1): 39-47. 日本貝類学会.
- ・湊 宏, 1980. 北海道奥尻島と本州中部産のキセルガイ科の 2 種類, *VENUS* 38 (4). 日本貝類学会.
- ・湊 宏, 1985. イーストレーキコギセル属とヒロクチギセル属, *VENUS* 43 (2): 173-174. 日本貝類学会.

- ・湊 宏, 1985. 日本産ヤマトガイ属の2種類, *VENUS* 44 (2): 82-83. 日本貝類学会.
- ・湊 宏, 1985. 鳳来寺山とホウライジギセル. ちりぼたん, 6 (2). 日本貝類学会.
- ・湊 宏, 1988. 日本陸産貝類総目録. 日本陸産貝類総目録刊行会.
- ・湊 宏, 1994. 日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究. 日本貝類学会.
- ・湊 宏・松村 勲, 2000. 陸産貝類. 大阪府における保護上重要な野生動物—大阪府レッドデータブック, p.254. 大阪府.
- ・守谷茂樹, 2003. ビルスプリムシオイを愛知県で確認. かきつばた, 29. 名古屋貝類談話会.
- ・守谷茂樹, 2003. 愛知県と岐阜県で確認したヒラドマルナタネ. かきつばた, 29. 名古屋貝類談話会.
- ・守谷茂樹, 2003. 足助町でホソヒメギセルを確認. かきつばた, 29. 名古屋貝類談話会.
- ・守谷茂樹, 2003. 名古屋市内の陸貝の現況. かきつばた, 29. 名古屋貝類談話会.
- ・守谷茂樹, 2004. 愛知県初記録の陸貝2種. かきつばた, 30. 名古屋貝類談話会.
- ・守谷茂樹, 2004. 豊田市の陸貝の現況. かきつばた, 30. 名古屋貝類談話会.
- ・守谷茂樹, 2004. 名古屋市の陸産貝類の現況 補足その1(熱田神宮). かきつばた, 30. 名古屋貝類談話会.
- ・名古屋貝類談話会, 1979. ご機げんいかが愛知の陸貝. 駒山の小馬寺. かきつばた, 5.
- ・名古屋貝類談話会, 1986. 鳳来寺. かきつばた, 12: (4).
- ・名古屋貝類談話会, 1990. 東海地方の貝類現状調査報告書 (17) 駒山. かきつばた, 16.
- ・中根吉夫, 1965. 東奥三河の陸産貝類. 天竜・奥三河自然公園調査団.
- ・中根吉夫・木村昭一, 1996. 設楽町の軟体動物. 設楽町誌『自然編』『資料編』. 設楽町.
- ・野々部良一 他, 1976. 伊良湖の貝類分布調査. かきつばた, 2: 7. 名古屋貝類談話会.
- ・野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類. 愛知の動物. 愛知県郷土資料刊行会.
- ・奥谷喬司, 1986. 貝類. 決定版生物大図鑑. 世界文化社.
- ・柴田吉夫, 1955. 北設山岳県立公園一帯の自然科学. 北設山岳県立公園及びその付近の陸産貝類. 愛知県商工部通商観光課・北設山岳県立公園地区協議会・鳳来寺山県立公園地区協議会.
- ・豊根の動物調査委員会, 1980. 貝類. 愛知県豊根村の動物. 豊根村.
- ・矢野重文, 1990. 知多半島から蒲郡・鳳来寺・豊橋へ. かきつばた, 16: 10. 名古屋貝類談話会.
- ・吉田博士祝賀記念誌論文篇, 1939. 三河石巻山嵩山(スセ)の陸貝相.

○ 淡水産貝類・内湾産貝類

- ・愛知県, 2005. 沿岸生態系保全の考え方—干潟生態系を中心として—.
- ・愛知県科学教育センター, 1967. 愛知の動物, 愛知県. 222pp.
- ・秋山章男・松田道生, 1974. 干潟の生物観察ハンドブック, 東洋館出版社, 東京. 332pp.
- ・千葉県, 2000. 千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック動物編. 438pp.
- ・藤岡えり子・木村妙子, 2000. 三河湾奥部汐川干潟の 1998 年春期における底生動物相. 豊橋市自然史博物館研究報告, 10:31-39.
- ・藤原隆則, 2002. 愛知県初記録のニホンマメシジミ. かきつばた, 28. 名古屋貝類談話会.
- ・Fukuda, H. & Ekawa, K., 1997. Description and anatomy of a new species of the Elachisinidae (Caenogastropoda: Rissooidea) from Japan. *The Yuriyagai, Journal of the Malacozoological Association of Yamaguchi*, 5(1/2): 69-88.
- ・Fukuda, H. & Mitoki, H., 1996. A revision of the family Assimineidae (Mollusca: Gastropoda: Neotaenioglossa) stored in the Yamaguchi Museum. Part3: Subfamily Assimineae (2) Angustassimineae and Pseudomphala. *The Yuriyagai, Journal of the Malacozoological Association of Yamaguchi*, 4(1/2): 109-137.
- ・Fukuda, H., 1994. Estuarine mollusks of the Edogawa drain, central Honsyu, Japan. *Science Report Takao Museum Natural History*, 16: 1-14.
- ・風呂田利夫・関口秀夫・菊池泰二・田北徹・東幹生・佐藤正典, 1999. 九州の干潟を中心とした浅海域開発と環境アセスメントの問題点. 1997 年秋期大会シンポジウム報告. 海の研究, 8(1): 47-68.
- ・岐阜県, 2001. 岐阜県の絶滅のおそれのある野生動物. 350pp.
- ・波部忠重, 1961. 続原色日本貝類図鑑. 保育社. 182pp.
- ・Habe, T., 1964. Razar Shells in Japan and its Adjacent Areas. *Bulletain of National Science Museum*, 7(1): 7-16.
- ・木村昭一, 2002. 貝類. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち動物編. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
- ・葉山しおさい博物館, 2001. 相模湾レッドデータ 貝類. 104pp.
- ・早瀬善正, 1998. キヌカツギハマシイノミガイ庄内川河口に生息. かきつばた, 24: 12. 名古屋貝類談話会.
- ・堀口敏広, 1998. インボセックス 巻貝類における雌の雄化現象. 海洋と生物, 117: 283-288.
- ・Hosaka, K. & Fukuda, H., 1996. Discovery of a population of endangered brackish-water snail *Stenothyra japonica* (Gastropoda: Neotaenioglossa: Stenothyridae) and characteristics of the accompanied molluscan fauna in Onoda City, Yamaguchi Prefecture, western Japan, with a comment on the conservation value. *The Yuriyagai, Journal of the Malacozoological Association of Yamaguchi*, 4 (1/2): 65-96.
- ・環境省, 2007. レッドリスト 貝類. 報道発表資料 哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて. 12pp. 環境省, 東京.
- ・河辺訓受, 2000. 志摩地方採集・観察調査会報告. かきつばた, 26: 21-24. 名古屋貝類談話会.
- ・河辺訓受, 2002. 石巻山周辺淡水貝観察調査会報告. かきつばた, 28. 名古屋貝類談話会.
- ・河合秀高, 1998. 内湾性稀少種サザナミツボの新産地. かきつばた, 24: 16-17. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 1987. ワカウラツボを有明海にて採集. 南紀生物, 29 (2): 95.
- ・木村昭一, 1989. ワカウラツボを汐川干潟(三河湾)にて採集. 南紀生物, 31 (2): 130-131.
- ・木村昭一, 1994. 汐川干潟(愛知県)で採集されたナギサノシタタリガイ. 南紀生物, 36 (1): 75-76.
- ・木村昭一, 1994. 東海地方の淡水貝類相. 研究彙報(第33報): 14-34. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 1995. 日間賀島南部海岸の潮間帯付近の軟体動物相. 研究彙報(第34報): 16-27. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 1996. クリニイトカケガイとコガタクリニイトカケガイの分類学的再検討(腹足類: 新紐舌目: イトカケガイ科). *ユリヤガイ*, 4(1・2): 103-108. 山口県貝類研究談話会.
- ・木村昭一, 1996. ドレヅジによって採集された日間賀島南部海域の底生動物. 研究彙報(第35報): 3-19. 全国高等学校水産教育研究会.
- ・木村昭一, 1998. 愛知県版レッドデータブックリスト(淡水・河口・内湾域の貝類)の原案. かきつばた, 24: 24-33. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 1999. 佐奈川河口域観察会報告. かきつばた, 25: 14-17. 名古屋貝類談話会.

- ・木村昭一, 2000b. 伊勢湾・三河湾でドレッジによって採集された貝類(予報). かきつばた, 26: 18-20. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2001a. 三河湾に生息するイワホリガイ科の一種. かきつばた, 27: 8-9. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2001b. 藤前干潟で採集されたワカウツボ. かきつばた, 27: 14-16. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2001c. 蒲郡市西浦半島転石地のオカミミガイ科貝類. かきつばた, 27: 20-21. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2002. 豊田市におけるカネツケシジミ(タイワンシジミの黄色型)の繁殖例. かきつばた, 28. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2004. 蒲郡市三谷町人工干潟の貝類相. かきつばた, 30. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2004. 名古屋市より採集されたフトヘナタリの生貝. かきつばた, 30. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2005. 蒲郡市三谷町人工干潟の貝類相 続報. かきつばた, 31. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2005. 蒲郡市西田川の貝類相. かきつばた, 31. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2006. 愛知県におけるミズゴマツボの産出記録. かきつばた, 32. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一, 2007. 日本本土に分布するトガリユウシオガイ. ちりばたん Vol.38 No.1-2. 日本貝類学会.
- ・木村昭一・浅香智也, 2003. 豊川市白川の淡水二枚貝類相. かきつばた, 29. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一・木村妙子, 1999. 三河湾及び伊勢湾河口域におけるアシ原湿地の腹足類相. 日本ベントス学会誌, 54: 44-56.
- ・木村昭一・木村妙子, 2002. 新堀川河口塩性湿地の貝類相. かきつばた, 28. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一・中嶋清徳・木村妙子, 2005. 伊勢湾で採集された移入種ウスカラシオツガイ. かきつばた, 31. 名古屋貝類談話会.
- ・木村昭一・中西尚文, 1997. 東海地方に分布するオトコタペシ属の1種. ちりばたん, 27 (2): 41-48. 日本貝類学会.
- ・木村妙子, 2000. 人間に翻弄される貝たち-内湾の絶滅危惧種と帰化種-. 月刊海洋号外 No.20: 66-73.
- ・Kondo, 1998. Revision of the Genus *Inversiumio* (Bivalvia: Unionidae), *Venus* 57 (2): 85-94.
- ・Kuroda, T., 1962. Note on the Stenothyridae (aquatic Gastropoda) from Japan and adjacent region. *Venus*, 22 (1): 59-69, pl. 4.
- ・黒住耐二, 1999. イタボガキは絶滅危惧種? . 九州の貝, 52: 23-31. 九州貝類談話会.
- ・増田 修・内山りゅう, 2004. 日本産淡水産貝類図鑑 ②汽水域を含む全国の淡水貝類. ピーシーズ, 240pp.
- ・松岡敬二・伊澤伸恵, 1993. 豊橋市荒神池のトンガリササノハガイ. 豊橋市自然史博物館研究報告, 3: 37-39.
- ・松岡敬二・木村妙子・木村昭一・三谷水産高等学校増殖部・山口啓子・高安克己, 1999. 豊川下流域の貝類相. 豊橋市自然史博物館研究報告, 9: 15-24.
- ・宗方 浩, 2002. カラスノマクラの正体. かきつばた, 28. 名古屋貝類談話会.
- ・中山清, 1979. カズラガイとナガカズラガイの殻高と殻径の比と肋数の比較. かきつばた, 5: 3-4. 名古屋貝類談話会.
- ・中山清, 1980. 知多湾南部海域の貝類相. かきつばた, 6: 10-12. 名古屋貝類談話会.
- ・中山修一, 1978. 名古屋貝類談話会第7回淡水貝観察調査会の記. かきつばた, 4: 4-5. 名古屋貝類談話会.
- ・沖縄県, 2005. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編ーレッドデータおきなわー. 沖縄県文化環境部自然保護課, 561pp.
- ・酒井類, 2002. 名古屋市守山区の淡水産貝類. かきつばた, 28. 名古屋貝類談話会.
- ・白金晶子, 2005. 見つけてしまったカワヒバリガイ. 豊田市矢作川研究所月報 Rio, 80・81: 4.
- ・水産庁・水産資源保護協会, 1988. 干潟. 15pp.
- ・水産庁・水産資源保護協会, 1994. 軟体動物. 日本の希少な野生水産生物に関する基礎資料(I). 123pp.
- ・水産資源保護協会, 1995. 軟体動物. 日本の希少な野生水産生物に関する基礎資料(II). 131pp.
- ・水産資源保護協会, 1996. 軟体動物. 日本の希少な野生水産生物に関する基礎資料(III). 90pp.
- ・水産資源保護協会, 1997. 軟体動物. 日本の希少な野生水産生物に関する基礎資料(IV). 126pp.
- ・田部雅昭・福原修一・長田芳和, 1994. 淡水産二枚貝ドブガイに見られる遺伝的II型. 日本貝類学会誌 *Venus* 53(1): 29-35.
- ・田中利雄, 2001. 愛知県渥美町堀切のオオトリガイ. かきつばた, 27. 名古屋貝類談話会.
- ・田中利雄, 2006. 愛知県渥美半島にカモメガイモドキの漂着. かきつばた, 32. 名古屋貝類談話会.
- ・豊橋市自然史博物館, 1994. 高桑弘氏寄贈貝類目録 1 二枚貝 Part2. 豊橋市自然史博物館資料集 第2号. 31pp.
- ・土屋光太郎, 2000. ムシロガイ科. In: 奥谷喬司(編). 日本近海産貝類図鑑. pp.218-224. 東海大学出版, 東京.
- ・和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島哲・山西良平・西川輝昭・五島聖治・鈴木孝男・加藤真・島村賢正・福田宏, 1996. 日本の干潟海岸とそこに生息する底生動物の現状. WWF Japan Science Report 3. 182pp.
- ・Yamasita, Y., Okamoto, M., Harato, M., Fukuda, H., 1997. The present status and conservation values of endangered mollusks in tidal flats and estuaries of Japan-1. *Tellina (Serratina) capsoides* (Bivalvia: Veneroida: tellinidae). *The Yuriyagai, Journal of the Malacozoological Association of Yamaguchi*, 5(1/2):101-116.
- ・山下博由, 2000. 海岸生態系研究におけるアマチュアリズムと保全活動-希少貝類を例として-. 応用生態工学, 3 (1): 45-63.

【 索 引 】

【 和名五十音順 】

- (1) 哺 乳 類
- (2) 鳥 類
- (3) 爬 虫 類
- (4) 兩 生 類
- (5) 淡 水 魚 類
- (6) 昆 虫 類
- (7) ク モ 類
- (8) 貝 類

【 分 類 順 】

- (1) 哺 乳 類
- (2) 鳥 類
- (3) 爬 虫 類
- (4) 兩 生 類
- (5) 淡 水 魚 類
- (6) 昆 虫 類
- (7) ク モ 類
- (8) 貝 類

【 索引（和名五十音順） 】

（ １ ） 哺乳類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アシカ	<i>Zalophus japonicus</i> (Peters)	食肉(ネコ)	アシカ	EX	CR	66
アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i> (Kuroda)	トガリ(モグラ)	モグラ	VU		79
アナグマ	<i>Meles anakuma</i> Temminck	食肉(ネコ)	イタチ	DD		89
オオカミ	<i>Canis lupus</i> Linnaeus	食肉(ネコ)	イヌ	EX	EX	65
カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i> (Pallas)	齧歯(ネズミ)	ネズミ	VU		77
カウソウ	<i>Lutra nippon</i> Imaizumi et Yoshiyuki	食肉(ネコ)	イタチ	EX	CR	67
カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephalus</i> (Temminck)	トガリ(モグラ)	トガリ	VU	LP	78
キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i> (Schreber)	翼手(コウモリ)	キクガシラコウモリ	NT		86
コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i> (Temminck)	トガリ(モグラ)	モグラ	LP		91
(名古屋城外堀の個体群)						
コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i> Temminck	翼手(コウモリ)	キクガシラコウモリ	NT		85
コテングコウモリ	<i>Murina silvatica</i> Yoshiyuki	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	CR		72
スナメリ	<i>Neophocaena phocaenoides</i> (G.Cuvier)	鯨(クジラ)	ネズミイルカ	NT		88
スミスネズミ	<i>Myodes smithii</i> (Thomas)	齧歯(ネズミ)	キヌゲネズミ	NT		84
チチブコウモリ	<i>Barbastella leucomelas</i> (Cretzschmar)	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	CR	LP	70
ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i> G.[Baron] Cuvier	食肉(ネコ)	クマ	CR	LP	73
テン	<i>Martes melampus</i> (Wagner)	食肉(ネコ)	イタチ	NT		87
テングコウモリ	<i>Murina hilgendorffi</i> Peters	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	EN	VU	76
ニホンシネズミ	<i>Crocodyra dsinezumi</i> (Temminck)	トガリ(モグラ)	トガリ	LP		90
(佐久島の個体群)						
ノレンコウモリ	<i>Myotis bombinus</i> Thomas	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	CR	VU	71
ハタネズミ	<i>Microtus montebellii</i> (Milne-Edwards)	齧歯(ネズミ)	キヌゲネズミ	NT		83
ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i> (Peters)	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	EN		75
ホンドモモンガ	<i>Pteromys momonga</i> Temminck	齧歯(ネズミ)	リス	EN		74
ミズラモグラ	<i>Eurosaptor mizura</i> (Günther)	トガリ(モグラ)	モグラ	CR	NT	68
ムササビ	<i>Pteromys leucogenys</i> (Temminck)	齧歯(ネズミ)	リス	NT		81
モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i> (Temminck)	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	VU		80
ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i> (Thomas)	翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	CR	NT	69
ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz)	齧歯(ネズミ)	ヤマネ	NT	NT	82

（ ２ ） 鳥 類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i> Hodgson	チドリ	シギ	NT		162
アオバズク	<i>Ninox scutulata</i> (Raffles)	フクロウ	フクロウ	NT		166
アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	NT	VU	157
アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena</i> (Boddaert)	カイツブリ	カイツブリ	EN		104
アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i> (Latham)	ブッポウソウ	カワセミ	VU		136
アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck	スズメ	ツグミ	VU		139
イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i> J.E et G.R. Gray	チドリ	チドリ	VU		126
ウズラ	<i>Coturnix japonica</i> Temminck et Schlegel	キジ	キジ	VU	NT	123
ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i> (Horsfield)	チドリ	シギ	VU		127
エリマキシギ	<i>Philomachus pygmaeus</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	NT		155
オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i> (Bechstein)	キツツキ	キツツキ	EN		114
オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i> (Horsfield)	フクロウ	フクロウ	NT		165
オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)	チドリ	シギ	CR	NT	98
オオセッカ	<i>Locustella pryeri</i> (Seeborn)	スズメ	ウグイス	EN	EN	116
オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	NT		159
オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i> (Linnaeus)	タカ	タカ	NT	NT	146
オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i> (Say)	チドリ	シギ	NT		156
オグロシギ	<i>Limosa limosa</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	VU		131
オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i> (Leisler)	チドリ	シギ	NT		151
オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i> (Horsfield)	チドリ	シギ	NT		153
カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i> (Nordmann)	チドリ	シギ	CR	CR	97
カワアイサ	<i>Mergus merganser</i> Linnaeus	カモ	カモ	VU		120
カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i> Temminck	スズメ	カワガラス	VU		137
キバシリ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus	スズメ	キバシリ	CR		103
キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i> (Pontoppidan)	チドリ	シギ	VU		128
クイナ	<i>Rallus aquaticus</i> Linnaeus	ツル	クイナ	NT		149
クマタカ	<i>Spizaetus nipalensis</i> (Hodgson)	タカ	タカ	EN	EN	108
クロガモ	<i>Melanitta nigra</i> (Linnaeus)	カモ	カモ	NT		144
クロサギ	<i>Egretta sacra</i> (Gmelin)	コウノトリ	サギ	VU		117
クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck	スズメ	ツグミ	NT		171
コアシサシ	<i>Sterna albigularis</i> Pallas	チドリ	カモメ	NT	VU	163
コオバシギ	<i>Calidris canutus</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	NT		152
コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i> Pallas	スズメ	ヒタキ	NT		172
コシヤクシギ	<i>Numenius minutus</i> Gould	チドリ	シギ	EN	EN	111
コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i> (Swinhoe)	スズメ	ホオジロ	VU	VU	140
コノハズク	<i>Otus scops</i> (Linnaeus)	フクロウ	フクロウ	CR		100
コマドリ	<i>Erethacus akahige</i> (Temminck)	スズメ	ツグミ	VU		138
コルリ	<i>Luscinia cyane</i> (Pallas)	スズメ	ツグミ	NT		170

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
サシバ	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	タカ	タカ	VU	VU	122
サシバの渡り群	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	タカ	タカ	LP	VU	175
サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i> (Linnaeus)	コウノトリ	サギ	DD	EN	174
サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i> (Eyton)	スズメ	カササギヒタキ	NT		173
サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles)	スズメ	サンショウクイ	NT	VU	168
シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i> (Linnaeus)	カモ	カモ	EN		107
シベリアオオハシシギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i> (Blyth)	チドリ	シギ	CR	DD	96
ジュウイチ	<i>Cuculus fugax</i> Horsfield	カッコウ	カッコウ	VU		134
シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i> Linnaeus	チドリ	チドリ	NT		150
ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i> (Swinhoe)	チドリ	カモメ	EN	VU	112
セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i> (Linnaeus)	チドリ	セイタカシギ	VU	VU	133
ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	NT		160
ダイゼンの越冬群	<i>Pluvialis squatarola</i> (Linnaeus)	チドリ	チドリ	LP		176
タカブシギ	<i>Tringa glareola</i> Linnaeus	チドリ	シギ	VU		130
タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i> (Linnaeus)	チドリ	タマシギ	VU		125
チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i> Kaup	タカ	タカ	EN	EN	109
ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i> Blyth	カッコウ	カッコウ	NT		164
ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i> Forster	チドリ	ツバメチドリ	CR	VU	99
ツミ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck et Schlegel)	タカ	タカ	NT		147
ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i> (Pallas)	チドリ	シギ	VU		129
トモエガモ	<i>Anas formosa</i> Georgi	カモ	カモ	VU	VU	118
ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i> Temminck et Schlegel	スズメ	ホオジロ	VU	NT	142
ハイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i> (Linnaeus)	タカ	タカ	NT		148
ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i> (Linnaeus)	タカ	タカ	VU	NT	121
ハマシギの越冬群	<i>Calidris alpina</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	LP		177
ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i> Tunstall	タカ	ハヤブサ	EN	VU	110
ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i> (Linnaeus)	ツル	クイナ	VU	VU	124
ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i> Pallas	ペリカン	ウ	NT	EN	143
ビロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i> (Linnaeus)	カモ	カモ	VU		119
フクロウ	<i>Strix uralensis</i> Pallas	フクロウ	フクロウ	NT		167
ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i> (Linnaeus)	ブッポウソウ	ブッポウソウ	CR	EN	101
ヘラシギ	<i>Eurynorhynchus pygmeus</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	CR	CR	95
ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i> (Linnaeus)	チドリ	シギ	VU	VU	132
ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i> Pallas	スズメ	ホオジロ	VU		141
マミジロ	<i>Turdus sibiricus</i> Pallas	スズメ	ツグミ	EN		115
ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus)	タカ	タカ	NT	NT	145
ミソゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i> (Temminck)	コウノトリ	サギ	EN	EN	106
ミンサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus)	スズメ	ミンサザイ	NT		169
ミユビシギ	<i>Crocebia alba</i> (Pallas)	チドリ	シギ	NT		154
メレンギアシシギ	<i>Heteroscelus incanus</i> (Gmelin)	チドリ	シギ	NT		158
ヤイロチョウ	<i>Pitta brachyura</i> (Linnaeus)	スズメ	ヤイロチョウ	CR	EN	102
ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus	チドリ	シギ	NT		161
ヤマセミ	<i>Ceryle lugubris</i> (Temminck)	ブッポウソウ	カワセミ	EN		113
ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i> (Gmelin)	コウノトリ	サギ	EN	NT	105
ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i> Latham	ヨタカ	ヨタカ	VU	VU	135

(3) 爬虫類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アカウミガメ	<i>Caretta caretta</i> (Linnaeus)	カメ	ウミガメ	EN	EN	181
シロマダラ	<i>Dinodon orientale</i> (Hilgendorf)	有鱗	ナミヘビ	DD		184
タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i> Peters	有鱗	ナミヘビ	DD		183
ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis japonicus</i> (Temminck et Schlegel)	カメ	スッポン	DD	DD	182

(4) 両生類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i> (Boie)	有尾	イモリ	DD	NT	197
オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i> (Temminck)	有尾	オオサンショウウオ	EN	VU	190
カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i> (Temminck et Schlegel)	無尾	アオガエル	NT		195
カスミサンショウウオ	<i>Hynobius nebulosus</i> (Temminck et Schlegel)	有尾	サンショウウオ	EN	VU	189
コガタブチサンショウウオ	<i>Hynobius yatsui</i> Oyama	有尾	サンショウウオ	DD	NT	196
サンショウウオの一種	<i>Hynobius</i> sp.	有尾	サンショウウオ	CR		187
ツチガエル	<i>Rana rugosa</i> Temminck et Schlegel	無尾	アカガエル	DD		198
ナガレタゴガエル	<i>Rana sakuraii</i> Matsui et Matsui	無尾	アカガエル	CR		188
ナゴヤダルマガエル	<i>Rana porosa brevipoda</i> Ito	無尾	アカガエル	VU	EN	191
ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i> (Houttuyn)	有尾	サンショウウオ	NT		193
ヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i> Dunn	有尾	サンショウウオ	NT	NT	192
モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i> (Okada et Kawano)	無尾	アオガエル	NT		194
ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i> Werner	無尾	アカガエル	DD		199

(5) 淡水魚類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アカザ	<i>Liobagrus reini</i> Hilgendorf	ナマズ	アカザ	NT	VU	216
アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i> (Temminck et Schlegel)	コイ	コイ	DD	NT	219
イタセンバラ	<i>Acheilognathus longipinnis</i> Regan	コイ	コイ	CR	CR	204
イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i> Jordan et Fowler	コイ	コイ	VU	CR	208
ウシモツゴ	<i>Pseudorasbora pumila</i> subsp.	コイ	コイ	CR	CR	203
カジカ小卵型	<i>Cottus reinii</i> Hilgendorf	カサゴ	カジカ	VU	EN	211
カジカ大卵型	<i>Cottus pollux</i> Gunther	カサゴ	カジカ	VU	NT	211
カマキリ (アユカケ)	<i>Cottus kazika</i> Jordan et Starks	カサゴ	カジカ	VU	VU	212
カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypripis rasborella</i> Fowler	コイ	コイ	VU	EN	207
カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	コイ	コイ	NT	NT	213
スジシマドジョウ	<i>Cobitis taenia striata</i> Ikeda	コイ	ドジョウ	NT	EN	215
小型種東海型						
スナヤツメ	<i>Lampetra mitsukurii</i> Hattai	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	VU	VU	206
ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i> (Temminck et Schlegel)	スズキ	ハゼ	NT		218
ナガレホトケドジョウ	<i>Lefua</i> sp.	コイ	ドジョウ	VU	EN	210
ネコギギ	<i>Coreobagrus ichikawai</i> Okada et Kubota	ナマズ	ギギ	EN	EN	205
ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i> Jordan et Richardson	コイ	ドジョウ	VU	EN	209
メダカ	<i>Oryzias latipes</i> (Temminck et Schlegel)	メダカ	メダカ	NT	VU	217
ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i> (Temminck et Schlegel)	コイ	コイ	NT	NT	214

(6) 昆虫類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i> Selys	トンボ	ヤンマ	VU		281
アカアシコハナコメツキ	<i>Paracardiophorus sequens sequens</i> (Candèze)	コウチュウ	コメツキムシ	NT		348
アカジマアシブトウンカ	<i>Ommatidiotus japonicus</i> Y.Hori	カメムシ	マルウンカ	NT		321
アズクビナガキバチ	<i>Euxiphydia potanini</i> (Jakovlev)	ハチ	クビナガキバチ	NT		361
アカマダラハナムグリ	<i>Poecilophilides rusticola</i> (Burmeister)	コウチュウ	コガネムシ	NT	DD	340
アサカミキリ	<i>Thyestilla gebleri</i> (Faldermann)	コウチュウ	カミキリムシ	EX	VU	232
アラメエンマムシ	<i>Zabromorphus punctulatus</i> (Wiedemann)	コウチュウ	エンマムシ	NT		338
イガブチヒゲハナカミキリ	<i>Stictoleptura igai</i> (Tamanuki)	コウチュウ	カミキリムシ	EN		268
イセキリガ	<i>Agrochola sakabei</i> Sugi	チョウ	ヤガ	NT		379
イトアメンボ	<i>Hydrometra albolineata</i> (Scott)	カメムシ	イトアメンボ	VU	VU	285
イトウホソバトビケラ	<i>Molannodes itoe</i> Fuller et Wiggins	トビケラ	ホソバトビケラ	NT		369
イワコエグリトビケラ	<i>Manophylax futabae</i> Nishimoto	トビケラ	コエグリトビケラ	NT		366
ウスベニキョトウ	<i>Aletia pudorina subrosea</i> (Matsumura)	チョウ	ヤガ	DD		411
ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokohamae</i> (Dalla Torre)	ハチ	コマユバチ	NT	NT	364
ウラギンスジヒョウモン	<i>Argyrogonome laodice japonica</i> (Ménétrières)	チョウ	タテハチョウ	NT	NT	373
ウラジャノメ	<i>Lopinga achine achinoides</i> (Butler)	チョウ	ジャノメチョウ	VU		311
ウラナミジャノメ	<i>Ypthima multistriata</i> Butler	チョウ	ジャノメチョウ	VU	VU	312
エサキアメンボ	<i>Limnoporus esakii</i> (Miyamoto)	カメムシ	アメンボ	NT	NT	325
エゾスジヨトウ	<i>Doerriesia striata crambiformis</i> Sugi	チョウ	ヤガ	NT		381
エゾトンボ	<i>Somatochlora viridiaenea</i> (Uhler)	トンボ	エゾトンボ	EN		254
エゾミドリシジミ	<i>Favonius jezoensis</i> (Matsumura)	チョウ	シジミチョウ	NT		372
エチゴハガタヨトウ	<i>Asidemia inexpecta inexpecta</i> (Sugi)	チョウ	ヤガ	NT		382
エンスイズメイガ	<i>Eristena argentata</i> Yoshiasu	チョウ	ツツガ	DD		408
エンマムシ	<i>Merohister jekeli</i> (Marseul)	コウチュウ	エンマムシ	DD		397
オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i> (Uhler)	カメムシ	アメンボ	NT		324
オオイトトンボ	<i>Cercion sieboldii</i> (Selys)	トンボ	イトトンボ	VU		276
オオキイロアツバ	<i>Pseudalelimma miwai</i> Inoue	チョウ	ヤガ	NT		384
オオキトンボ	<i>Sympetrum uniforme</i> (Selys)	トンボ	トンボ	CR	CR+EN	237
オオキノコムシ	<i>Encaustes praenobilis</i> Lewis	コウチュウ	オオキノコムシ	DD		399
オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i> Waterhouse	コウチュウ	クワガタムシ	CR	VU	243
オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i> (Shiraki)	ゴキブリ	オオゴキブリ	DD		385
オオチャイロハナムグリ	<i>Osmoderma opicum</i> Lewis	コウチュウ	コガネムシ	VU	NT	296
オオチャバネオトウ	<i>Nonagria puengeleri</i> (Schawerda)	チョウ	ヤガ	NT		380
オオツノハネカクシ	<i>Bledius salsus</i> Miyatake	コウチュウ	ハネカクシ	VU		294
オオナガレトビケラ	<i>Himalopsyche japonica</i> (Morton)	トビケラ	ナガレトビケラ	NT	NT	365
オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii</i> (Ménétrières)	チョウ	ジャノメチョウ	NT		375
オオヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites sulcatus</i> Olivier	コウチュウ	オオムシ	VU	NT	289
オオホソコバネカミキリ	<i>Necydalis solida</i> Bates	コウチュウ	カミキリムシ	NT		356
オオミズクサハムシ	<i>Platymaris constricticollis</i> (Jacoby)	コウチュウ	ハムシ	NT		358
オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i> (Hewitson)	チョウ	タテハチョウ	NT	NT	374
オカモトツヤアナハネムシ	<i>Pedilus okamotoi</i> (Kôno)	コウチュウ	アカハネムシ	NT		349
オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i> (Asahina)	トンボ	サナエトンボ	VU	VU	279
オナガシジミ	<i>Araragi enthea enthes</i> (Janson)	チョウ	シジミチョウ	NT		371
オヨギカタビロアメンボ	<i>Xiphovelia japonica</i> Esaki et Miyamoto	カメムシ	カタビロアメンボ	DD	VU	392
カギアシゾウムシ	<i>Bagous bipunctatus</i> (Kono)	コウチュウ	ゾウムシ	DD		404
カツラネクイハムシ	<i>Donacia katsurai</i> Kimoto	コウチュウ	ハムシ	VU		301
カバイロシヤチホコ	<i>Ramesa tosta</i> Walker	チョウ	シヤチホコガ	DD		409
カバフキシタバ	<i>Catocala mirifica</i> Butler	チョウ	ヤガ	NT		383
カワラゴミムシ	<i>Omophron aequalis</i> Morawitz	コウチュウ	カワラゴミムシ	NT		326
カワラハンミョウ	<i>Cicindela laetescripta</i> Motschulsky	コウチュウ	ハンミョウ	CR	VU	239

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
キイロコガシラミズムシ	<i>Haliphus eximius</i> Clark	コウチュウ	コガシラミズムシ	EN	NT	262
キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i> (Selys)	トンボ	サナエトンボ	NT		314
キイロヤマトンボ	<i>Macromia daimoji</i> Okumura	トンボ	エゾトンボ	NT	NT	318
キオビクビソハムシ	<i>Lama delicatula</i> Baly	コウチュウ	ハムシ	DD		402
キスジウスキヨトウ	<i>Archana sparganii</i> (Esper)	チョウ	ヤガ	DD		412
キトンボ	<i>Sympetrum croceolum croceolum</i> (Selys)	トンボ	トンボ	EN		255
キヌゲハキリバチ	<i>Megachile kobensis</i> Cockerell	ハチ	ハキリバチ	NT		362
キヌツヤミズクサハムシ (スゲハムシ)	<i>Plateumaris sericea</i> (Linnaeus)	コウチュウ	ハムシ	NT		359
キバネキバナガミズギワ ゴミムシ	<i>Armatocillenus aestuarii</i> S.Uéno et Habu	コウチュウ	オサムシ	NT	NT	327
ギフチョウ	<i>Luehdorffia japonica</i> Leech	チョウ	アゲハチョウ	NT	VU	370
ギフヒシバツタ	<i>Tetrix gifuensis</i> Storozhenko, Ichikawa et Uchida	バツタ	ヒシバツタ	DD		389
キベリマルクビゴミムシ	<i>Nebria livida angulata</i> Banninger	コウチュウ	オサムシ	CR	NT	241
キボシチビコツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus bivittis</i> (Motschulsky)	コウチュウ	コツブゲンゴロウ	NT	NT	333
ギンイチモンジセセリ	<i>Leptolina unicolor</i> (Bremer et Grey)	チョウ	セセリチョウ	VU	NT	304
クチキコオロギ	<i>Duolandrevus ivani</i> (Gorochov)	バツタ	マツムシ	NT		320
クビナガキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius prostenus</i> Bates	コウチュウ	オサムシ	VU		292
クビボソコガシラミズムシ	<i>Haliphus japonicus</i> Sharp	コウチュウ	コガシラミズムシ	NT		330
クロエンマムシ	<i>Hister concolor</i> Lewis	コウチュウ	エンマムシ	DD		396
クロカナブン	<i>Rhomborrhina polita</i> Waterhouse	コウチュウ	コガネムシ	NT		341
クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i> Aubé	コウチュウ	ゲンゴロウ	VU		293
クロサワツブミズムシ	<i>Satoni kurosawai</i> (M.Satô)	コウチュウ	ツブミズムシ	DD		394
クロサウドロムシ	<i>Neorhohelms kurosawai</i> Nomura	コウチュウ	ヒメドロムシ	VU		297
クロシジミ	<i>Niphanda fusca</i> (Bremer et Grey)	チョウ	シジミチョウ	EN	CR+EN	274
クロツバメシジミ	<i>Tongia fischeri</i> (Eversmann)	チョウ	シジミチョウ	VU	NT	309
クロヒカゲモドキ	<i>Lethe marginalis</i> Motschulsky	チョウ	ジャノメチョウ	VU	VU	310
クロマダラタマムシ	<i>Nipponobuprestis querceti</i> (Saunders)	コウチュウ	タマムシ	VU		298
クロモンマゴソコガネ	<i>Aphodius variabilis</i> Waterhouse	コウチュウ	コガネムシ	EN	NT	267
グンバイトンボ	<i>Platycnemis foliacea sasakii</i> Asahina	トンボ	モノサシトンボ	EN	NT	252
ケブカマルクビカミキリ	<i>Atimia okayamensis</i> Hayashi	コウチュウ	カミキリムシ	NT		351
ゲンゴロウ	<i>Cybister japonicus</i> Sharp	コウチュウ	ゲンゴロウ	EN	NT	264
コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i> Sharp	コウチュウ	ミズスマシ	NT		336
コカギアンゾウムシ	<i>Bagous fractus</i> O'brien et Morimoto	コウチュウ	ゾウムシ	DD		404
コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus orientalis</i> Gschwendtner	コウチュウ	ゲンゴロウ	EX	CR+EN	228
コキマダラセセリ	<i>Ochlodes venatus</i> (Bremer et Grey)	チョウ	セセリチョウ	VU		305
コサナエ	<i>Trigomphus melampus</i> (Selys)	トンボ	サナエトンボ	EN		253
コバネアオイトンボ	<i>Lestes japonicus</i> Selys	トンボ	アオイトンボ	CR	CR+EN	235
コハンミョウモドキ	<i>Elaphrus punctatus</i> Motschulsky	コウチュウ	オサムシ	EN	VU	259
コバンムシ	<i>Ilyocoris cimicoides exclamatoris</i> (Scott)	カメムシ	コバンムシ	CR	VU	238
コブニンギョウトビケラ	<i>Larcaria akagiae</i> Nishimoto et Tanida	トビケラ	ニンギョウトビケラ	NT		367
ゴマシジミ	<i>Maculinea teleius kazamoto</i> (H. Druce)	チョウ	シジミチョウ	CR	VU	248
ササキリギングチ	<i>Ectemnius furuichi</i> (Iwata)	ハチ	ギングチバチ	NT		363
サトヤマシモフリコメツキ	<i>Actenicerus kidonoi</i> Ôhira	コウチュウ	コメツキムシ	NT		347
サヌキキリガ	<i>Elwesia sugii</i> Yoshimoto	チョウ	ヤガ	NT		378
シタラミヤマヒサゴコメツキ	<i>Homoteknes motsulskyi suzukii</i> Ôhira	コウチュウ	コメツキムシ	VU		300
シマゲンゴロウ	<i>Hydaticus bowringi</i> Clark	コウチュウ	ゲンゴロウ	NT		335
ジャアナヒラタゴミムシ	<i>Jujiro ana</i> (S.Uéno)	コウチュウ	オサムシ	NT	VU	328
シャープゲンゴロウモドキ	<i>Dytiscus sharpi</i> Wehncke	コウチュウ	ゲンゴロウ	EX	CR+EN	229
ジュウジミズギワコメツキ	<i>Fleutiauxellus cruciatus</i> (Candèze)	コウチュウ	コメツキムシ	NT		346
シラユキコヤガ	<i>Eulocasta sasakii</i> Sugi	チョウ	ヤガ	DD		413
シルビアシジミ	<i>Zizina emelina</i> (de l'Orza)	チョウ	シジミチョウ	EX	CR+EN	233
シロヘリハンミョウ	<i>Cicindela yuasai yuasai</i> Nakane	コウチュウ	ハンミョウ	EN		258
スジグロチャバネセセリ	<i>Thymelicus leoninus</i> (Butler)	チョウ	セセリチョウ	VU	NT	306
スジゲンゴロウ	<i>Hydaticus satoi</i> Wewalka	コウチュウ	ゲンゴロウ	EX	CR+EN	226
スジボソヤマキチョウ	<i>Gonepteryx aspasia nipponica</i> Bollow	チョウ	シロチョウ	EN		272
セアカオサムシ	<i>Hemicarabus tuberculatus</i> (Dejean et Boisduval)	コウチュウ	オサムシ	VU		288
ダイコクコガネ	<i>Copris ochus</i> (Motschulsky)	コウチュウ	コガネムシ	EX	VU	230
タイワンクツワムシ	<i>Mecopoda elongata</i> (Linnaeus)	バツタ	クツワムシ	DD		388
タガメ	<i>Lethocerus deyrolli</i> (Vuillefroy)	カメムシ	コオイムシ	EN	VU	257
タケウチホソハナカミキリ	<i>Strongalia takeuchi</i> Matsushita et Tamanuki	コウチュウ	カミキリムシ	CR		245
チイワメクラチビゴミムシ	<i>Trechiana mammalis</i> S.Uéno	コウチュウ	オサムシ	DD		395
チビクチキウマ	<i>Anoplophilus minor</i> Ishikawa	バツタ	カマドウマ	DD		387
チビコバンゾウムシ	<i>Miarus vestitus</i> Roelofs	コウチュウ	ゾウムシ	DD		405
チャイロヒメコブハナカミキリ	<i>Macropodonia japonica japonica</i> (Ohbayashi)	コウチュウ	カミキリムシ	CR		244
チャマダラセセリ	<i>Pyrus maculatus</i> (Bremer et Grey)	チョウ	セセリチョウ	CR	CR+EN	247
ツツイキバナガミズギワ ゴミムシ	<i>Armatocillenus tsutsui</i> S.Uéno	コウチュウ	オサムシ	EN	NT	261
ツヤハダクワガタ	<i>Ceruchus lignarius monticola</i> Nakane	コウチュウ	クワガタムシ	EN		265
ツヤヒラタコメツキ	<i>Aganohypoganus mirabilis</i> (Miwa)	コウチュウ	コメツキムシ	VU		299
トゲナベブタムシ	<i>Ageloecheirus nawae</i> Nawa	カメムシ	ナベブタムシ	EX	VU	225
トゲフタオタマムシ	<i>Dicerca tibialis</i> Lewis	コウチュウ	タマムシ	NT		345
トサヒメハナカミキリ	<i>Pidonia approximata</i> Kuboki	コウチュウ	カミキリムシ	NT		353
トダセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus nakamura</i> Guéorguiev	コウチュウ	ゲンゴロウ	NT	NT	334
トラハナムグリ	<i>Trichius japonicus</i> Janson	コウチュウ	コガネムシ	DD		398
トラフトンボ	<i>Epithea marginata</i> (Selys)	トンボ	エゾトンボ	NT		317
トワダオオカ	<i>Toxorhynchites towadensis</i> (Matsumura)	ハエ	カ	DD		407

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
ナゴヤサナエ	<i>Stylurus nagoyanus</i> (Asahina)	トンボ	サナエトンボ	NT	NT	316
ナベブタムシ	<i>Aphelecheirus vittatus</i> Matsumura	カメムシ	ナベブタムシ	NT		323
ニシキキンカメムシ	<i>Poecilocoris splendidulus</i> Esaki	カメムシ	キンカメムシ	DD		393
ニッポンハナダカバチ	<i>Bembix niponica</i> F.Smith	ハチ	ドロバチモドキ	NT	NT	362
ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i> Selys	トンボ	ヤンマ	VU	NT	280
バッキンガムカギアシ ゾウムシ	<i>Bagous buckingami</i> O'brien et Morimoto	コウチュウ	ゾウムシ	DD		404
ハネビロエゾトンボ	<i>Somatochlora clavata</i> Oguma	トンボ	エゾトンボ	VU	VU	282
ババアメンボ	<i>Gerris babai</i> Miyamoto	カメムシ	アメンボ	VU	NT	286
ハバメクラチビゴミムシ	<i>Trechiana habei</i> (S. Uéno)	コウチュウ	オサムシ	EN		260
ハマスズ	<i>Dianemobius csikii</i> (Bolivar)	バッタ	ヒバリモドキ	VU		283
ハマベゴミムシ	<i>Pogonus japonicus</i> Putzeys	コウチュウ	オサムシ	VU		290
ハマベゾウムシ	<i>Aphela gotoi</i> (Chûjô et Voss)	コウチュウ	ゾウムシ	VU		302
ハヤシミドリシジミ	<i>Favonius ultramarinus</i> (Fixsen)	チョウ	シジミチョウ	EN		273
ヒゲジロホソコバネカミキリ	<i>Necydalis odai</i> Hayashi	コウチュウ	カミキリムシ	NT		355
ヒゲナガトビケラ属の一種	<i>Leptocerus moselyi</i> (Martynov)	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	NT		368
ヒゲトハナカミキリ	<i>Pachypidonia bodemeyeri</i> Pic	コウチュウ	カミキリムシ	NT		354
ヒシチビゾウムシ	<i>Nanophyes japonicus</i> Roelofs	コウチュウ	チビゾウムシ	NT		360
ヒトスジキソトビケラ	<i>Psilotreta japonica</i> Banks	トビケラ	フトヒゲトビケラ	VU		303
ヒトツメアオゴミムシ	<i>Chlaenius delicolus</i> Bates	コウチュウ	オサムシ	VU		291
ヒナカマキリ	<i>Amantis nawai</i> (Shiraki)	カマキリ	カマキリ	NT		319
ヒズマイトトンボ	<i>Mortonagrion hirosei</i> Asahina	トンボ	イトトンボ	EN	CR+EN	251
ヒメアカハナカミキリ	<i>Brachyleptura pyrrha</i> (Bates)	コウチュウ	カミキリムシ	DD		400
ヒメオオクワガタ	<i>Dorcus montivagus montivagus</i> (Lewis)	コウチュウ	クワガタムシ	EN		266
ヒメカバノキハムシ	<i>Syneta brevitibialis</i> Kimoto	コウチュウ	ハムシ	DD		403
ヒメコガシラミズムシ	<i>Haliphus ovalis</i> Sharp	コウチュウ	コガシラミズムシ	NT		331
ヒメコミズメイガ	<i>Parapoynx rectilinealis</i> Yoshiyasu	チョウ	ツトガ	NT		376
ヒメシジミ	<i>Plebejus argus micrargus</i> (Butler)	チョウ	シジミチョウ	CR	NT	249
ヒメダイコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i> Esaki	カメムシ	タイコウチ	NT		322
ヒメヒカゲ	<i>Coenonympha oedippus</i> ssp.	チョウ	ジャノメチョウ	CR	CR+EN	250
ヒメヒロウドカミキリ	<i>Acalolepta degener</i> (Bates)	コウチュウ	カミキリムシ	EX		231
ヒメヨツスジハナカミキリ	<i>Leptura kusamai</i> Ohbayashi et Nakane	コウチュウ	カミキリムシ	EN		269
ヒョウモンモドキ	<i>Melitea scotosia</i> Butler	チョウ	タテハチョウ	EX	CR+EN	234
フジキオビ	<i>Schistomitra funeralis</i> Butler	チョウ	アゲハモドキガ	NT		377
フジミドリシジミ	<i>Shibatania zephyrus fujisanus</i> (Matsumura)	チョウ	シジミチョウ	VU		308
フタコブルリハナカミキリ	<i>Stenocorus coeruleiopennis</i> (Bates)	コウチュウ	カミキリムシ	NT		352
フタスジサナエ	<i>Trigomphus interruptus</i> (Selys)	トンボ	サナエトンボ	VU	NT	278
フタツバトゲセイボウ	<i>Elampus bidens tristis</i> Tsuneki	ハチ	セイボウ	NT		361
フタホシカギアシゾウムシ	<i>Bagous kagiashi</i> Chujo et Morimoto	コウチュウ	ゾウムシ	DD		404
フタモンマルクビゴミムシ	<i>Nebria pulcherrima</i> Bates	コウチュウ	オサムシ	CR	NT	240
ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i> Selys	トンボ	トンボ	CR	CR+EN	236
ベニイトトンボ	<i>Ceriagrion nipponicum</i> Asahina	トンボ	イトトンボ	VU	VU	277
ベニバハナカミキリ	<i>Paranaspia anaspidoidea</i> (Bates)	コウチュウ	カミキリムシ	DD		401
ホシチャバネセセリ	<i>Aeromachus inachus</i> (Ménétrières)	チョウ	セセリチョウ	CR	CR+EN	246
ホソツヤアリバチ	<i>Methocha yasumatsui</i> Iwata	ハチ	コツチバチ	DD		406
ホソハンミョウ	<i>Cicindela gracilis</i> Pallas	コウチュウ	ハンミョウ	VU	NT	287
ホッケミズムシ	<i>Hesperocorixa distantii</i> hokkensis (Matsumura)	カメムシ	ミズムシ	DD	NT	391
ホラズミヒラタゴミムシ	<i>Jujiroa troglodytes</i> S.Uéno	コウチュウ	オサムシ	NT		329
ホンドエダナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i> (Brunner von Wattenwyl)	ナナフシ	ナナフシムシ	DD		390
マダラウスズミケンモン	<i>Halonycta subornata</i> (Leech)	チョウ	ヤガ	DD		410
マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphus sharpi</i> Wehncke	コウチュウ	コガシラミズムシ	EN	NT	263
マダラシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus thermoneotoides</i> Sharp	コウチュウ	ゲンゴロウ	EX	CR+EN	227
マダラナニワトンボ	<i>Sympetrum maculatum</i> Oguma	トンボ	トンボ	EN	CR+EN	256
マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i> (Clark)	コウチュウ	ゲンゴロウ	CR	NT	242
ミカワクチキウマ	<i>Anoplophilus okadae</i> Ishikawa	バッタ	カマドウマ	DD		386
ミスジナガクチキ	<i>Stenoxylita trialbofasciata</i> (Hayashi et Kato)	コウチュウ	ナガクチキムシ	NT		350
ミヤマカラスシジミ	<i>Strymonidia mera</i> (Janson)	チョウ	シジミチョウ	EN		275
ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i> (Butler)	チョウ	セセリチョウ	EN		271
ミヤモトアシナガミゾドロムシ	<i>Stenelmis miyamotoi</i> Nomura et Nakane	コウチュウ	ヒメドロムシ	NT		343
ムツボシツヤコツブ ゲンゴロウ	<i>Canthydrus politus</i> (Sharp)	コウチュウ	コツブゲンゴロウ	NT		332
ムモンアカシジミ	<i>Shirozua jonsi</i> (Janson)	チョウ	シジミチョウ	VU		307
メガネサナエ	<i>Stylurus oculatus</i> (Asahina)	トンボ	サナエトンボ	NT	NT	315
モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris)	トンボ	イトトンボ	NT	NT	313
ヤマトアオドウガネ	<i>Anomala japonica</i> Arrow	コウチュウ	コガネムシ	NT		342
ヤマトケシマグソコガネ	<i>Psammodius japonicus</i> Harold	コウチュウ	コガネムシ	NT		339
ヤマトボソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i> Sharp	コウチュウ	ボソガムシ	NT		337
ヤマトマダラバッタ	<i>Epacromius japonicus</i> (Shiraki)	バッタ	バッタ	VU		284
ヤマトモンシデムシ	<i>Nicrophorus japonicus</i> Harold	コウチュウ	シデムシ	VU	NT	295
ヤヤコバカギアシゾウムシ	<i>Bagous spicatus</i> O'brien et Morimoto	コウチュウ	ゾウムシ	DD		404
ヨコミゾドロムシ	<i>Leptelmis gracilis</i> Sharp	コウチュウ	ヒメドロムシ	NT	VU	344
ヨコヤマヒゲナガカミキリ	<i>Dolichoprosopus yokoyamai</i> (Gressitt)	コウチュウ	カミキリムシ	NT		357
ヨツボシカミキリ	<i>Stenygrium quadrinotatum</i> Bates	コウチュウ	カミキリムシ	EN	VU	270

(7) クモ類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アカイロトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne yunoharuensis</i> Strand	クモ	コガネグモ	VU		439
アケボノウレイレグモ	<i>Bellisana akebona</i> (Komatsu)	クモ	ユウレイレグモ	CR		417
アシナガカニグモ	<i>Heriaeus mellottei</i> Simon	クモ	カニグモ	VU		444
アワセグモ	<i>Selenops bursarius</i> Karsch	クモ	アワセグモ	VU		443
イサゴコモリグモ	<i>Pardosa isago</i> Tanaka	クモ	コモリグモ	EN		430
オオトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne inaequalis</i> Thorell	クモ	コガネグモ	NT		448
オビシガバチグモ	<i>Castianeira shaxianensis</i> Gong	クモ	ネコグモ	VU		442
オビボソカニグモ	<i>Xysticus trizonatus</i> Ono	クモ	カニグモ	VU		445
カトウツケオグモ	<i>Phrynarachne katoi</i> Tikuni	クモ	カニグモ	EN		433
カネコタテグモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i> (L. Koch)	クモ	カネコタテグモ	VU	NT	435
キシノウエトタテグモ	<i>Latouchia swinhoei typica</i> (Kishida)	クモ	トタテグモ	EN	NT	419
キジロオビキグモ	<i>Arachnura logio</i> Yaginuma	クモ	コガネグモ	EN		424
キヌキリグモ	<i>Herbiphantes cericeus</i> (S. Saito)	クモ	サラグモ	EN		421
キノボリトタテグモ	<i>Conothele fragaria</i> (Dönitz)	クモ	トタテグモ	VU	NT	436
キハダキヌキリグモ	<i>Herbiphantes longiventris</i> Tanasevitch	クモ	サラグモ	EN		422
ゲホウグモ	<i>Polys illepidus</i> C. Koch	クモ	コガネグモ	NT		449
コガネグモ	<i>Argiope amoena</i> L. Koch	クモ	コガネグモ	NT		446
コケオニグモ	<i>Araneus seminiger</i> (L. Koch)	クモ	コガネグモ	EN		425
シノビグモ	<i>Shinobius orientalis</i> (Yaginuma)	クモ	サシアシグモ	EN		432
シロオビトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i> Strand	クモ	コガネグモ	VU		438
シロタマヒメグモ	<i>Enoplognatha margarita</i> Yaginuma	クモ	ヒメグモ	EN		420
チクニドヨウグモ	<i>Metleucage chikunii</i> Tanikawa	クモ	アシナガグモ	EN		423
ツシマトリノフンダマシ	<i>Paraplectana tsushimensis</i> Yamaguchi	クモ	コガネグモ	EN		428
テジロハリグコモリグモ	<i>Pardosa yamanoi</i> Tanaka et Suwa	クモ	コモリグモ	EN		431
トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhlii</i> C. Koch	クモ	コガネグモ	VU		440
トリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne bufo</i> (Bösenberg et Strand)	クモ	コガネグモ	NT		447
ニシキオニグモ	<i>Araneus variegatus</i> Yaginuma	クモ	コガネグモ	VU		437
マメイタイセキグモ	<i>Ordgarius hobsoni</i> (O. P.-Cambridge)	クモ	コガネグモ	EN		426
ミカワホラヒメグモ	<i>Nesticus mikawanus</i> Yaginuma	クモ	ホラヒメグモ	CR		418
ミナモコモリグモ	<i>Pirata meridionalis</i> Tanaka	クモ	コモリグモ	VU		441
ムツトゲイセキグモ	<i>Ordgarius sexspinosus</i> (Thorell)	クモ	コガネグモ	EN		427
ムロズミソグモ	<i>Takeoa nishimurai</i> (Yaginuma)	クモ	スオウグモ	DD		450
ワグドツキジグモ	<i>Pasilobus hupingensis</i> Yin, Bao et Kim	クモ	コガネグモ	EN		429
ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i> Karsch	クモ	ジグモ	VU	NT	434

(8) 貝 類

陸産貝類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
イシマキシロマイマイ	<i>Trishoplita calcicola</i> Kuroda, in Masuda et Habe	マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	NT	NT	564
オクガタギセル	<i>Mundiphaedusa dorcas</i> (Pilsbry)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	NT	NT	558
オモイガケナマイマイ	<i>Aegista inexpectata</i> Kuroda et Minato	マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	CR	CR+EN	463
カサネシタラガイ	<i>Sitalina insignis</i> (Pilsbry et Hirase)	マイマイ(柄眼)	ベッコウマイマイ	NT	NT	561
クチマカリマイマイ	<i>Aegista cavicollis</i> (Pilsbry)	マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	NT	NT	562
クビナガギセル	<i>Pinguiphaedusa kubinaga</i> (Kuroda)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	VU	VU	525
ケシガイ	<i>Carychium pessimum</i> Pilabry	モノアラガイ(基眼)	オカミミガイ	NT	NT	555
ゴマオカタニシ	<i>Georissa japonica</i> Pilsbry	アマオブネガイ	ゴマオカタニシ	NT	NT	552
トウカイヤマトガイ	<i>Japonia katorii</i> Minato	盤足	ヤマトニシ	NT	VU	553
トラコギセル	<i>Proreina eastlakeana vaga</i> (Pilsbry)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	EN	CR+EN	515
トノサマガセル	<i>Mundiphaedusa ducalis</i> (Kobelt)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	NT	NT	559
ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i> (Pilsbry)	マイマイ(柄眼)	オカモノアラガイ	NT	NT	556
ナニワクチミゾガイ	<i>Eostrobilops nipponica reikoeae</i> Matsumura et Minato	マイマイ(柄眼)	クチミゾガイ	VU	NT	524
ハチノコギセル	<i>Mundiphaedusa kawasakii</i> (Kuroda)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	NT	NT	560
ヒラドマルナタネ	<i>Pupisoma harpula</i> Reinhardt	マイマイ(柄眼)	マキゾメガイ	DD		601
ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Trishoplita hilgendorffii</i> (Kobelt)	マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	NT	NT	565
ヒロクチコギセル	<i>Reinia variegata</i> (A. Adams)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	EN	CR+EN	516
フチマルオオベソマイマイ	<i>Aegista tumida</i> (Gude)	マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	NT	NT	563
ベニゴマオカタニシ	<i>Georissa shikokuensis</i> Amano	アマオブネガイ	ゴマオカタニシ	VU	VU	523
ホウライジギセル	<i>Mesophaedusa ikenoi</i> Minato	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	CR	CR+EN	462
ホソヒメギセル	<i>Tryannophaedusa gracilispira</i> (Moellendorff)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	VU	VU	526
ホラアナゴマオカチグサ	<i>Cavernacmella kuzuensis</i> (Suzuki)	盤足	カワザンショウガイ	NT	CR+EN	554
ミカワギセル	<i>Mesophaedusa hickonis mikawa</i> (Pilsbry)	マイマイ(柄眼)	キセルガイ	NT	NT	557
ミカワマイマイ	<i>Euhadra scaevola mikawa</i> Amano	マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	CR	VU	464
ミヤマヒダリマキマイマイ (ヒラヒダリマキマイマイ)	<i>Euhadra scaevola scaevola</i> (Martens) (<i>E. s. interioris</i> Pilsbry)	マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	VU	VU	527

淡水産貝類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
イシガイ	<i>Unio douglasiae nipponensis</i> (Martens)	イシガイ	イシガイ	CR		465
オバエボシ	<i>Inversidens brandti</i> (Kobelt)	イシガイ	イシガイ	EX	VU	456
カタハガイ	<i>Pseudodon omiensis</i> (Heimburg)	イシガイ	イシガイ	EX	VU	457
カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i> (Leach)	イシガイ	イシガイ	DD	NT	602
カワネジガイ	<i>Camptoceras hirasei</i> Walker	モノアラガイ(基眼)	ヒラマキガイ	EX	CR+EN	453
クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i> Kajiyama et Habe	盤足	カワニナ	NT	NT	567
ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i> (Lea)	イシガイ	イシガイ	NT		569
トンガリササノハガイ	<i>Lanceolaria grayana cuspidata</i> Kira	イシガイ	イシガイ	CR	NT	467
ニホンマメシジミ	<i>Pisidium nipponense</i> Kuroda	マルスダレガイ	マメシジミ	DD		603
ヒダリマキモノアラガイ	<i>Culminella prashadi</i> (Clench)	モノアラガイ(基眼)	ヒラマキガイ	EX	CR+EN	454
マシジミ	<i>Corbicula leana</i> Prime	マルスダレガイ	シジミ	VU	NT	529
マツカサガイ	<i>Inversidens japonensis</i> (Lea)	イシガイ	イシガイ	CR	NT	466
マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i> (v.Martens)	盤足	タニシ	NT	NT	566
ミズゴマツボ	<i>Stenothyra japonica</i> Kuroda	盤足	ミズゴマツボ	VU	NT	528
モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i> Jay	モノアラガイ(基眼)	モノアラガイ	NT	NT	568
ヨコハマシジラガイ	<i>Inversio yokohamensis</i> (Ihering)	イシガイ	イシガイ	EX	NT	455

内湾産貝類

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アオサギガイ	<i>Psammotreta (Pseudomitis) praeupta</i> (Salisbury)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	CR		501
アゲマキガイ	<i>Sinonovacula constricta</i> (Lamarck)	マルスダレガイ	ナタマメガイ	EX		461
アダムスタマガイ	<i>Cryptopnatica adamsiana</i> (Dunker)	盤足	タマガイ	CR		477
アラウズマキ	<i>Pygmaeolata duplicata</i> (Lischke)	盤足	イソコハクガイ	CR		473
アリソガイ	<i>Coelomactra antiquata</i> (Spengler)	マルスダレガイ	バカガイ	CR		498
アワジチガイ	<i>Macoma candida</i> (Lamarck)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	CR		500
イセシラガイ	<i>Anodonta stearnsiana</i> (Oyama)	マルスダレガイ	ツキガイ	CR		494
イソカゼガイ	<i>Basterotia gouldi</i> (A.Adams)	マルスダレガイ	イソカゼガイ	CR		495
イソチドリ	<i>Amathina tricarinata</i> (Linnaeus)	異旋	イソチドリガイ	CR		484
イソマイマイ	<i>Tornus planus</i> (A.Adams)	盤足	イソコハクガイ	CR		474
イタボガキ	<i>Ostrea denselamellosa</i> Lischke	カキ	イタボガキ	CR		493
イチョウシラトリ	<i>Tellina (Serratina) capsoides</i> Lamarck	マルスダレガイ	ニッコウガイ	EX		460
イボウミニナ	<i>Batillaria zonalis</i> (Bruguere)	盤足	ウミニナ	EN	VU	517
イボキサゴ	<i>Umbonium (Suchium) moniliferum</i> (Lamarck)	古腹足	ニシキウズ	CR		468
イボヒメトクサ	<i>Granuliterebra bathyraphe</i> (Smith)	新腹足	タケノコガイ	CR		482
イヨスダレガイ	<i>Paphia (Neotapes) undulata</i> (Born)	マルスダレガイ	マルスダレガイ	VU		550
ウスコミミガイ	<i>Laemodonta exaratooides</i> Kawabe	モノアラガイ(基眼)	オカミミガイ	VU	NT	546
ウズザクラ	<i>Nitidotellina minuta</i> (Lischke)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	NT		593
ウツセミガイ	<i>Akera soluta</i> Gmelin	アメフラシ	ウツセミガイ	CR		486
ウネムシロ	<i>Reticunassa hiradoensis</i> (Pilsbry)	新腹足	オリレイヨウバイ	VU		541
ウミタケ	<i>Barnea (Umitakea) dilatata</i> (Souleyet)	オオノガイ	ニオガイ	CR		514
ウミナメクジ	<i>Petalifera punctulata</i> (Tapparone-Canefri)	アメフラシ	アメフラシ	NT		586
ウミニナ	<i>Batillaria multififormis</i> (Lischke)	盤足	ウミニナ	NT	NT	570
ウミヒメカノコ	<i>Smaragdia</i> sp.	アマオブネガイ	アマオブネガイ	CR		469
ウラカガミ	<i>Dosinorbis (Phacosoma) penicilata</i> (Reeve)	マルスダレガイ	マルスダレガイ	CR		510
エドガワミズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawaensis</i> (Yokoyama)	盤足	ミズゴマツボ	NT	NT	577
オオシノミガイ	<i>Acteon sieboldi</i> (Reeve)	頭楯	オオシノミガイ	EN		520
オオノガイ	<i>Mya (Arenoma) oonogai</i> Makiyama	オオノガイ	オオノガイ	NT		597
オオモモノハナ	<i>Macoma praetexta</i> (Martens)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	CR		499
オガイ	<i>Cantharus cecillei</i> (Philippi)	新腹足	エゾバイ	CR		481
オカミミガイ	<i>Ellobium chinense</i> (Pfeiffer)	モノアラガイ(基眼)	オカミミガイ	EN	VU	521
オキナガイ	<i>Laternula anatina</i> (Linnaeus)	ウミタケモドキ	オキナガイ	NT		599
オキナガイ属の一種	<i>Laternula</i> sp.	ウミタケモドキ	オキナガイ	VU		551
オダマキガイ	<i>Depressiscala aurita</i> (Sowerby)	翼舌	イトカケガイ	VU		537
オチバガイ	<i>Psammotaea virescens</i> (Deshayes)	マルスダレガイ	シオサザナミ	CR		502
オリイレボラ	<i>Trigonostoma scalariformis</i> (Lamarck)	新腹足	コロモガイ	EN		519
カキウラクチキレモドキ	<i>Brachystomia bipyramidata</i> (Nomura)	異旋	トウガタガイ	NT		584
カズラガイ	<i>Phalium variegatum</i> Perry	盤足	トウカムリ	NT		578
カニモリ	<i>Rhinoclavis (Proclava) kochi</i> (Philippi)	盤足	オニノツノガイ	VU		532
カノコキセワタガイ	<i>Agalaja giglioli</i> (Tapparone-Canefri)	頭楯	カノコキセワタ	NT		585
カハタレカワザンシヨウ (未記載種)	Gen.et sp.	盤足	カワザンシヨウガイ	DD		606
カワアイ	<i>Cerithidea (Cerithideopsis) dajariensis</i> (K.Martin)	盤足	フトヘナタリ	EN	VU	518
カワグツツボ	<i>Iravadia (Fluviocingula) elegantula</i> (A.Adams)	盤足	ワカウツツボ	NT	NT	573
キヌカツギハマシノミガイ	<i>Melampus (Melampus) singaporensis</i> Pfeiffer	モノアラガイ(基眼)	オカミミガイ	CR	VU	488
キヌダレガイ	<i>Petrasma pusilla</i> (Gould)	キヌダレガイ	キヌダレガイ	NT		587
キヌボラ	<i>Reticunassa japonica</i> A.Adams	新腹足	オリレイヨウバイ	VU		540
クシケマスオガイ	<i>Anatomya truncata</i> (Gould)	オオノガイ	オオノガイ	CR		513
クチベニガイ	<i>Solidicorbula erythron</i> (Lamarck)	オオノガイ	クチベニガイ	NT		598
クワイロカワザンシヨウ	<i>Angustassimineia castanea</i> (Westerlund)	盤足	カワザンシヨウガイ	NT		574
クリンイトカケ	<i>Amaea thielei</i> (de Boury)	翼舌	イトカケガイ	NT		579
クレハガイ	<i>Papyriscala latifasciata</i> (Sowerby)	翼舌	イトカケガイ	NT		582
クロスジムシロの近似種	<i>Reticunassa</i> sp.	新腹足	オリレイヨウバイ	VU		542
コシノミガイ	<i>Pupa strigosa</i> (Gould)	頭楯	オオシノミガイ	VU		545
ゴマツボ	<i>Stosicia annulata</i> (Dunker)	盤足	リソツボ	CR		472
サギガイ	<i>Macoma sector</i> Oyama	マルスダレガイ	ニッコウガイ	NT		594

和 名	学 名	目 名	科 名	県ランク	国ランク	掲載頁
サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i> (Habe)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	NT		592
サザナミツボ	<i>Elachisime ziczac</i> Fukuda et Ekawa	盤足	サザナミツボ	DD		605
サナギモツボ	<i>Eufenella pupoides</i> (A. Adams)	盤足	リソツボ	CR		470
サビシラトリ	<i>Macoma contabulata</i> (Deshayes)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	EN		522
シオヤガイ	<i>Anomalocardia squamosa</i> (Linnaeus)	マルスダレガイ	マルスダレガイ	CR		509
シコロエガイ	<i>Porterius dalli</i> (Smith)	フネガイ	シコロエガイ	CR		489
シノブガイ	<i>Laeviscala angusta</i> (Dunker)	翼舌	イトカケガイ	NT		581
シラギク	<i>Pseudoliotia pulchella</i> (Dunker)	盤足	イソコハクガイ	CR		475
スジウネリチョウジガイ	<i>Rissoina (Rissoina) constulata</i> Dunker	盤足	リソツボ	CR		471
スジホシムシヤドリガイ	<i>Nipponomysella subtruncata</i> (Yokoyama)	マルスダレガイ	チリハギ	VU		548
スミスシラゲガイ	<i>Mitrella yabei</i> (Nomura)	新腹足	フトコロガイ	VU		538
セキモリ	<i>Papyriscala yokoyamai</i> (Suzuki et Ichikawa)	翼舌	イトカケガイ	NT		580
ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i> (Reeve)	ウミタケモドキ	オキナガイ	NT		600
タイラギ	<i>Atrina pictinata</i> (Linnaeus)	ウグイスガイ	ハボウキガイ	NT		588
タクミニナ	<i>Eucharilda sinensis</i> (Fischer)	異旋	タクミニナ	CR		483
タケノコカワニナ	<i>Stenomelania rufescens</i> (Martens)	盤足	トゲカワニナ	EX	VU	458
ダンダラマテガイ	<i>Solen kurodai</i> Habe	マルスダレガイ	マテガイ	CR		506
ツキガイモドキ	<i>Lucinoma annulatum</i> (Reeve)	マルスダレガイ	ツキガイ	NT		589
ツブカワザンショウ	<i>Assimineae estuarina</i> Habe	盤足	カワザンショウガイ	NT		576
ツヤガラス	<i>Modiolus elongatus</i> (Swainson)	イガイ	イガイ	CR		491
ナギサノシタタリガイ	<i>Microtralia acteocinoides</i> Kuroda et Habe	モノアラガイ(基眼)	オカミミガイ	VU		547
ナラビオカミミガイ	<i>Auriculaster duplicata</i> (Pfeiffer)	モノアラガイ(基眼)	オカミミガイ	CR	VU	487
ヌカルミクチキレ (未記載種)	Gen. et sp.	異旋	トウガタガイ	VU		544
ネコガイ	<i>Eunotina papilla</i> (Gmelin)	盤足	タマガイ	VU		536
バイ	<i>Babylonia japonica</i> (Reeve)	新腹足	エゾバイ	VU		543
ハイガイ	<i>Tegillarca granosa</i> (Linnaeus)	フネガイ	フネガイ	EX		459
ハザクラ	<i>Psammotaea minor</i> (Deshayes)	マルスダレガイ	シオサザナミ	CR		503
ハツカネズミ	<i>Fossarus tornatilis</i> (Gould)	盤足	シロネズミガイ	CR		476
ハナグモリガイ	<i>Glaucome chinensis</i> Gray	マルスダレガイ	ハナグモリガイ	CR	VU	508
ハボウキガイ	<i>Pinna bicolor</i> Gmelin	ウグイスガイ	ハボウキガイ	CR		492
ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i> (Roding)	マルスダレガイ	マルスダレガイ	CR		511
ハラフマテ	<i>Solen roseomaculatus</i> Pilsbry	マルスダレガイ	マテガイ	CR		507
ヒナユキズメ(未記載種)	<i>Phenacolepas</i> sp.	アマオブネガイ	ユキズメガイ	VU	NT	531
ヒメカノコ	<i>Clithon (Pictoneritina) oulaniensis</i> (Lesson)	アマオブネガイ	アマオブネガイ	DD		604
ヒメマスオガイ	<i>Cryptomya busoensis</i> Yokoyama	オオノガイ	オオノガイ	CR		512
ヒモイカリナマコツマミガイ	<i>Hypermastus lacteus</i> (A. Adams)	翼舌	ハナゴウナ	CR		478
ヒラドサンゴヤドリ	<i>Coralliophila jeffreysi</i> Smith	新腹足	アツキガイ	CR		479
ヒロクチカノコ	<i>Neritina (Dostia) violacea</i> (Gmelin)	アマオブネガイ	アマオブネガイ	VU	VU	530
フジナミガイ	<i>Soletellina boeddinghausi</i> Lischke	マルスダレガイ	シオサザナミ	CR		505
フスマガイ	<i>Clementia vatheleti</i> Mabilie	マルスダレガイ	マルスダレガイ	NT		596
フトヘナタリ	<i>Cerithidea (Cerithidea) rhizophorarum</i> A. Adams	盤足	フトヘナタリ	NT	NT	571
ヘナタリ	<i>Cerithidea (Cerithideopsis) cingulata</i> (Gmelin)	盤足	フトヘナタリ	NT	NT	572
ベニガイ	<i>Pharaonella sieboldii</i> (Deshayes)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	VU		549
マキモノガイ	<i>Leucotina diana</i> (A. Adams)	異旋	イソチドリガイ	CR		485
マテガイ	<i>Solen strictus</i> Gould	マルスダレガイ	マテガイ	NT		595
マルテンスマツムシ	<i>Mitrella martensi</i> (Lischke)	新腹足	フトコロガイ	CR		480
ミルクイ	<i>Tresus keenae</i> (Kuroda et Habe)	マルスダレガイ	バカガイ	NT		590
ムシヤドリカワザンショウ	<i>Assimineae parasitologica</i> Kuroda	盤足	カワザンショウガイ	NT	NT	575
ムシロガイ	<i>Niotha livescens</i> (Philippi)	新腹足	オリイレヨウバイ	VU		539
ムラサキガイ	<i>Soletellina diphos</i> (Linnaeus)	マルスダレガイ	シオサザナミ	CR		504
モスソガイ	<i>Volutarpa ampullacea perryi</i> (Jay)	新腹足	エゾバイ	NT		583
ヤチヨノハナガイ	<i>Raeta (Raetina) pellicula</i> (Reeve)	マルスダレガイ	バカガイ	CR		496
ヤマトクビキレガイ	<i>Truncatella pfeifferi</i> Martens	盤足	クビキレガイ	VU		535
ヤマホトギス	<i>Musculus japonica</i> (Dunker)	イガイ	イガイ	CR		490
ユウシオガイ	<i>Moerella rutila</i> (Dunker)	マルスダレガイ	ニッコウガイ	NT		591
ユキガイ	<i>Meropesta nicobarica</i> (Gmelin)	マルスダレガイ	バカガイ	CR		497
ヨシダカワザンショウ	<i>Angustassimineae yoshidayukioi</i> (Kuroda)	盤足	カワザンショウガイ	VU	VU	534
ワカウラツボ	<i>Iravadia (Fairbankia) sakaguchii</i> (Kuroda et Habe)	盤足	ワカウラツボ	VU	VU	533

【 索引（分類順） 】 【 Systematic Index 】

（ １ ） 哺乳類 MAMMALIA

目及び科の範囲と種の配列は原則として“Mammal Species of the World, 3rd ed.”（Wilson & Reeder, 2005）に準拠し、新しい知見を加え整理した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
齧歯(ネズミ)	リス	ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i> (Temminck)	NT		81
齧歯(ネズミ)	リス	ホンドモモンガ	<i>Pteromys momonga</i> Temminck	EN		74
齧歯(ネズミ)	ヤマネ	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz)	NT	NT	82
齧歯(ネズミ)	キヌゲネズミ	ハタネズミ	<i>Microtus montebelli</i> (Milne-Edwards)	NT		83
齧歯(ネズミ)	キヌゲネズミ	スミスネズミ	<i>Myodes smithii</i> (Thomas)	NT		84
齧歯(ネズミ)	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i> (Pallas)	VU		77
トガリ(モグラ)	トガリ	ニホンシネズミ (佐久島の個体群)	<i>Crocidura dsinezumi</i> (Temminck)	LP		90
トガリ(モグラ)	トガリ	カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephalus</i> (Temminck)	VU	LP	78
トガリ(モグラ)	モグラ	ミズラモグラ	<i>Eurosaptor mizura</i> (Günther)	CR	NT	68
トガリ(モグラ)	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i> (Kuroda)	VU		79
トガリ(モグラ)	モグラ	コウベモグラ (名古屋城外堀の個体群)	<i>Mogera wogura</i> (Temminck)	LP		91
翼手(コウモリ)	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus</i> Temminck	NT		85
翼手(コウモリ)	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i> (Schreber)	NT		86
翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i> (Thomas)	CR	NT	69
翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	チチブコウモリ	<i>Barbastella leucomelas</i> (Cretzschmar)	CR	LP	70
翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i> (Peters)	EN		75
翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	ノレンコウモリ	<i>Myotis bombinus</i> Thomas	CR	VU	71
翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i> (Temminck)	VU		80
翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	テングコウモリ	<i>Murina hilgendorffi</i> Peters	EN	VU	76
翼手(コウモリ)	ヒナコウモリ	コテングコウモリ	<i>Murina silvatica</i> Yoshiyuki	CR		72
食肉(ネコ)	イヌ	オオカミ	<i>Canis lupus</i> Linnaeus	EX	EX	65
食肉(ネコ)	クマ	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i> G.[Baron] Cuvier	CR	LP	73
食肉(ネコ)	アシカ	アシカ	<i>Zalophus japonicus</i> (Peters)	EX	CR	66
食肉(ネコ)	イタチ	カワウソ	<i>Lutra nippon</i> Imaizumi et Yoshiyuki	EX	CR	67
食肉(ネコ)	イタチ	テン	<i>Martes melampus</i> (Wagner)	NT		87
食肉(ネコ)	イタチ	アナグマ	<i>Meles anakuma</i> Temminck	DD		89
鯨(クジラ)	ネズミイルカ	スナメリ	<i>Neophocaena phocaenoides</i> (G.Cuvier)	NT		88

（ ２ ） 鳥 類 AVES

目及び科の範囲、名称、配列は、「日本鳥類目録 改訂第 6 版」（日本鳥学会,2000）に準拠した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
カイツブリ	カイツブリ	アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena</i> (Boddaert)	EN		104
ペリカン	ウ	ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i> Pallas	NT	EN	143
コウノトリ	サギ	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i> (Linnaeus)	DD	EN	174
コウノトリ	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i> (Gmelin)	EN	NT	105
コウノトリ	サギ	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goesagi</i> (Temminck)	EN	EN	106
コウノトリ	サギ	クロサギ	<i>Egretta sacra</i> (Gmelin)	VU		117
カモ	カモ	トモエガモ	<i>Anas formosa</i> Georgi	VU	VU	118
カモ	カモ	クロガモ	<i>Melanitta nigra</i> (Linnaeus)	NT		144
カモ	カモ	ビロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i> (Linnaeus)	VU		119
カモ	カモ	シロガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i> (Linnaeus)	EN		107
カモ	カモ	カワアイサ	<i>Mergus merganser</i> Linnaeus	VU		120
タカ	タカ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus)	NT	NT	145
タカ	タカ	ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i> (Linnaeus)	VU	NT	121
タカ	タカ	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i> (Linnaeus)	NT	NT	146
タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck et Schlegel)	NT		147
タカ	タカ	サシバ	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	VU	VU	122
タカ	タカ	サシバの渡り群	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	LP	VU	175
タカ	タカ	クマタカ	<i>Spizaetus nipalensis</i> (Hodgson)	EN	EN	108
タカ	タカ	ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i> (Linnaeus)	NT		148
タカ	タカ	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i> Kaup	EN	EN	109
タカ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i> Tunstall	EN	VU	110
キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i> Temminck et Schlegel	VU	NT	123
ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i> Linnaeus	NT		149
ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i> (Linnaeus)	VU	VU	124
チドリ	タマシギ	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i> (Linnaeus)	VU		125
チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i> J.E et G.R. Gray	VU		126
チドリ	チドリ	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i> Linnaeus	NT		150
チドリ	チドリ	ダイゼンの越冬群	<i>Pluvialis squatarola</i> (Linnaeus)	LP		176
チドリ	シギ	オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i> (Leisler)	NT		151
チドリ	シギ	ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i> (Horsfield)	VU		127
チドリ	シギ	ハマシギの越冬群	<i>Calidris alpina</i> (Linnaeus)	LP		177
チドリ	シギ	コオバシギ	<i>Calidris canutus</i> (Linnaeus)	NT		152
チドリ	シギ	オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i> (Horsfield)	NT		153
チドリ	シギ	ミコビシギ	<i>Crocethia alba</i> (Pallas)	NT		154

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
チドリ	シギ	ヘラシギ	<i>Eurynorhynchus pygmeus</i> (Linnaeus)	CR	CR	95
チドリ	シギ	エリマキシギ	<i>Philomachus pygmaeus</i> (Linnaeus)	NT		155
チドリ	シギ	キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i> (Pontoppidan)	VU		128
チドリ	シギ	オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i> (Say)	NT		156
チドリ	シギ	シベリアオオハシシギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i> (Blyth)	CR	DD	96
チドリ	シギ	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i> (Pallas)	VU		129
チドリ	シギ	アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i> (Linnaeus)	NT	VU	157
チドリ	シギ	カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i> (Nordmann)	CR	CR	97
チドリ	シギ	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i> Linnaeus	VU		130
チドリ	シギ	メリケンキアシシギ	<i>Heteroscelus incanus</i> (Gmelin)	NT		158
チドリ	シギ	オグロシギ	<i>Limosa limosa</i> (Linnaeus)	VU		131
チドリ	シギ	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i> (Linnaeus)	NT		159
チドリ	シギ	ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i> (Linnaeus)	NT		160
チドリ	シギ	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i> (Linnaeus)	VU	VU	132
チドリ	シギ	コシヤクシギ	<i>Numenius minutus</i> Gould	EN	EN	111
チドリ	シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus	NT		161
チドリ	シギ	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)	CR	NT	98
チドリ	シギ	アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i> Hodgson	NT		162
チドリ	セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i> (Linnaeus)	VU	VU	133
チドリ	ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i> Forster	CR	VU	99
チドリ	カモメ	ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i> (Swinhoe)	EN	VU	112
チドリ	カモメ	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i> Pallas	NT	VU	163
カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Cuculus fugax</i> Horsfield	VU		134
カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i> Blyth	NT		164
フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus scops</i> (Linnaeus)	CR		100
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i> (Horsfield)	NT		165
フクロウ	フクロウ	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i> (Raffles)	NT		166
フクロウ	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis</i> Pallas	NT		167
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i> Latham	VU	VU	135
ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Ceryle lugubris</i> (Temminck)	EN		113
ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i> (Latham)	VU		136
ブッポウソウ	ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i> (Linnaeus)	CR	EN	101
キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i> (Bechstein)	EN		114
スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ	<i>Pitta brachyura</i> (Linnaeus)	CR	EN	102
スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles)	NT	VU	168
スズメ	カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i> Temminck	VU		137
スズメ	ミンサザイ	ミンサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus)	NT		169
スズメ	ツグミ	コマドリ	<i>Erithacus akahige</i> (Temminck)	VU		138
スズメ	ツグミ	コルリ	<i>Luscinia cyane</i> (Pallas)	NT		170
スズメ	ツグミ	マミジロ	<i>Turdus sibiricus</i> Pallas	EN		115
スズメ	ツグミ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i> Temminck	NT		171
スズメ	ツグミ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck	VU		139
スズメ	ウグイス	オオセッカ	<i>Locustella pryeri</i> (Seeböhm)	EN	EN	116
スズメ	ヒタキ	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i> Pallas	NT		172
スズメ	カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i> (Eyton)	NT		173
スズメ	キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus	CR		103
スズメ	ホオジロ	コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i> (Swinhoe)	VU	VU	140
スズメ	ホオジロ	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i> Pallas	VU		141
スズメ	ホオジロ	ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i> Temminck et Schlegel	VU	NT	142

(3) 爬虫類 REPTILIA

目及び科の範囲、名称、配列は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(日本爬虫両棲類学会, 2008) を基に、新しい知見を加え整理した。なお、ニホンスッポンについては、環境省レッドリストに準じて亜種小名を表記した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
カメ	ウミガメ	アカウミガメ	<i>Caretta caretta</i> (Linnaeus)	EN	EN	181
カメ	スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis japonicus</i> (Temminck et Schlegel)	DD	DD	182
有鱗	ナミヘビ	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i> Peters	DD		183
有鱗	ナミヘビ	シロマダラ	<i>Dinodon orientale</i> (Hilgendorf)	DD		184

(4) 両生類 AMPHIBIA

目及び科の範囲、名称、配列は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(日本爬虫両棲類学会, 2008) を基に、新しい知見を加え整理した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
有尾	サンショウウオ	カスミサンショウウオ	<i>Hynobius nebulosus</i> (Temminck et Schlegel)	EN	VU	189
有尾	サンショウウオ	サンショウウオの一種	<i>Hynobius</i> sp.	CR		187
有尾	サンショウウオ	ヒダサンショウウオ	<i>Hynobius kimurae</i> Dunn	NT	NT	192
有尾	サンショウウオ	コガタブチサンショウウオ	<i>Hynobius yatsui</i> Oyama	DD	NT	196
有尾	サンショウウオ	ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i> (Houttuyn)	NT		193
有尾	オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i> (Temminck)	EN	VU	190

有尾	イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i> (Boie)	DD	NT	197
無尾	アカガエル	ナゴヤダルマガエル	<i>Rana porosa brevipoda</i> Ito	VU	EN	191
無尾	アカガエル	ツチガエル	<i>Rana rugosa</i> Temminck et Schlegel	DD		198
無尾	アカガエル	ナガレタゴガエル	<i>Rana sakuraii</i> Matsui et Matsui	CR		188
無尾	アカガエル	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i> Werner	DD		199
無尾	アオガエル	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i> (Okada et Kawano)	NT		194
無尾	アオガエル	カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i> (Temminck et Schlegel)	NT		195

(5) 淡水魚類 OSTEICHTHYES

目及び科の範囲、名称、配列は、原則として「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－（脊椎動物編）」（環境省編，1993）に準拠した。

目名	科名	和名	学名	県ランク	国ランク	掲載頁
ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ	<i>Lampetra mitsukurii</i> Hatta	VU	VU	206
コイ	コイ	カワバタモロコ	<i>Hemigrammocypripis rasborella</i> Fowler	VU	EN	207
コイ	コイ	カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	NT	NT	213
コイ	コイ	ウシモツゴ	<i>Pseudorasbora pumila</i> subsp.	CR	CR	203
コイ	コイ	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i> (Temminck et Schlegel)	NT	NT	214
コイ	コイ	アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i> (Temminck et Schlegel)	DD	NT	219
コイ	コイ	イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i> Jordan et Fowler	VU	CR	208
コイ	コイ	イタセンバラ	<i>Acheilognathus longipinnis</i> Regan	CR	CR	204
コイ	ドジョウ	スジシマドジョウ	<i>Cobitis taenia striata</i> Ikeda	NT	EN	215
小型種東海型						
コイ	ドジョウ	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i> Jordan et Richardson	VU	EN	209
コイ	ドジョウ	ナガレホトケドジョウ	<i>Lefua</i> sp.	VU	EN	210
ナマズ	ギギ	ネコギギ	<i>Coreobagrus ichikawai</i> Okada et Kubota	EN	EN	205
ナマズ	アカザ	アカザ	<i>Liobagrus reinii</i> Hilgendorf	NT	VU	216
メダカ	メダカ	メダカ	<i>Oryzias latipes</i> (Temminck et Schlegel)	NT	VU	217
スズキ	ハゼ	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i> (Temminck et Schlegel)	NT		218
カサゴ	カジカ	カジカ大卵型	<i>Cottus pollux</i> Gunther	VU	NT	211
カサゴ	カジカ	カジカ小卵型	<i>Cottus reinii</i> Hilgendorf	VU	EN	211
カサゴ	カジカ	カマキリ (アユカケ)	<i>Cottus kazika</i> Jordan et Starks	VU	VU	212

(6) 昆虫類 INSECTA

目の範囲、名称、配列は、「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－（無脊椎動物編Ⅱ）」（環境省編，1995）に準拠した。目内の科の範囲、名称、配列は、目ごとに以下の文献を基に、新しい知見を加え整理した。なお、チョウ目については、チョウ類とガ類に区分し、チョウ類・ガ類の順に配列した。

- ・環境省編，1995. 日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－（無脊椎動物編Ⅱ）。
- 財団法人自然環境研究センター。（トンボ目、カメムシ目の一部、コウチュウ目、ハエ目、チョウ目チョウ類）
- ・朝比奈正二郎，1991. 日本産ゴキブリ類. 中山書店。（ゴキブリ目）
- ・岡田正哉，2001. カマキリのすべて. トンボ出版。（カマキリ目）
- ・日本直翅類学会編，2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 北海道大学出版会。（バッタ目）
- ・岡田正哉，1999. ナナフシのすべて. トンボ出版。（ナナフシ目）
- ・川合禎次・谷田一三 共編，2005. 日本産水生昆虫 科・属・種への検索. 東海大学出版会。（カメムシ目の一部、トビケラ目）
- ・寺山守，2004. 日本産有剣膜翅類目録. 日本蟻類研究会紀要，2，123pp.（ハチ目）
- ・井上寛ほか，1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社。（チョウ目ガ類）

目名	科名	和名	学名	県ランク	国ランク	掲載頁
トンボ	アオイイトトンボ	コバネアオイイトトンボ	<i>Lestes japonicus</i> Selys	CR	CR+EN	235
トンボ	イトトンボ	オオイイトトンボ	<i>Cercion sieboldii</i> (Selys)	VU		276
トンボ	イトトンボ	ヒヌマイイトトンボ	<i>Mortonagrion hirosei</i> Asahina	EN	CR+EN	251
トンボ	イトトンボ	モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris)	NT	NT	313
トンボ	イトトンボ	ベニイトトンボ	<i>Ceriagrion nipponicum</i> Asahina	VU	VU	277
トンボ	モノサシトンボ	グンバイトンボ	<i>Platycnemis foliacea sasakii</i> Asahina	EN	NT	252
トンボ	サナエトンボ	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryori</i> (Selys)	NT		314
トンボ	サナエトンボ	メダネサナエ	<i>Stylurus oculatus</i> (Asahina)	NT	NT	315
トンボ	サナエトンボ	ナゴヤサナエ	<i>Stylurus nagoyanus</i> (Asahina)	NT	NT	316
トンボ	サナエトンボ	コサナエ	<i>Trigomphus melampus</i> (Selys)	EN		253
トンボ	サナエトンボ	フタスジサナエ	<i>Trigomphus interruptus</i> (Selys)	VU	NT	278
トンボ	サナエトンボ	オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i> (Asahina)	VU	VU	279
トンボ	ヤンマ	ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i> Selys	VU	NT	280
トンボ	ヤンマ	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i> Selys	VU		281
トンボ	エゾトンボ	トラフトンボ	<i>Epithea marginata</i> (Selys)	NT		317
トンボ	エゾトンボ	キイロヤマトンボ	<i>Macromia daimoji</i> Okumura	NT	NT	318
トンボ	エゾトンボ	エゾトンボ	<i>Somatochlora viridiaenea</i> (Uhler)	EN		254
トンボ	エゾトンボ	ハネビロエゾトンボ	<i>Somatochlora clavata</i> Oguma	VU	VU	282
トンボ	トンボ	ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i> Selys	CR	CR+EN	236
トンボ	トンボ	キトンボ	<i>Sympetrum croceolum croceolum</i> (Selys)	EN		255
トンボ	トンボ	マダラニワトンボ	<i>Sympetrum maculatum</i> Oguma	EN	CR+EN	256

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
トンボ	トンボ	オオキトンボ	<i>Sympetrum uniforme</i> (Selys)	CR	CR+EN	237
ゴキブリ	オオゴキブリ	オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i> (Shiraki)	DD		385
カマキリ	カマキリ	ヒナカマキリ	<i>Amantis nawai</i> (Shiraki)	NT		319
バッタ	カマドウマ	ミカワクチキウマ	<i>Anoplophilus okadai</i> Ishikawa	DD		386
バッタ	カマドウマ	チビクチキウマ	<i>Anoplophilus minor</i> Ishikawa	DD		387
バッタ	クツワムシ	タイワノクツワムシ	<i>Mecopoda elongata</i> (Linnaeus)	DD		388
バッタ	マツムシ	クチキコオロギ	<i>Duolandrevus ivani</i> (Gorochov)	NT		320
バッタ	ヒバリモドキ	ハマスズ	<i>Dianemobius csikii</i> (Bolivar)	VU		283
バッタ	ヒシバッタ	ギフヒシバッタ	<i>Tetrix giftuensis</i> Storozhenko, Ichikawa et Uchida	DD		389
バッタ	バッタ	ヤマトマダラバッタ	<i>Epacromius japonicus</i> (Shiraki)	VU		284
ナナフシ	ナナフシムシ	ホンドエダナナフシ	<i>Phraortes illepidus</i> (Brunner von Wattenwyl)	DD		390
カメムシ	マルウンカ	アカジマアシブトウンカ	<i>Ommatidiotus japonicus</i> Y.Hori	NT		321
カメムシ	タイコウチ	ヒメタイコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i> Esaki	NT		322
カメムシ	コオイムシ	タガメ	<i>Lethocerus deyrollei</i> (Vuillefroy)	EN	VU	257
カメムシ	ミズムシ	ホッケミズムシ	<i>Hesperocorixa distantii hokkensis</i> (Matsumura)	DD	NT	391
カメムシ	コバンムシ	コバンムシ	<i>Ilyocoris cimicoides exclamatoris</i> (Scott)	CR	VU	238
カメムシ	ナベブタムシ	トゲナベブタムシ	<i>Aphelocheirus nawae</i> Nawa	EX	VU	225
カメムシ	ナベブタムシ	ナベブタムシ	<i>Aphelocheirus vittatus</i> Matsumura	NT		323
カメムシ	イトアメンボ	イトアメンボ	<i>Hydrometra albolineata</i> (Scott)	VU	VU	285
カメムシ	カタビロアメンボ	オオギカタビロアメンボ	<i>Xiphovelia japonica</i> Esaki et Miyamoto	DD	VU	392
カメムシ	アメンボ	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i> (Uhler)	NT		324
カメムシ	アメンボ	ババアメンボ	<i>Gerris babai</i> Miyamoto	VU	NT	286
カメムシ	アメンボ	エサキアメンボ	<i>Limnoporus esakii</i> (Miyamoto)	NT	NT	325
カメムシ	キンカメムシ	ニシキンカメムシ	<i>Poecilocoris splendidulus</i> Esaki	DD		393
コウチュウ	ツブミズムシ	クロサワツブミズムシ	<i>Satoniurus kurosawai</i> (M.Satô)	DD		394
コウチュウ	カワラゴミムシ	カワラゴミムシ	<i>Omophron aequalis</i> Morawitz	NT		326
コウチュウ	ハンミョウ	ホソハンミョウ	<i>Cicindela gracilis</i> Pallas	VU	NT	287
コウチュウ	ハンミョウ	カワラハンミョウ	<i>Cicindela laetescripta</i> Motschulsky	CR	VU	239
コウチュウ	ハンミョウ	シロヘリハンミョウ	<i>Cicindela yuasai yuasai</i> Nakane	EN		258
コウチュウ	オサムシ	セバカオサムシ	<i>Hemicarabus tuberculatus</i> (Dejean et Boisduval)	VU		288
コウチュウ	オサムシ	フタモンマルクビゴミムシ	<i>Nebria pulcherrima</i> Bates	CR	NT	240
コウチュウ	オサムシ	キベリマルクビゴミムシ	<i>Nebria livida angulata</i> Banninger	CR	NT	241
コウチュウ	オサムシ	コハンミョウモドキ	<i>Elaphrus punctatus</i> Motschulsky	EN	VU	259
コウチュウ	オサムシ	オオヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites sulcatus</i> Olivier	VU	NT	289
コウチュウ	オサムシ	ハバメクラチビゴミムシ	<i>Trechiana habei</i> (S. Uéno)	EN		260
コウチュウ	オサムシ	チイメクラチビゴミムシ	<i>Trechiana mammalis</i> S.Uéno	DD		395
コウチュウ	オサムシ	ツツイキバナガミズギワ	<i>Armatocillenus tsutsuii</i> S.Uéno	EN	NT	261
ゴミムシ						
コウチュウ	オサムシ	キバネキバナガミズギワ	<i>Armatocillenus aestuarii</i> S.Uéno et Habu	NT	NT	327
ゴミムシ						
コウチュウ	オサムシ	ハマベゴミムシ	<i>Pogonus japonicus</i> Putzeys	VU		290
コウチュウ	オサムシ	ジャアナヒラタゴミムシ	<i>Jujiroa ana</i> (S.Uéno)	NT	VU	328
コウチュウ	オサムシ	ホラズミヒラタゴミムシ	<i>Jujiroa troglodytes</i> S.Uéno	NT		329
コウチュウ	オサムシ	ヒトツメアオゴミムシ	<i>Chlaenius delicolus</i> Bates	VU		291
コウチュウ	オサムシ	クビナガキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius prostenus</i> Bates	VU		292
コウチュウ	コガシラミズムシ	クビボソコガシラミズムシ	<i>Halplus japonicus</i> Sharp	NT		330
コウチュウ	コガシラミズムシ	ヒメコガシラミズムシ	<i>Halplus ovalis</i> Sharp	NT		331
コウチュウ	コガシラミズムシ	キイロコガシラミズムシ	<i>Halplus eximius</i> Clark	EN	NT	262
コウチュウ	コガシラミズムシ	マダラコガシラミズムシ	<i>Halplus sharpi</i> Wehncke	EN	NT	263
コウチュウ	コツブゲンゴロウ	ムツボシツヤコツブ	<i>Canthidrus politus</i> (Sharp)	NT		332
ゲンゴロウ						
コウチュウ	コツブゲンゴロウ	キボシチビコツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus bivittis</i> (Motschulsky)	NT	NT	333
コウチュウ	ゲンゴロウ	トダセシゲンゴロウ	<i>Copelatus nakamurai</i> Guéorguiev	NT	NT	334
コウチュウ	ゲンゴロウ	シマゲンゴロウ	<i>Hydaticus bowringi</i> Clark	NT		335
コウチュウ	ゲンゴロウ	スジゲンゴロウ	<i>Hydaticus satoi</i> Wewalka	EX	CR+EN	226
コウチュウ	ゲンゴロウ	マダラシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus thermonectoides</i> Sharp	EX	CR+EN	227
コウチュウ	ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i> (Clark)	CR	NT	242
コウチュウ	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i> Aubé	VU		293
コウチュウ	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ	<i>Cybister japonicus</i> Sharp	EN	NT	264
コウチュウ	ゲンゴロウ	コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus orientalis</i> Gschwendtner	EX	CR+EN	228
コウチュウ	ゲンゴロウ	シャープゲンゴロウモドキ	<i>Dytiscus sharpi</i> Wehncke	EX	CR+EN	229
コウチュウ	ミズスマシ	コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i> Sharp	NT		336
コウチュウ	ホソガムシ	ヤマトホソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i> Sharp	NT		337
コウチュウ	エンマムシ	クロエンマムシ	<i>Hister concolor</i> Lewis	DD		396
コウチュウ	エンマムシ	エンマムシ	<i>Merohister jekeli</i> (Marseul)	DD		397
コウチュウ	エンマムシ	アラメエンマムシ	<i>Zabromorphus punctulatus</i> (Wiedemann)	NT		338
コウチュウ	ハネカクシ	オオツノハネカクシ	<i>Bledius salsus</i> Miyatake	VU		294
コウチュウ	シデムシ	ヤマトモンシデムシ	<i>Nicrophorus japonicus</i> Harold	VU	NT	295
コウチュウ	クワガタムシ	ツヤハダクワガタ	<i>Ceruchus lignarius monticola</i> Nakane	EN		265
コウチュウ	クワガタムシ	ヒメオオクワガタ	<i>Dorcus montivagus montivagus</i> (Lewis)	EN		266
コウチュウ	クワガタムシ	オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i> Waterhouse	CR	VU	243
コウチュウ	コガネムシ	ダイコクコガネ	<i>Copris ochus</i> (Motschulsky)	EX	VU	230
コウチュウ	コガネムシ	クロモンマゴソコガネ	<i>Aphodius variabilis</i> Waterhouse	EN	NT	267
コウチュウ	コガネムシ	ヤマトケシマゴソコガネ	<i>Psammodius japonicus</i> Harold	NT		339
コウチュウ	コガネムシ	アカマダラハナムグリ	<i>Poecilophilides rusticola</i> (Burmeister)	NT	DD	340
コウチュウ	コガネムシ	オオチャイロハナムグリ	<i>Osmoderma opicum</i> Lewis	VU	NT	296
コウチュウ	コガネムシ	トラハナムグリ	<i>Trichius japonicus</i> Janson	DD		398

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
コウチュウ	コガネムシ	クロカナブン	<i>Rhomborrhina polita</i> Waterhouse	NT		341
コウチュウ	コガネムシ	ヤマトアオドウガネ	<i>Anomala japonica</i> Arrow	NT		342
コウチュウ	ヒメドロムシ	ミヤモトアシナガミゾドロムシ	<i>Stenelmis miyamotoi</i> Nomura et Nakane	NT		343
コウチュウ	ヒメドロムシ	ヨコミゾドロムシ	<i>Leptelmis gracilis</i> Sharp	NT	VU	344
コウチュウ	ヒメドロムシ	クロサワドロムシ	<i>Neorohelmis kurosawai</i> Nomura	VU		297
コウチュウ	タマムシ	クロマダラタマムシ	<i>Nipponobuprestis querceti</i> (Saunders)	VU		298
コウチュウ	タマムシ	トゲフタオタマムシ	<i>Dicerca tibialis</i> Lewis	NT		345
コウチュウ	コメツキムシ	ジュウジミズギワコメツキ	<i>Fleutiauxellus cruciatus</i> (Candèze)	NT		346
コウチュウ	コメツキムシ	ツヤヒラタコメツキ	<i>Aganohypoganus mirabilis</i> (Miwa)	VU		299
コウチュウ	コメツキムシ	サトヤマシモフリコメツキ	<i>Actenicerus kidonoi</i> Ōhira	NT		347
コウチュウ	コメツキムシ	シタラミヤマヒサゴコメツキ	<i>Homotechnes motsulskyi suzukii</i> Ōhira	VU		300
コウチュウ	コメツキムシ	アカアシコハナコメツキ	<i>Paracardiophorus sequens sequens</i> (Candèze)	NT		348
コウチュウ	アカハネムシ	オカモトツヤアナハネムシ	<i>Pedilus okamotoi</i> (Kôno)	NT		349
コウチュウ	オオキノコムシ	オオキノコムシ	<i>Encaustes praenobilis</i> Lewis	DD		399
コウチュウ	ナガクチキムシ	ミスジナガクチキ	<i>Stenoxylita trialbofasciata</i> (Hayashi et Kato)	NT		350
コウチュウ	カミキリムシ	ケブカマルクビカミキリ	<i>Atinia okayamensis</i> Hayashi	NT		351
コウチュウ	カミキリムシ	フタコブルリハナカミキリ	<i>Stenocorus coeruleipennis</i> (Bates)	NT		352
コウチュウ	カミキリムシ	トサヒメハナカミキリ	<i>Pidonia approximata</i> Kuboki	NT		353
コウチュウ	カミキリムシ	チャイロヒメコブハナカミキリ	<i>Macropidonia japonica japonica</i> (Ohbayashi)	CR		244
コウチュウ	カミキリムシ	ヒメアカハナカミキリ	<i>Brachyleptura pyrrha</i> (Bates)	DD		400
コウチュウ	カミキリムシ	イガブチヒゲハナカミキリ	<i>Stictoleptura igai</i> (Tamanuki)	EN		268
コウチュウ	カミキリムシ	ヒメツスジハナカミキリ	<i>Leptura kusamai</i> Ohbayashi et Nakane	EN		269
コウチュウ	カミキリムシ	タケウチホソハナカミキリ	<i>Strongalia takeuchii</i> Matsushita et Tamanuki	CR		245
コウチュウ	カミキリムシ	ベニバハナカミキリ	<i>Paranaspia anaspoides</i> (Bates)	DD		401
コウチュウ	カミキリムシ	ヒゲブトハナカミキリ	<i>Pachypidonia bodemeyeri</i> Pic	NT		354
コウチュウ	カミキリムシ	ヒゲジロホソコバネカミキリ	<i>Necydalis odai</i> Hayashi	NT		355
コウチュウ	カミキリムシ	オオホソコバネカミキリ	<i>Necydalis solida</i> Bates	NT		356
コウチュウ	カミキリムシ	ヨツボシカミキリ	<i>Stenygrium quadrinotatum</i> Bates	EN	VU	270
コウチュウ	カミキリムシ	ヨコヤマヒゲナガカミキリ	<i>Dolichoprosopus yokoyamai</i> (Gressitt)	NT		357
コウチュウ	カミキリムシ	ヒメビロウドカミキリ	<i>Acalolepta degener</i> (Bates)	EX		231
コウチュウ	カミキリムシ	アサカミキリ	<i>Thyestilla gebleri</i> (Faldernmann)	EX	VU	232
コウチュウ	ハムシ	カツラネクタイハムシ	<i>Donacia katurai</i> Kimoto	VU		301
コウチュウ	ハムシ	オオミズクサハムシ	<i>Plateumaris constricticollis</i> (Jacoby)	NT		358
コウチュウ	ハムシ	キヌツヤミズクサハムシ (スゲハムシ)	<i>Plateumaris sericea</i> (Linnaeus)	NT		359
コウチュウ	ハムシ	キオビクビボソハムシ	<i>Lama delicatula</i> Baly	DD		402
コウチュウ	ハムシ	ヒメカバノキハムシ	<i>Syneta brevitibialis</i> Kimoto	DD		403
コウチュウ	チビゾウムシ	ヒシチビゾウムシ	<i>Nanophyes japonicus</i> Roelofs	NT		360
コウチュウ	ゾウムシ	ハマベゾウムシ	<i>Aphela gotoi</i> (Chûjō et Voss)	VU		302
コウチュウ	ゾウムシ	カギアシゾウムシ	<i>Bagous bipunctatus</i> (Kono)	DD		404
コウチュウ	ゾウムシ	フタホシカギアシゾウムシ	<i>Bagous kagiashi</i> Chujo et Morimoto	DD		404
コウチュウ	ゾウムシ	バッキンガムカギアシ ゾウムシ	<i>Bagous buckingami</i> O'brien et Morimoto	DD		404
コウチュウ	ゾウムシ	コカギアシゾウムシ	<i>Bagous fractus</i> O'brien et Morimoto	DD		404
コウチュウ	ゾウムシ	ヤヤコブカギアシゾウムシ	<i>Bagous spicatus</i> O'brien et Morimoto	DD		404
コウチュウ	ゾウムシ	チビコバンゾウムシ	<i>Miarus vestitus</i> Roelofs	DD		405
ハチ	クビナガキバチ	アカズクビナガキバチ	<i>Euxiphydria potanini</i> (Jakovlev)	NT		361
ハチ	セイボウ	フタツバトゲセイボウ	<i>Elampus bidens tristis</i> Tsuneki	NT		361
ハチ	コツチバチ	ホソツヤアリバチ	<i>Methocha yasumatsui</i> Iwata	DD		406
ハチ	ドロバチモドキ	ニッポンハナダカバチ	<i>Bembix niponica</i> F. Smith	NT	NT	362
ハチ	ハクリバチ	キヌゲハクリバチ	<i>Megachile kobensis</i> Cockerell	NT		362
ハチ	ギンゲチバチ	ササキギンゲチ	<i>Ectemnius furuichii</i> (Iwata)	NT		363
ハチ	コマユバチ	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokohamae</i> (Dalla Torre)	NT	NT	364
ハエ	カ	トワダオオカ	<i>Toxorhynchites towadensis</i> (Matsumura)	DD		407
トビケラ	ナガレトビケラ	オオナガレトビケラ	<i>Himalopsyche japonica</i> (Morton)	NT	NT	365
トビケラ	コエグリトビケラ	イワコエグリトビケラ	<i>Manophylax futabae</i> Nishimoto	NT		366
トビケラ	ニンギョウトビケラ	コブニンギョウトビケラ	<i>Larcaria akagiae</i> Nishimoto et Tanida	NT		367
トビケラ	ヒゲナガトビケラ	ヒゲナガトビケラ属の一種	<i>Leptocerus moselyi</i> (Martynov)	NT		368
トビケラ	ホソバトビケラ	イトウホソバトビケラ	<i>Molannodes itoae</i> Fuller et Wiggins	NT		369
トビケラ	フトヒゲトビケラ	ヒトスジキソトビケラ	<i>Psilotreata japonica</i> Banks	VU		303
チョウ	セセリチョウ	ホシチャバネセセリ	<i>Aeromachus inachus</i> (Ménétrières)	CR	CR+EN	246
チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ	<i>Leptolina unicolor</i> (Bremer et Grey)	VU	NT	304
チョウ	セセリチョウ	コキマダラセセリ	<i>Ochlodes venatus</i> (Bremer et Grey)	VU		305
チョウ	セセリチョウ	ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i> (Butler)	EN		271
チョウ	セセリチョウ	チャマダラセセリ	<i>Pyrgus maculatus</i> (Bremer et Grey)	CR	CR+EN	247
チョウ	セセリチョウ	スジグロチャバネセセリ	<i>Thymelicus leoninus</i> (Butler)	VU	NT	306
チョウ	アゲハチョウ	ギフチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i> Leech	NT	VU	370
チョウ	シロチョウ	スジボソヤマキチョウ	<i>Gonepteryx aspasia nipponica</i> Bollow	EN		272
チョウ	シジミチョウ	オナガシジミ	<i>Araragi enthea enthes</i> (Janson)	NT		371
チョウ	シジミチョウ	エゾミドリシジミ	<i>Favonius jezoensis</i> (Matsumura)	NT		372
チョウ	シジミチョウ	ハヤシミドリシジミ	<i>Favonius ultramarinus</i> (Fixsen)	EN		273
チョウ	シジミチョウ	ゴマシジミ	<i>Maculinea teleius kazamoto</i> (H. Druce)	CR	VU	248
チョウ	シジミチョウ	クロシジミ	<i>Niphanda fusca</i> (Bremer et Grey)	EN	CR+EN	274
チョウ	シジミチョウ	ヒメシジミ	<i>Plebejus argus micrargus</i> (Butler)	CR	NT	249
チョウ	シジミチョウ	ムモンアカシジミ	<i>Shirozua jonasii</i> (Janson)	VU		307
チョウ	シジミチョウ	フジミドリシジミ	<i>Shibatania zephyrus fujisanus</i> (Matsumura)	VU		308
チョウ	シジミチョウ	ミヤマカラスシジミ	<i>Strymonidia mera</i> (Janson)	EN		275

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
チョウ	シジミチョウ	クロツバメシジミ	<i>Tongeia fischeri</i> (Eversmann)	VU	NT	309
チョウ	シジミチョウ	シルビアシジミ	<i>Zizina emelina</i> (de l'Orza)	EX	CR+EN	233
チョウ	タテハチョウ	ウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome laodice japonica</i> (Ménétrières)	NT	NT	373
チョウ	タテハチョウ	ヒョウモンモドキ	<i>Melitea scotosia</i> Butler	EX	CR+EN	234
チョウ	タテハチョウ	オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i> (Hewitson)	NT	NT	374
チョウ	ジャノメチョウ	ヒメヒカゲ	<i>Coenonympha oedippus</i> ssp.	CR	CR+EN	250
チョウ	ジャノメチョウ	クロヒカゲモドキ	<i>Lethe marginalis</i> Motschulsky	VU	VU	310
チョウ	ジャノメチョウ	ウラジャノメ	<i>Lopinga achine achinoides</i> (Butler)	VU		311
チョウ	ジャノメチョウ	オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii</i> (Ménétrières)	NT		375
チョウ	ジャノメチョウ	ウラナミジャノメ	<i>Ypthima multistriata</i> Butler	VU	VU	312
チョウ	ツトガ	エンスイミズメイガ	<i>Eristena argentata</i> Yoshiyasu	DD		408
チョウ	ツトガ	ヒメコムズメイガ	<i>Parapoynx rectilinealis</i> Yoshiyasu	NT		376
チョウ	アゲハモドキガ	フジキオビ	<i>Schistomitra funeralis</i> Butler	NT		377
チョウ	シャチホコガ	カバイロシャチホコ	<i>Ramesa tosta</i> Walker	DD		409
チョウ	ヤガ	マダラウスズミケンモン	<i>Hylonycta subornata</i> (Leech)	DD		410
チョウ	ヤガ	ウスベニキョトウ	<i>Aletia pudorina subrosea</i> (Matsumura)	DD		411
チョウ	ヤガ	サヌキギリガ	<i>Elwesia sugii</i> Yoshimoto	NT		378
チョウ	ヤガ	イセギリガ	<i>Agrochola sakabei</i> Sugi	NT		379
チョウ	ヤガ	オオチャバネヨトウ	<i>Nonagria puengeleri</i> (Schawerda)	NT		380
チョウ	ヤガ	キスジウスキョトウ	<i>Archanara sparganii</i> (Esper)	DD		412
チョウ	ヤガ	エゾスジヨトウ	<i>Doerriesa striata crambiformis</i> Sugi	NT		381
チョウ	ヤガ	エチゴハガタヨトウ	<i>Asidemia inexpecta inexpecta</i> (Sugi)	NT		382
チョウ	ヤガ	シラユキコヤガ	<i>Eulocastra sasakii</i> Sugi	DD		413
チョウ	ヤガ	カバフキンタバ	<i>Catocala mirifica</i> Butler	NT		383
チョウ	ヤガ	オオキイロアツバ	<i>Pseudalelimma miwai</i> Inoue	NT		384

(7) クモ類 ARACHNIDA

目及び科の範囲、名称、配列は、原則として「日本産クモ類目録 Ver.2008 R1」(谷川明男, 2008 : インターネット上にて公表) に準拠した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
クモ	ジグモ	ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i> Karsch	VU	NT	434
クモ	カネコタテグモ	カネコタテグモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i> (L. Koch)	VU	NT	435
クモ	トタテグモ	キノボリトタテグモ	<i>Conothele fragaria</i> (Dönitz)	VU	NT	436
クモ	トタテグモ	キシノウエトタテグモ	<i>Latouchia swinhoei typica</i> (Kishida)	EN	NT	419
クモ	ユウレイグモ	アケボノユウレイグモ	<i>Belisana akebona</i> (Komatsu)	CR		417
クモ	ホラヒメグモ	ミカワホラヒメグモ	<i>Nesticus mikawanus</i> Yaginuma	CR		418
クモ	ヒメグモ	シロタマヒメグモ	<i>Enoplognatha margarita</i> Yaginuma	EN		420
クモ	サラグモ	キヌキリグモ	<i>Herbiphantes cericeus</i> (S. Saito)	EN		421
クモ	サラグモ	キハダキヌキリグモ	<i>Herbiphantes longiventris</i> Tanasevitch	EN		422
クモ	アシナガグモ	チクニドヨウグモ	<i>Metleucage chikunii</i> Tanikawa	EN		423
クモ	コガネグモ	キジロオヒキグモ	<i>Arachnura logio</i> Yaginuma	EN		424
クモ	コガネグモ	コケオニグモ	<i>Araneus seminiger</i> (L.Koch)	EN		425
クモ	コガネグモ	ニシキオニグモ	<i>Araneus variegatus</i> Yaginuma	VU		437
クモ	コガネグモ	コガネグモ	<i>Argiope amoena</i> L. Koch	NT		446
クモ	コガネグモ	トリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne bufo</i> (Bösenberg et Strand)	NT		447
クモ	コガネグモ	オオトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne inaequalis</i> Thorell	NT		448
クモ	コガネグモ	シロオビトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i> Strand	VU		438
クモ	コガネグモ	アカイロトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne yunoharuensis</i> Strand	VU		439
クモ	コガネグモ	トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhlii</i> C. Koch	VU		440
クモ	コガネグモ	マメイタイセキグモ	<i>Ordgarius hobsoni</i> (O. P. -Cambridge)	EN		426
クモ	コガネグモ	ムツゲイセキグモ	<i>Ordgarius sexspinosus</i> (Thorell)	EN		427
クモ	コガネグモ	ツシマトリノフンダマシ	<i>Paraplectana tsushimensis</i> Yamaguchi	EN		428
クモ	コガネグモ	ワクドツキジグモ	<i>Pasilobus hupingensis</i> Yin, Bao et Kim	EN		429
クモ	コガネグモ	ゲホウグモ	<i>Polys illepidus</i> C. Koch	NT		449
クモ	コモリグモ	イサゴコモリグモ	<i>Pardosa isago</i> Tanaka	EN		430
クモ	コモリグモ	デジロハリゲコモリグモ	<i>Pardosa yamanoi</i> Tanaka et Suwa	EN		431
クモ	コモリグモ	ミナミコモリグモ	<i>Pirata meridionalis</i> Tanaka	VU		441
クモ	サシアシグモ	シノビグモ	<i>Shinobius orientalis</i> (Yaginuma)	EN		432
クモ	スオウグモ	ムロズミソレグモ	<i>Takeoa nishimurai</i> (Yaginuma)	DD		450
クモ	ネコグモ	オビジガバチグモ	<i>Castianeira shaxianensis</i> Gong	VU		442
クモ	アワセグモ	アワセグモ	<i>Selenops bursarius</i> Karsch	VU		443
クモ	カニグモ	アシナガカニグモ	<i>Heriaeus mellottei</i> Simon	VU		444
クモ	カニグモ	カトウツケオグモ	<i>Phrynarachne katoii</i> Tikuni	EN		433
クモ	カニグモ	オビボソカニグモ	<i>Xysticus trizonatus</i> Ono	VU		445

(8) 貝 類 MOLLUSCA

陸産貝類 Land

目及び科の範囲、名称、配列は、原則として「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－（無脊椎動物編Ⅲ）」（財団法人自然環境研究センター，1998）に準拠した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
アマオブネガイ	ゴマオカタニシ	ゴマオカタニシ	<i>Georissa japonica</i> Pilsbry	NT	NT	552
アマオブネガイ	ゴマオカタニシ	ベニゴマオカタニシ	<i>Georissa shikokuensis</i> Amano	VU	VU	523
盤足	ヤマタニシ	トウカイヤマトガイ	<i>Japonia katorii</i> Minato	NT	VU	553
盤足	カワザンショウガイ	ホラアナゴマオカチグサ	<i>Cavernacmella kuzuensis</i> (Suzuki)	NT	CR+EN	554
モノアラガイ(基眼)	オカミガイ	ケシガイ	<i>Carychium pessimum</i> Pilabry	NT	NT	555
マイマイ(柄眼)	オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i> (Pilsbry)	NT	NT	556
マイマイ(柄眼)	クチミゾガイ	ナニワクチミゾガイ	<i>Eostrobilops nipponica reikoeae</i> Matsumura et Minato	VU	NT	524
マイマイ(柄眼)	マキゾメガイ	ヒラドマルナタネ	<i>Pupisoma harpula</i> Reinhardt	DD		601
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	ミカワキセル	<i>Mesophaedusa hickonis mikawa</i> (Pilsbry)	NT	NT	557
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	ホウライジギセル	<i>Mesophaedusa ikenoi</i> Minato	CR	CR+EN	462
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	オクガタギセル	<i>Mundiphaedusa dorcas</i> (Pilsbry)	NT	NT	558
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	トノサマキセル	<i>Mundiphaedusa ducalis</i> (Kobelt)	NT	NT	559
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	ハチノコギセル	<i>Mundiphaedusa kawasaki</i> (Kuroda)	NT	NT	560
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	クビナギセル	<i>Pinguiphaedusa kubinaga</i> (Kuroda)	VU	VU	525
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	トカラコギセル	<i>Proreinia eastlakeana vaga</i> (Pilsbry)	EN	CR+EN	515
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	ヒロクチコギセル	<i>Reinia variegata</i> (A. Adams)	EN	CR+EN	516
マイマイ(柄眼)	キセルガイ	ホンヒメギセル	<i>Tryannophaedusa gracilispira</i> (Moellendorff)	VU	VU	526
マイマイ(柄眼)	ベッコウマイマイ	カサネシトラガイ	<i>Sitalina insignis</i> (Pilsbry et Hirase)	NT	NT	561
マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	クチマガリマイマイ	<i>Aegista cavicollis</i> (Pilsbry)	NT	NT	562
マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	オモイガケナマイマイ	<i>Aegista inexpectata</i> Kuroda et Minato	CR	CR+EN	463
マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	フチマルオオベソマイマイ	<i>Aegista tumida</i> (Gude)	NT	NT	563
マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	ミヤマヒダリマキマイマイ	<i>Euhadra scaevola scaevola</i> (Martens)	VU	VU	527
		(ヒラヒダリマキマイマイ)	(<i>E. s. interioris</i> Pilsbry)			
マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	ミカワマイマイ	<i>Euhadra scaevola mikawa</i> Amano	CR	VU	464
マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	イシマキシロマイマイ	<i>Trishoplita calcicola</i> Kuroda, in Masuda et Habe	NT	NT	564
マイマイ(柄眼)	オナジマイマイ	ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Trishoplita hilgendorff</i> (Kobelt)	NT	NT	565

淡水産貝類 Fresh Water

目及び科の範囲、名称、配列は、原則として「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－（無脊椎動物編Ⅲ）」（財団法人自然環境研究センター，1998）に準拠した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
盤足	ミズゴマツボ	ミズゴマツボ	<i>Stenothyra japonica</i> Kuroda	VU	NT	528
盤足	タニシ	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i> (v. Martens)	NT	NT	566
盤足	カワニナ	クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i> Kajiyama et Habe	NT	NT	567
モノアラガイ(基眼)	ヒラマキガイ	カワネジガイ	<i>Camptoceras hirasei</i> Walker	EX	CR+EN	453
モノアラガイ(基眼)	ヒラマキガイ	ヒダリマキモノアラガイ	<i>Culinella prashadi</i> (Clench)	EX	CR+EN	454
モノアラガイ(基眼)	モノアラガイ	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i> Jay	NT	NT	568
イシガイ	イシガイ	イシガイ	<i>Unio douglasiae nipponensis</i> (Martens)	CR		465
イシガイ	イシガイ	ヨコハマシジラガイ	<i>Inversunio yokohamensis</i> (Ihering)	EX	NT	455
イシガイ	イシガイ	オバエボシ	<i>Inversidens brandti</i> (Kobelt)	EX	VU	456
イシガイ	イシガイ	マツカサガイ	<i>Inversidens japonensis</i> (Lea)	CR	NT	466
イシガイ	イシガイ	トンガリササノハガイ	<i>Lanceolaria grayana cuspidata</i> Kira	CR	NT	467
イシガイ	イシガイ	カタハガイ	<i>Pseudodon omiensis</i> (Heimburg)	EX	VU	457
イシガイ	イシガイ	カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i> (Leach)	DD	NT	602
イシガイ	イシガイ	ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i> (Lea)	NT		569
マルスダレガイ	シジミ	マシジミ	<i>Corbicula leana</i> Prime	VU	NT	529
マルスダレガイ	マメシジミ	ニホンマメシジミ	<i>Pisidium nipponense</i> Kuroda	DD		603

内湾産貝類 Inner Bay

目及び科の範囲、名称、配列は、原則として「Catalogue and bibliography of the marine shell-bearing mollusca of Japan」(S.Higo et al., 1999)、「日本近海産貝類図鑑」(東海大学出版会, 2000)に準拠した。

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
古腹足	ニシキウズ	イボキサゴ	<i>Umbonium (Suchium) moniliferum</i> (Lamarck)	CR		468
アマオブネガイ	アマオブネガイ	ヒメカノコ	<i>Clithon (Pictoneritina) ovalaniensis</i> (Lesson)	DD		604
アマオブネガイ	アマオブネガイ	ヒロクチカノコ	<i>Neritina (Dostia) violacea</i> (Gmelin)	VU	VU	530
アマオブネガイ	アマオブネガイ	ウミヒメカノコ	<i>Smaragdia</i> sp.	CR		469
アマオブネガイ	ユキスズメガイ	ヒナユキスズメ(未記載種)	<i>Phenacolepas</i> sp.	VU	NT	531
盤足	トゲカワニナ	タケノコカワニナ	<i>Stenomelania rufescens</i> (Martens)	EX	VU	458
盤足	オニノツノガイ	カニモリ	<i>Rhinoclavis (Proclava) kochi</i> (Philippi)	VU		532
盤足	ウミニナ	ウミニナ	<i>Batillaria multiformis</i> (Lischke)	NT	NT	570
盤足	ウミニナ	イボウミニナ	<i>Batillaria zonalis</i> (Bruguere)	EN	VU	517
盤足	フトヘナタリ	フトヘナタリ	<i>Cerithidea (Cerithidea) rhizophorarum</i> A. Adams	NT	NT	571
盤足	フトヘナタリ	ヘナタリ	<i>Cerithidea (Cerithideopsis) cingulata</i> (Gmelin)	NT	NT	572

目名	科名	和名	学名	県ランク	国ランク	掲載頁
盤足	フトヘナタリ	カワアイ	<i>Cerithidea (Cerithideopsis) djadjariensis</i> (K.Martin)	EN	VU	518
盤足	リソツボ	サナギモツボ	<i>Eufenella pupoides</i> (A.Adams)	CR		470
盤足	リソツボ	スジウネリチョウジガイ	<i>Rissoina (Rissoina) constulata</i> Dunker	CR		471
盤足	リソツボ	ゴマツボ	<i>Stosicia annulata</i> (Dunker)	CR		472
盤足	ワカウラツボ	ワカウラツボ	<i>Iravadia (Fairbankia) sakaguchii</i> (Kuroda et Habe)	VU	VU	533
盤足	ワカウラツボ	カワグチツボ	<i>Iravadia (Fluviocingula) elegantula</i> (A.Adams)	NT	NT	573
盤足	サザナミツボ	サザナミツボ	<i>Elachisime ziczac</i> Fukuda et Ekawa	DD		605
盤足	カワザンショウガイ	ヨシダカワザンショウ	<i>Angustassiminea yoshidayukioi</i> (Kuroda)	VU	VU	534
盤足	カワザンショウガイ	クリイロカワザンショウ	<i>Angustassiminea castanea</i> (Westerlund)	NT		574
盤足	カワザンショウガイ	ムシヤドリカワザンショウ	<i>Assiminea parasitologica</i> Kuroda	NT	NT	575
盤足	カワザンショウガイ	ツブカワザンショウ	<i>Assiminea estuarina</i> Habe	NT		576
盤足	カワザンショウガイ	カハタレカワザンショウ	Gen.et sp.	DD		606
(未記載種)						
盤足	クビキレガイ	ヤマトクビキレガイ	<i>Truncatella pfeifferi</i> Martens	VU		535
盤足	ミズゴマツボ	エドガワミズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawaensis</i> (Yokoyama)	NT	NT	577
盤足	イソコハクガイ	アラウズマキ	<i>Pygmaeorata duplicata</i> (Lischke)	CR		473
盤足	イソコハクガイ	イソマイマイ	<i>Tornus planus</i> (A.Adams)	CR		474
盤足	イソコハクガイ	シラギク	<i>Pseudoliotia pulchella</i> (Dunker)	CR		475
盤足	シロネズミガイ	ハツカネズミ	<i>Fossarus tornatilis</i> (Gould)	CR		476
盤足	タマガイ	アダムスタマガイ	<i>Cryptopnatica adamsiana</i> (Dunker)	CR		477
盤足	タマガイ	ネコガイ	<i>Eunoticina papilla</i> (Gmelin)	VU		536
盤足	トウカムリ	カズラガイ	<i>Phalium variegatum</i> Perry	NT		578
翼舌	ハナゴウナ	ヒモイカリナマコツマミガイ	<i>Hypermastus lacteus</i> (A.Adams)	CR		478
翼舌	イトカケガイ	クリンイトカケ	<i>Amaea thielei</i> (de Boury)	NT		579
翼舌	イトカケガイ	セキモリ	<i>Papyriscala yokoyamai</i> (Suzuki et Ichikawa)	NT		580
翼舌	イトカケガイ	オダマキガイ	<i>Depressiscala aurita</i> (Sowerby)	VU		537
翼舌	イトカケガイ	シノブガイ	<i>Laeviscala angusta</i> (Dunker)	NT		581
翼舌	イトカケガイ	クレハガイ	<i>Papyriscala latifasciata</i> (Sowerby)	NT		582
新腹足	アツキガイ	ヒラドサンゴヤドリ	<i>Coralliophila jeffreysi</i> Smith	CR		479
新腹足	フトコロガイ	スミスシラゲガイ	<i>Mitrella yabei</i> (Nomura)	VU		538
新腹足	フトコロガイ	マルテンスマツムシ	<i>Mitrella martensi</i> (Lischke)	CR		480
新腹足	オリイレウバイ	ムシロガイ	<i>Niotha livescens</i> (Philippi)	VU		539
新腹足	オリイレウバイ	キヌボラ	<i>Reticunassa japonica</i> A.Adams	VU		540
新腹足	オリイレウバイ	ウネムシロ	<i>Reticunassa hiradoensis</i> (Pilsbry)	VU		541
新腹足	オリイレウバイ	クロスジムシロの近似種	<i>Reticunassa</i> sp.	VU		542
新腹足	エゾバイ	バイ	<i>Babylonia japonica</i> (Reeve)	VU		543
新腹足	エゾバイ	オガイ	<i>Cantharus cecillei</i> (Philippi)	CR		481
新腹足	エゾバイ	モスノガイ	<i>Volutharpa ampullacea perryi</i> (Jay)	NT		583
新腹足	コロモガイ	オリイレボラ	<i>Trigonostoma scalariformis</i> (Lamarck)	EN		519
新腹足	タケノコガイ	イボヒメクサ	<i>Granuliterebra bathyrarpe</i> (Smith)	CR		482
異旋	タクミナ	タクミナ	<i>Eucharilda sinensis</i> (Fischer)	CR		483
異旋	トウガタガイ	カキウラクチキレモドキ	<i>Brachystomia bipyramidata</i> (Nomura)	NT		584
異旋	トウガタガイ	スカルミクチキレ	Gen.et sp.	VU		544
(未記載種)						
異旋	イソチドリガイ	イソチドリ	<i>Amathina tricarinata</i> (Linnaeus)	CR		484
異旋	イソチドリガイ	マキモノガイ	<i>Leucotina diana</i> (A.Adams)	CR		485
頭楯	オオシイノミガイ	オオシイノミガイ	<i>Acteon sieboldi</i> (Reeve)	EN		520
頭楯	オオシイノミガイ	コシイノミガイ	<i>Pupa strigosa</i> (Gould)	VU		545
頭楯	カノコキセワタ	カノコキセワタガイ	<i>Agalaja giglioli</i> (Tapparone-Canefri)	NT		585
アメフラシ	ウツセミガイ	ウツセミガイ	<i>Akera soluta</i> Gmelin	CR		486
アメフラシ	ウツセミガイ	ウツセミガイ	<i>Petalifera punctulata</i> (Tapparone-Canefri)	NT		586
モノアラガイ(基眼)	オカミガイ	ナラビオカミガイ	<i>Auriculastra duplicata</i> (Pfeiffer)	CR	VU	487
モノアラガイ(基眼)	オカミガイ	オカミガイ	<i>Ellobium chinense</i> (Pfeiffer)	EN	VU	521
モノアラガイ(基眼)	オカミガイ	ウスコミガイ	<i>Laemodonta exaratoidea</i> Kawabe	VU	NT	546
モノアラガイ(基眼)	オカミガイ	ナギサノシタリガイ	<i>Microtralia acteocinoides</i> Kuroda et Habe	VU		547
モノアラガイ(基眼)	オカミガイ	キヌカツギハマシイノミガイ	<i>Melampus (Melampus) singaporensis</i> Pfeiffer	CR	VU	488
キヌタレガイ	キヌタレガイ	キヌタレガイ	<i>Petrasma pusilla</i> (Gould)	NT		587
フネガイ	フネガイ	ハイガイ	<i>Tegillarca granosa</i> (Linnaeus)	EX		459
フネガイ	シコロエガイ	シコロエガイ	<i>Porterius dalli</i> (Smith)	CR		489
イガイ	イガイ	ヤマホトトギス	<i>Musculus japonica</i> (Dunker)	CR		490
イガイ	イガイ	ツヤガラス	<i>Modiolus elongatus</i> (Swainson)	CR		491
ウグイスガイ	ハボウキガイ	タイラギ	<i>Atrina pictinata</i> (Linnaeus)	NT		588
ウグイスガイ	ハボウキガイ	ハボウキガイ	<i>Pinna bicolor</i> Gmelin	CR		492
カキ	イタボガキ	イタボガキ	<i>Ostrea denselamellosa</i> Lischke	CR		493
マルスダレガイ	ツキガイ	イセシラガイ	<i>Anodontia stearnsiana</i> (Oyama)	CR		494
マルスダレガイ	ツキガイ	ツキガイモドキ	<i>Lucinoma annulatum</i> (Reeve)	NT		589
マルスダレガイ	チリハギ	スジホシムシヤドリガイ	<i>Nipponomysella subtruncata</i> (Yokoyama)	VU		548
マルスダレガイ	イソカゼガイ	イソカゼガイ	<i>Basterotia gouldi</i> (A.Adams)	CR		495
マルスダレガイ	バカガイ	ヤチヨノハナガイ	<i>Raeta (Raetina) pellicula</i> (Reeve)	CR		496
マルスダレガイ	バカガイ	ミルクイ	<i>Tresus keenae</i> (Kuroda et Habe)	NT		590
マルスダレガイ	バカガイ	ユキガイ	<i>Meropesta nicobarica</i> (Gmelin)	CR		497
マルスダレガイ	バカガイ	アリソガイ	<i>Coelomactra antiquata</i> (Spengler)	CR		498
マルスダレガイ	ニッコウガイ	ベニガイ	<i>Pharaonella sieboldi</i> (Deshayes)	VU		549
マルスダレガイ	ニッコウガイ	イチョウシラトリ	<i>Tellina (Serratina) capsoides</i> Lamarck	EX		460
マルスダレガイ	ニッコウガイ	ユウシオガイ	<i>Moerella rutila</i> (Dunker)	NT		591
マルスダレガイ	ニッコウガイ	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i> (Habe)	NT		592
マルスダレガイ	ニッコウガイ	ウズザクラ	<i>Nitidotellina minuta</i> (Lischke)	NT		593

目 名	科 名	和 名	学 名	県ランク	国ランク	掲載頁
マルスダレガイ	ニッコウガイ	オオモノハナ	<i>Macoma praetexta</i> (Martens)	CR		499
マルスダレガイ	ニッコウガイ	サビシラトリ	<i>Macoma contabulata</i> (Deshayes)	EN		522
マルスダレガイ	ニッコウガイ	サギガイ	<i>Macoma sector</i> Oyama	NT		594
マルスダレガイ	ニッコウガイ	アワジチガイ	<i>Macoma candida</i> (Lamarck)	CR		500
マルスダレガイ	ニッコウガイ	アオサギガイ	<i>Psammotreta (Pseudomitis) praeupta</i> (Salisbury)	CR		501
マルスダレガイ	シオサザナミ	オチバガイ	<i>Psammotaea virescens</i> (Deshayes)	CR		502
マルスダレガイ	シオサザナミ	ハザクラ	<i>Psammotaea minor</i> (Deshayes)	CR		503
マルスダレガイ	シオサザナミ	ムラサキガイ	<i>Soletellina diphos</i> (Linnaeus)	CR		504
マルスダレガイ	シオサザナミ	フジナミガイ	<i>Soletellina boeddinghausi</i> Lischke	CR		505
マルスダレガイ	ナタマメガイ	アゲマキガイ	<i>Sinonovacula constricta</i> (Lamarck)	EX		461
マルスダレガイ	マテガイ	マテガイ	<i>Solen strictus</i> Gould	NT		595
マルスダレガイ	マテガイ	ダンダラマテガイ	<i>Solen kurodai</i> Habe	CR		506
マルスダレガイ	マテガイ	バラフマテ	<i>Solen roseomaculatus</i> Pilsbry	CR		507
マルスダレガイ	ハナグモリガイ	ハナグモリガイ	<i>Glauconome chinensis</i> Gray	CR	VU	508
マルスダレガイ	マルスダレガイ	シオヤガイ	<i>Anomalocardia squamosa</i> (Linnaeus)	CR		509
マルスダレガイ	マルスダレガイ	ウラカガミ	<i>Dosinorbis (Phacosoma) penicilata</i> (Reeve)	CR		510
マルスダレガイ	マルスダレガイ	イヨスダレガイ	<i>Paphia (Neotapes) undulata</i> (Born)	VU		550
マルスダレガイ	マルスダレガイ	ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i> (Roding)	CR		511
マルスダレガイ	マルスダレガイ	フスマガイ	<i>Clementia vatheleti</i> Mabilie	NT		596
オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ	<i>Mya (Arenoma) oonogai</i> Makiyama	NT		597
オオノガイ	オオノガイ	ヒメマスオガイ	<i>Cryptomya busoensis</i> Yokoyama	CR		512
オオノガイ	オオノガイ	クシケマスオガイ	<i>Venatomya truncata</i> (Gould)	CR		513
オオノガイ	クチベニガイ	クチベニガイ	<i>Solidicorbula erythrodon</i> (Lamarck)	NT		598
オオノガイ	ニオガイ	ウミタケ	<i>Barnea (Umitakea) dilatata</i> (Souleyet)	CR		514
ウミタケモドキ	オキナガイ	オキナガイ	<i>Laternula anatina</i> (Linnaeus)	NT		599
ウミタケモドキ	オキナガイ	オキナガイ属の一種	<i>Laternula</i> sp.	VU		551
ウミタケモドキ	オキナガイ	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i> (Reeve)	NT		600

Threatened Wildlife of Aichi Prefecture
RED DATA BOOK AICHI 2009

- Animals -

March 2009

Edited by

Aichi Environmental Research Center

Published by

Department of the Environment

Aichi Prefectural Government

3-1-2, Sannomaru Naka-ku, Nagoya, Aichi 460-8501, JAPAN

愛知県の絶滅のおそれのある野生生物
レッドデータブックあいち 2009
— 動物編 —

発行年月 平成 21 年 3 月

編集 愛知県環境調査センター

発行 愛知県環境部自然環境課

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)

FAX 052-963-3526

環境部 Web ページ「あいちの環境」

<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>

印刷 安藤印刷株式会社

本書に収録した図版、写真は、著作者の了解を得て複製したものです。私
的使用又は引用等著作権法上認められた行為を除き、著作者に無断で再複
製を行うことはできません。

本書は、再生の印刷用紙を使用しています。